

# 職場における日本人の人間関係

ノフィア・ハヤテイ

## はじめに

インドネシアにおける日本語学科の卒業生は、一般的に日本語を生かすために日本語と関係がある職業を望む。そして、卒業後は日本の企業に勤める人も少なくない。この人たちにとって重要となるのは日本の企業に勤めるために日本語の能力はもちろんであるが、もう一つ無視出来ない事がある。それは職場における人間関係をいかに築くかであると考ええる。

職場は一つの組織である。その中には先輩、後輩、同僚、上司、部下などの様々な人間関係がある。企業、官庁、病院、あるいは学校という組織は達成すべき独自の明確な目標を持っており、人々はそれぞれの役割を担って、協同で仕事をしている。周りの人々と摩擦を起こさないように何が必要かをよく考えて、良い人間関係を実現している。それがひいてはいい仕事ができることにつながるのである。

## (1) 日本の職場の特徴

ほとんどの人々は、人生における非常に多くの時間を職場に使っている。日本の職場は一種の家族的集団であり、運命共同体であると言われている。このような特質をもつ日本の職場の人間関係を支配する論理はまず平均化・同一化の論理であろう。すなわち、諺にあるように「出る杭は打たれる」のである。他人と同質的な言動しなければ、風変わりな人ということで、人間関係においても仲間はずれにされかねない。このことは逆に考えてみれば、他人と同じようなことしか出来ないことにもなる。この点をとりあげて、日本人には明確な自我意識が無いとか、個人が集団の中に埋没しているといわれる。これが日本の職場では終身雇用による擬似家族的なところがあるので、個人の集団に対する帰属感が極めて強い。

そして、日本人には素朴で根強い「能力平等意識」がある。したがって、人間の能力はみんな平等であり同じであると仮定するならば、集団の中で序列をつける場合は、個人の能力とは直接関係のない所属年数を主たる基準とさせるをえない。そこから年功序列という日本の独自の制度が生まれたのである。したがって、日本人の人間関係においても「縦

---

<sup>1</sup> 中佐古勇『現代の人間関係』(1982)、58頁。

<sup>2</sup> 同上、38頁

の関係」が重要視されることになり、席順を決める際も上席、下席が定められ、また言葉の面でも敬語に対しては驚くほど敏感に神経が配られている

日本の職場における年功序列、それに終身雇用というシステムは職場の人間関係に影響を与える。E.O.ライシャワーの『ザ・ジャパニーズ』によると、「第二次戦争後の日本の“奇跡的な”経済成長は、世界の国々の驚異の念を引きおこすとともに、終身雇用・年功序列賃金、個人的忠誠心にもとづく上司と部下の間の温情主義、密接な努力関係など、日本の経済界に特有ないくつかの性質に関心を集めさせた。」という。年功序列は、集団の中の一員であることによってアイデンティティを獲得させるもので、日本人の伝統的な集団志向や帰属意識にぴったりくるもので、職場における人間関係を背後から支える役割を果たしている。またそれは、終身雇用による職場への帰属と忠誠心を前提として成り立っていると考えられ、ライシャワーが強調するように、「日本が一方では、高度の上下関係重視の国とみなされながら、他方では、権限や意志決定が広く拡散しているという、相反する事実」を生み出している。

職場というところは「利益社会」であるにもかかわらず、人は「勘定で働くばかりでなく、感情でも働く」のであり、とくに情緒性の高い日本社会では、このことは重視される。感情の高揚・動揺・沈滞が対人間関係に起因することが極めて多いというのも日本の特徴であろう。

日本の職場においては、職場のしきたりを守り、仲間と出来るだけ調和し、以心伝心で言われなくても自分の役割を見つけ、それを気軽にこなす能力が必要となるのである

職場は多くの場合、チーム・ワークの場である。職場の成員は、各人に与えられた持場をもっており、それがまとまった全体となる。全体としての職場は、定まった目的を追求する。ここで忘れてはならないことは、職場の主人公はあくまでも人間であるということである。人間が集まれば、そこに人間関係が生じる。職場の機能は、結局人間関係に依存しているということである<sup>5</sup>。職場には年齢の異なる多くの成員がいて、また上司や同僚、部下がいて、様々な人間関係がある。

職場全体としての目的を追求するための人工的人間関係と、一方自然発生的な感情的結びつきによる自然的人間関係である。換言すれば、職場の論理による人間関係と本来の人間関係の二つの面の人間関係が存在しているということである

若村(1987)が言うように「職場における人間関係は、職場における役割とそれに基づく行動を他のメンバーと役割期待の交換をすることを通じて形成されると考える」その

---

<sup>1</sup> 中佐古勇『現代の人間関係』(1982)、39頁。

<sup>2</sup> 南博『日本人の人間辞典』(1980)、228頁。

<sup>3</sup> 坂川山輝夫『職場の人間関係とコミュニケーション』

<sup>4</sup> 中佐古勇『現代の人間関係』(1982)、59頁。

<sup>5</sup> 同上、57-58頁。

関係は、地位・権限・役割などの点、垂直（上司と部下の関係）と水平的関係（同僚関係）の2種類に大別される。

この職場でいくつかの人間関係の特徴については、筆者が日本人に対して行った質問紙調査から次の4点にまとめる。

- 1.日本ではまだまだ年功序列といった風土が根強く企業に残っているように感じる。つまり、仕事の出来・不出来に関わらず、職場の中では年上の人の支配力が強いということである。
- 2.「出た杭は打たれる」という諺が日本にはあるが、日本の職場では、まさに出すぎたまねや、他人と違った事をすると、他人から批判を受けたり、ねたまれたりすることがしばしばあり、軍隊形式の横並びの考え方がまだまだ根強く残っている。アメリカ的思考と逆であり、アメリカは「出すぎた釘は打ちにくい」と他人と違ったことをするのを奨励している。
- 3.とにかく「本音」では付き合えない。常に「建前」で付き合っている。
- 4.同僚は競争相手というより仲間という意識が強いので、協同で仕事をする時にチームとして機能しやすいという利点がある。

## (2) 上司と部下との人間関係

職場における上司と部下の関係には、次の二つの側面がある。ひとつは、上司と部下とは人間として対等であるという側面、いまひとつは管理者と被管理者という側面である。確かに上司といえども同じ人間であり、個人の価値、人間の尊厳という面では全く優劣がなく対等の関係といえよう。したがって、人格的に尊厳に値しない上司の命令は、これを無視することも考えられる。しかしながら職場の一員としては、そういうことは全く不可能に近いことである。職場では職場の論理が優先する。上司の命令に従えない者は、極端な場合その職場を去るしかないのである。職場の一員としては、上司の人格がどうあろうと関係なく、命令に従い、ある意味では一個の歯車として与えられた役割を果たさなければならない<sup>1</sup>。

職場の一員である以上、人はある程度本当の自分を殺して生きていると言われる。人事異動などで上司が変われば、上司のタイプによって職場の成員の行動様式も変わらざるをえないのが事実である。

上司が部下を選ぶことは出来るが、部下が上司を選ぶことは出来ない。したがって相性の合う上司にめぐりあうことが出来れば良いが、その逆の場合は部下にとっては一種の悲

---

<sup>1</sup> 中佐古勇『現代の人間関係』(1982)、58頁。

<sup>2</sup> 吉田寛治『職場と人間関係』(1997)、60頁。

劇である。

部下は誰でも、上司の信頼を得て、自分に与えられた役割を果たしたいと、思っている。また上司はどの道指導し、共に働くのであれば、嫌々指示に従ってくれるよりも、明朗にテキパキと働いてもらいたい、と思うのが当然であろう。

職場のとりわけ上司と部下との間には情緒的、感情的な論理と目的追求のための能率的、合理的な論理と葛藤がどうしても存在するのである

上司と部下との関係は、相互依存の関係であるともいわれる。すなわち、お互いになくってはならない人間であり、上司だけ、または部下だけいても職場として機能しないのである。このような関係にあっては、お互いに相手をよく知り、理解し、認め合わなければならない。

### (3) 先輩・後輩との人間関係

職場には上司と部下という関係の他に、先輩・後輩という人間関係もある。上司と部下との関係は、組織上の管理者と被管理者という、いわば公式の関係という意味が強い。しかし、先輩と後輩という場合は、先輩は必ずしも管理者ではない、また後輩は管理されている者ではない。お互いにこのような感覚を持つので、上下の人間関係といっても上司と部下という関係とは異なったものとなる。先輩と後輩の関係は職場の論理からいっても対等である。すなわち、先輩であっても後輩であっても職場においては、それぞれに与えられた役割を受け持っている歯車のひとつにしかすぎない<sup>1)</sup>

しかし、先輩と後輩との関係は対等ではあっても平等ではないのが現実である。ここに先輩と後輩の人間関係における特徴がある。

人間は学習能力を持っている。その職場において多少なりとも経験の豊かな人は、後輩に無い、「何か」を持っているはずである。この点において先輩と後輩とは平等ではないのである。後輩としては、先輩の持つ「何か」に対して敬意をはらい、先輩の身になって考え、助言や指導を素直に受けるという態度が必要である

また、特定の先輩とだけ親密になりすぎるということは避けなければならない。このことは上司との関係の場合と同様である。

一方、先輩は後輩に対して親切でなければならない。後輩の立場を理解して適切なアドバイスなどを与え、誇りと余裕を持って後輩の成長を見守ってやらなければならない。特定の後輩にだけ目をかけるとか、後輩の自主性を認めないで、やたら細かいことにまで干渉するということは避けるべきである。いずれにしても、先輩の助言や指導は後輩に対して、良きにつけ悪きにつけ「お手本」となるのである。先輩としてはより良い「お手本」

<sup>1)</sup> 中佐古勇『現代の人間関係』(1982)、60頁。

<sup>2)</sup> 吉田寛治『職場と人間関係』(1997)、61頁。

となるべく、常に自己啓発に努めなければならない。

#### (4) 同僚・同期との人間関係

同僚、同期との人間関係は、水平の人間関係である職場の論理からいっても、人間関係の論理からいっても全く対等であることは当然である。

ここに「同期の桜」ともいわれるように、上下の人間関係には見られない親密な関係が生まれる基礎がある。しかし、「親しきなかにも礼儀あり」であり、そこにも一定の節度が守られなければならない。

人にはそれぞれ独自の個性があり、得手と不得手があるのであるから、同僚、同期間の関係はお互いの個性の相違と実力の相違を認め合った上で、自然に親しくなり「気のおけない友人」となっていくことが理想的であろう。

同僚、同期はどれほど親しくても、職場においてはライバルであることも事実である。ライバルである以上は正々堂々とフェアに競争しなくてはならない。相手の失敗を喜んだり、まして妨害してはならない。自信と自尊心がなければ、フェア・プレイ出来ないのである。

また職場には、それぞれ独自の雰囲気というものがある。「郷にいれば郷に従え」ともいわれるように、同僚、同期とあまりにもかけ離れた言動は、職場の人間関係を乱すことになる。一から十までみんながみんな、同じ行動をとることは不可能であるが、時には不本意でみんなと同一行動をとらなければならない。このような場合に、自分を殺すことが出来るということがまた、個人の人格形成の面で大切なことである。

上記に書いたように、職場には様々な人間関係があり、それは次のようにまとめられる。能力や人物がどう評価されるかということが多くの人たちの強い関心事であり、職場で必要かつ重要は人間だと見られたいという要求に動機づけられて、時には、それが報酬を上まわるモラル（働く意欲）を生み出すことにもなる。自他の理解・尊重・信頼がなければ、人間関係を安定させることは難しいが、生産性を上げる要因として個人の能力より集団のチーム・ワークのほうがしばしばより大きく作用する日本の職場では、メンバー個々の自己尊重の期待や欲求を満たし集団目標へ一致して協力するムードを作り出すことがとても大事とされる。さらに、坂川によれば“人と人がうまく行っているというのは、相互に補完し合っているから”だという。“仲の良い夫と妻、ぴったり息の合った部長と課長”は、互いの役割についてはほぼ共通した認識をもつ相互扶助の間柄ということになるだろう。

---

<sup>1</sup> 同上、61頁。

<sup>2</sup> 高橋仁『職場の人間関係』(1989)、156頁。

## ・職場における問題

世間の人々の日常会話の中には「人間関係は難しい」、「人間関係に疲れた」などという表現がしばしば使われる。職場に限らず、どこであっても何人かの人間が集まれば、そこに人間関係が生まれる。すべての人は、その顔が違うように、考え方、感じ方などはそれぞれ微妙に異なる。物事に対して全く同じく考え、同じ行動をとるということは非常に少ない。それぞれ個性の違いがある。したがって、ここに人間関係の問題が生じる。

ところで、仕事が面白い・面白くないということが、ごく普通のサラリーマン社会では、職場の人間関係に大いに左右される。人事は、能力だけでなく、人間関係を考慮して行われる事が多く、またそれをめぐって喜悲それぞれの感情が交錯する。サラリーマンの心の憂さの捨てどころといわれる飲み屋やバーが繁昌するのも、おもに対人間関係からくる悩みの流出に機会提供するからであり、よくいわれるように酒のサカナでいつもうまいのはヤキトリと“人のうわさ”だということになる。

例えば、サラリーマンの酒場での話題は、同僚の噂から上司の悪口、というのは定評である。なぜ上司は部下から悪口をつかれ、酒のサカナがわりになるのか。職場の人間関係で最も話題になるのも、この上司と部下の関係である。

普通職場で起こる事柄について、決定権を持っているのは上司である。極端な例になるとちょっとした私事にまで、部下の行動を一切知っていないと承知しない上司がある。これは異例としても、上司は部下よりもはるかに多くの決定権を持っている。したがって、部下は何か新しい事をしようと思えば、上司にうかがいをたてて、その許可を得なければならない。自分ではどんなに良い事だと思っても、上司が「ノー」と言えば、それで終わりである。上司は、部下が自分の思い通りにやってくれないことにいらだっている。部下は、上司の凶通りにしか仕事が出来ず、自分の思い通りに仕事が出来ないので我慢の欲求不満の状態にある。これでは、酒のさかなに、上司の悪態の一つもでようというものである。この状態に輪をかけて、部下にとっては辛い事がある。せっかく苦労して、仕事をして、結果の評価は上司のやることである。上司の思い通りでなければ、評価されない。

以上のような職場の人間関係における問題を知るために、筆者は1名の日本人に対し質問した。(質問項目は資料1参照)

---

<sup>1</sup> 南博『日本人の人間関係辞典』(1980)、228頁。

<sup>2</sup> 高橋博『職場の人間関係』(1989)、159頁。

表1. 11名仕事している日本人による職場での人間関係の問題

No	名	性別	年齢	職種	答
1.	Aさん	女	50代	教員	上司に対して自分が賛成出来なかったり、少し問題がある時に、はっきり意見が言えない時が一番問題。 仕事以外にゴルフなどで日曜日も職場の人と付き合いがあり、それは断れないというか断るとなんとなく「むつかしい奴」という印象をもたれる。つまり、仕事は仕事、プライベートはプライベートと割り切ることが難しい。また、派閥のことがあまり好きではない。問題が出て来る度に、他人から影響を受けずに考えたいからである。
2.	Bさん	女	30代	OL	日本はまだまだ男性優位の社会。女性が発言すると「生意気だ」と非難されることも多い。またセクハラの影響も多い。「私も何度か経験がある。私の場合、性的関係を迫られたこともあるが、一番腹が立ったのは、上司からの必要上の電話だった。ストーカーのようで、恐怖さえ感じた。それに、上司、同僚、部下など本音は言わない。とにかく「本音」では付き合えない、常に「建前」でお付き合いしている。他は、自分自身は派閥に所属していたと思っていないのに、リストラされた時に、都合の良い理由として派閥に所属していたからだとわれ、すごく腹が立った。「派閥なんて大嫌い」と言った。
3.	Cさん	男	20代	会社員	仕事とは関係のないことでも、上司に言われたことは断りにくい。
4.	Dさん	女	30代	OL	先輩・後輩ではイジメ問題。進入社員いじめ。上司・部下では、部下いびり・セクハラなど。派閥もでき、自分がどの上司に就くかによってその先が大きく変わってくる。それに「出る杭は打たれる」という諺で、他人と違う言動したら仲間外れになりかねない。また派閥で物事がフェアに対処されないので、なくすべきだ。
5.	Eさん	男	30代	会社員	仕事とプライベートの境界があいまいになりがちで、上司が部下のプライベートについて干渉したり、また忘年会などへの参加が強制的になっている会社や、業務の一部となっている。
6.	Fさん	男	30代	会社員	最近特に問題になる点は不景気のせいだ派遣社員が増加したことによる正社員との待遇上差別などがある。また日本ではいまだに男女の労務上関係が平等ではないためによる性差別などがある（女性であるために採用されないとか、結婚すると退職しなくてはならないなど）。
7.	Gさん	女	30代	OL	上司と部下との意見の相違などにより、問題などが発生する。あとは、能力によって同じ立場だった人が上下関係になったり、時には上下関

					係が逆転したりといろいろな場合が考えられる。それに、色々な集団で、様々な考え方があり、時には上司とぶつかり、我慢して自分を抑える人もいれば、会社を辞めて新しい世界を目指す人もいる。
8.	Hさん	男	30代	会社員	人間関係で一番大切なのは、先輩・後輩、同僚、上司・部下の間に互いに信頼関係を結ぶということである。例えば、この仕事はこの部下に任せておけば大丈夫と上司は部下を信頼する。それに対して部下は「この大事な仕事を私させてもらい、ありがたい、上司のために頑張らなくては」というようなことが信頼関係である。しかしながら、この信頼関係が日本の職場の場合崩れてしまうことが、しばしばあるように感じている。このようなことが、人間関係の中で一番問題になる点ではないかと感じる。
9.	Iさん	女	30代	OL	女性の間では特に上に立つ人間、つまり先輩より派閥である。グループができ職場の人間関係まして仕事上の妨げになることもしばしばある。
10.	Jさん	男	50代	会社員	先輩、上司への迅速な報告、業務関連部門への根回し、対応態度など各個人の能力を評価する前に、条件をクリアしておかないと、公平な評価に悪い影響を与えることがある。
11.	Kさん	男	40代	会社員	職場の人間関係で一番問題になるのは多分派閥だと思う。

上記に書いたように職場の人間関係では一番問題になることは「派閥」か「グループが出来」ということである。派閥というのはある集団の内部で、出身や政党や政派や特別な利益などを中心にして結びついた仲間である。派閥抗争などという言葉もある。それで、ある集団に所属しないと仲間はずれや、皆との関係はスムーズになれない原因である。一方、所属しても、無理をして、実はその集団には好きではないなどが事実である。他は特に女性の間ではイジメやセクハラなどの問題である。また職場の付き合いでは、仕事と関係のないことでも断りにくいということしばしば問題だと考える。

#### ・インドネシアにおける職場の人間関係との比較考察

インドネシアにおける職場では、一般的に上司と部下の关系到大きく分けられる。原則的に職場の人間関係は確かに職場内で仕事がスムーズに出来るために大切だと考えられている。よく、良い人間関係とネット・ワークは仕事の効率性を高めるためにあると言われる。

しかし、日本と少し違うことは集団意識より個人意識のほうがとても強いことである。

<sup>1</sup> 資料1。



例えば、旅行やパーティなどあれば、会社の人たちより家族や子供と一緒に過ごしたほうが良いと思う人が少なくない。

・おわりに

職場の人間関係ということはやはり簡単に一言では言い表せない。この世の中で人間関係ほど難しいものはないとよく言われる。世の中が複雑になればなるほど、人間関係も複雑になってくる。

しかし、日本の職場の人間関係についてはいくつかの事が分かるようになった。人間関係ということは習慣、考え方、文化などとは切り離せないことは明らかである。日本人の意識・行動は強い集団指向性をもつと言われる。そのために個性をむき出しにすることは極力抑制され、「出すぎることを避け、「周囲の人達と仲良くすること」に腐心し、「周りとの食い違いを生じさせぬよう」気を配る傾向にある。そういう心理の基調をなすのが「和」や「協調」の精神である。日本人では古来「和」ということが強調されてきた。「和」という概念も、よく考えてみれば、非常に深い意味をもつものであり決して甘いものではない。「協調」、「協同」、「協力」などの言葉も耳にすると、なんとはなしにホッと安堵感さえ覚えてしまうところもある。

これらのことに起因して、人間関係をイメージする時、对人的摩擦や緊張のない、温かい、穏やかな、すぐれて情緒的で温和な人間関係を理想として思い描くことが多い。確かに、このような人間関係も現実には存在する。

職場の人間関係もそうである。上司・部下関係であろうと、同僚関係であろうと、根本的には对人的な葛藤や緊張を伴い、譲歩や妥協などの折り合いを内在させていると考えなくてはならない。

職場での日本人の人間関係を見てきたことで、上下の人間関係と水平の人間関係も含め、集団意識を日本人から基盤としたチーム・ワークという意味の大切さが分かった。

以上、日本の職場の人間関係には、様々な特徴と長所があることがわかった。

#### 参考文献

中佐古勇 『現代の人間関係』(1982)、陽明社。

島田一男 『職場の人間関係』(1986)、壮光舎。

橋本仁 『職場の人間関係』(1989)、大日本図書。

中根千枝 『タテ社会の人間関係』(1967)、大進堂。

南博 『日本人の人間関係辞典』(1984)、昌堂。

資料1

「職場における日本人の人間関係」についての質問

1. 日本の職場では先輩、後輩、同僚、上司、部下という関係があると聞きましたが、具体的にはどんな関係ですか
2. その様々な人間関係の中ではよく問題になることは何ですか
3. 職場での人間関係では何か特徴とかありますか
4. あなたの会社の人間関係は濃密だと思いますか、希薄だと思いますか。あなたはそれに対してどのように感じていますか
5. あなたの会社には派閥がありますか  
それはどのような性格のものですか（血縁、学閥、経営方針など）  
あなたはその派閥に属していますか  
派閥の存在についてどのように考えていますか
6. 上司・同僚。部下のうち、あなたが本音を話せる相手は誰ですか
7. あなたの職場は残業を断りやすいですか  
残業を断る時、誰に対して気を使いますか
8. あなたは同僚を仲間だと思っていますか、ライバルだと思っていますか
9. 花見や旅行、忘年会など普通の業務以外の会社の行事について、あなたの態度（気持ち）は次のどれですか
  - a. 自分の楽しみのために積極的に参加する
  - b. 職場の雰囲気をもっと良くするために積極的に参加する
  - c. 業務の延長という認識から仕方なく参加する
  - d. 職場の雰囲気をもっと良くするために仕方なく参加する

ご協力ありがとうございます

2002年9月9日

テーマ：職場における日本人の人間関係

発表者：ノフィア・ハヤティ

ほとんどの人々は、人生における非常に多くの時間を職場に使っています。職場は一つの組織です。その中には先輩、後輩、同僚、上司、部下などの様々な人間関係があります。企業、官庁、病院、あるいは学校という組織は達成すべき独自の明確な目標を持っており、人々はそれぞれの役割を担って、協同で仕事をしています。周りの人々と摩擦を起こさないように何が必要かをよく考えて、良い人間関係を実現しています。それがひいてはいい仕事ができることにつながるのです。

日本の職場は一種の家族的集団であり、運命共同体であると言われています。このような特質を持つ日本の職場の人間関係を支配する論理はまず平均化・同一化の論理でしょう。すなわち、諺にあるように「出る杭は打たれる」のです。他人と同質的な言動しなければ、風変わりな人ということで、人間関係においても仲間はずれにされかねないです。このことは逆に考えてみれば、他人と同じようなことしか出来ないことにもなります。この点をとりあげて、日本人には明確な自我意識が無いとか、個人が集団の中に埋没していると言われるます。

日本の職場においては、職場のしきたりを守り、仲間と出来るだけ調和し、以心伝心で言われなくても自分の役割を見つけ、それを気軽にこなす能力が必要となるのです。

職場は多くの場合、チーム・ワークの場です。職場の成員は、各人に与えられた持場を持っており、それがまとまった全体となります。全体としての職場は、定まった目的を追求します。ここで忘れてはならないことは、職場の主人公はあくまでも人間です。人間が集まれば、そこに人間関係が生じます。職場の機能は、結局人間関係に依存しているということです。職場には年齢の異なる多くの成員がいて、また上司や同僚、部下がいて、様々な人間関係があります。

職場の人間関係ということはやはり簡単に一言では言い表せません。この世の中で人間関係ほど難しいものはないとよく言われます。世の中が複雑になればなるほど、人間関係も複雑になってきます。

しかし、日本の職場の人間関係についてはいくつかの事が分かるようになりました。人間関係ということは習慣、考え方、文化などとは切り離せないことは明らかです。日本人

の意識・行動は強い集団指向性を持つと言われます。そのために個性をむき出しにすることは極力抑制され、「出すぎることを避け、「周囲の人達と仲良くすること」に腐心し、「周りとの食い違いを生じさせぬよう」気を配る傾向にあります。そういう心理の基調をなすのが「和」や「協調」の精神です。日本人では古来「和」ということが強調されてきました。「和」という概念も、よく考えてみれば、非常に深い意味を持つものであり、決して甘いものではありません。「協調」、「協同」、「協力」などの言葉も耳にすると、なんとはなしにホッと安堵感さえ覚えてしまうところもあります。

これらのことに起因して、人間関係をイメージする時、対人的摩擦や緊張のない、温かい、穏やかな、すぐれて情緒的で温和な人間関係を理想として思い描くことが多いです。確かに、このような人間関係も現実には存在します。

職場の人間関係もそうです。上司・部下関係であろうと、同僚関係であろうと、根本的には対人的な葛藤や緊張を伴い、譲歩や妥協などの折り合いを内在させていると考えなくてはなりません。

職場での日本人の人間関係を見てきたことで、上下の人間関係と水平の人間関係も含め、集団意識を日本人から基盤としたチーム・ワークという意味の大切さが分かりました。

## ダイクシスの性質を持っている指示詞

デシ・エンダー・ウランサリ

### 1. はじめに

指示詞は、会話や文書の中で何かを指す時よく使われ、コミュニケーションをうまくいかせるために重要なものである。日本語の指示詞は代名詞に含まれ、「コ系」、「ソ系」、「ア系」などの特別な使い分けがある。その使い方は物理的な遠近感覚に影響を受けている。つまり指した物は話し手の存在を中心にしており、そこからどれくらいの距離があるのかという基準で決める。指したものが話し手から近ければ「コ系」を使って、聞き手の近くにあるものは「ソ系」で指し、両方から遠いものは「ア系」で指す。ちなみに、「ド系」はその指示詞の疑問語を表すものである。

例えば、帽子を指しながら言う、「これは帽子です」と「あれは帽子です」という二つの文は、何か違う感じがするのではないだろうか。その違いを説明すると、指した帽子は話し手から近くにあるのか離れた場所にあるのかということに注意するのが必要である。「これ」は指したものが話し手から近くにある場合で、遠ければ「あれ」になる。しかし、話し手が移動すると、さっきまで使った「これ」を「あれ」で指し、返ってさっきまでの「あれ」を「これ」で指すこともあるであろう。つまり、話し手の存在によって使った指示詞が変わってきて、このような指示詞の使い方を**直示用法**と言う。従って、話し手が言葉を発する現場（**発言現場**）に基づいて会話の内容が変わると言う性質を持っている。この性質が**直示性**とか**ダイクシス**と言われるものである。

表題のダイクシスという言葉はギリシャ語の“deiktikos”に由来して、直接指することという意味を持っている言葉である。つまり、話し手や時間、空間、または発言現場によって言及するものが変わるという性質を持っている言葉はダイクシスな特性を持っているという。

というわけで、ダイクシスは指示詞ばかりではない。指示詞以外は例えば{「来る」、「行く」}空間を表す言葉や{「今日」、「明日」、「去年」}時間を表す言葉などがある。その他、人称代名詞の人称1{「わたし」、「ぼく」、「おれ」など}と人称2{「あなた」、「きみ」、「おまえ」など}もダイクシスの性質を持っている。人称3の場合には例えば、{「こいつ」、「そいつ」、「あいつ」など}と指示詞を付け加えた人称代名詞、{「この人」、「その人」、「あの人」など}もダイクシスの性質を持っていると言う。この場合では指示詞が冠詞として役割果たす。ところが、人称の{「かのじょ」、「かれ」など}は

そういう性質を持っていない。

## 2. ダイクシスの性質を持っている指示詞

会話や文のなかで、指示詞でものを指すのは二つに分ける。指したものが発言現場に存在する場合は**現場指示**と言い、ところがそのものは発言現場ではなく、談話や文章の中に出てくる場合は**文脈指示**と呼ぶ。指示詞それ自体が指すものを持つのではなく、現場や文脈の中にあるものを指す事によってそれ自体の指す対象が決まるという性格を持っている。こうした性格は**代名詞**とも共通するものである。現場指示の場合は「指したものの」そのものを専門書では**指示対象** (object) と呼ぶ。文脈指示の場合は**先行詞** (reference) と呼ぶこともある。ここからは、現場指示を見ていくこととする。

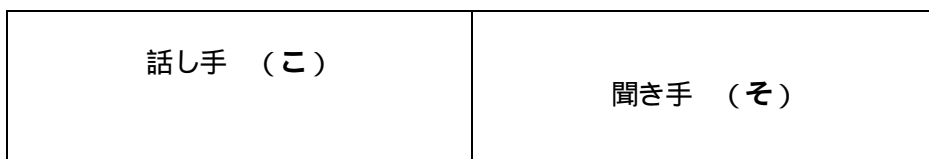
### 2.1 現場指示

現場指示では二つの使い分けとなって、**対立系**と**融合系**である。話し手と聞き手のいる場所は離れたと考えられる時は対立系という。

- (1) A: それは何ですか。  
B: これは本です。

このように、話し手(A)と聞き手(B)が使った指示詞は違っている。この場合では、指した物は聞き手の領域にあるので、話し手は「それ」を使った(図)。

(あ)



(あ)

図 1

一方、融合系というのは、話し手と聞き手は両方とも同じ場所にいると考えられる時や聞き手が存在をしない場合である。例えば、タクシーの運転手に「そこで止めてください。」と言った時は話し手と聞き手(タクシーの運転手)が同じ場所にいると考えられる

( 図 2 )

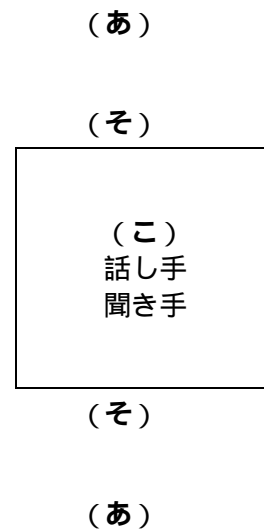


図 2

伴って、現場指示の指し方について二つに分かれていて、**身振り指示(gestural)**と**象徴的な指示(symbolic)**。手で指すこととか、動作で何かを指す時身振り指示と言うのである。こういう場合は以上の例のようである。

( 2 ) ( カメラ屋さんで ) すみません。 あのカメラを見せてください。

と欲しいカメラを指しながら言う。

ところが、何も動作をせず何かを指す時は象徴的な指示という。こういうタイプは電話で話す時とか手紙のなかでよくあるものだ。話し手の方は「こちら」で表し、相手の方は「そちら」で指すのである。

( 3 ) ( 手紙のなか ) こちらはみんな元気になっています。 そちらはいかがですか。

直示用法は主に身振り ( gestural ) で指示対象を指すものである。しかし、指し方については必ずしも手で指すことだけではなく、見ることや触れることや対象を振り向くことなどの動作は身振りとも言える。一方、電話での話や手紙の中では常に象徴的 ( symbolic ) である。これは、話し手と聞き手は同じ場所に存在をしないからである。それで、身振りで表す必要はなくなるわけである。

## 2.2 文脈指示

文脈指示についての話は、次のよう点に基づいて考えよう。

文脈指示の種類

3. 対話における文脈指示（聞き手の存在が問題となる場合）
4. 文章における文脈指示（聞き手の存在が問題とならない場合）

文脈指示に関わるその他の問題

5. 指すものを受けるときの形
6. 指すものが後から得てくる場合

(4) A: 家の近くに新しいレストランができたんです。今度そこに行ってみませんか？

B: そのレストランの料理っておいしいですか？

(5) (一週間後) A: 先週行ったレストラン、あそこおいしかったですね。

B: そうですね。今度またあそこに行きましょうね。

以上に挙げた例はみんな聞き手が存在する対話における文脈指示である。このような場合では話し手と聞き手に直接知っているものは「ア系」で指し、そうでないものは「ソ系」で指すのである。

そして、聞き手の存在は問題とならない「独り言」の場合は「ア系」が使われる。

(6) あのレストランの料理おいしかったな。

さて、文章における文脈指示で基本ときには「ソ系」と「コ系」が主に使われて、「ア系」は使われない。

ついでにいうと、以上で挙げた例のように文脈指示では指すものが指示詞より先に現れるのが普通である。こうした用法を**前方照応** (anaphoric) と言う。一方、指すものが指示詞より後から現れる用法を**後方照応** (cataphoric) という。

以上に説明した文脈指示は指したものは必ずしも発言現場にあるわけではないので直示用法の性質を持たず、**直示性**とか**ダイクシス**とは言えない。なぜかという、ダイクシスというのは常に話し手を自己中心するので動的で物理的な遠近感覚性質を持って、話し手の発言現場によって使った指示詞が変わるからである。ところが、文脈指示で使った指示詞は話し手を中心するのではなくて遠近感覚とも関係なく、ただ先行するものを再び表すだけである。



### 3. 終わりに

ダイクシスというのは直接指することという意味で、つまり話し手の発言現場が発せられる場面の中で、時間的、空間的性質に直接言及する言語の特性を指した言葉はダイクシスの性質を持っているということである。それでダイクシスは常に話し手の存在を中心にして、話し手の発言現場を基準していて、それによって話しの内容も変わる。指示詞の場合では動的で物理的な遠近感覚に影響を受けている。指示詞以外のダイクシス、例えば {「来る」, 「行く」, 「今日」, 「今年」など} は静的で物理的な遠近感覚に影響を受けている。

#### 参考文献

- 国立国語研究所 (1981) 「日本語の指示」国立国語研究所出版
- 中西久美子、山田敏弘 (2000) 「日本語文法ハンドブック」スリーエーネットワーク
- 庵功雄、高梨信乃、中西久美子、山田敏弘 (2002) 「中級を教えるための日本語文法ハンドブック」株式会社スリーエーネットワーク
- 定延俊之 (1999) 「よく分かる日本語学」株式会社アルク

# 日本語のアクセント体系

鄭 賢熙 (ジョン・ヒョンヒ)

## 0. はじめに

方言関連の授業で鹿児島の方が録音されているテープを聞いたことがある。言葉自体の意味は置いておいて、話者のアクセントだけに集中して聞いてみると、それは北朝鮮の平安道(ピョンアンド)という地方のアクセントに似ていた。そういえば、釜山の人が話す日本語のアクセントは大阪アクセントに似ているとよく言われるが、これは興味深いことである。本稿では、日本の諸方言のアクセント体系を調べてまとめ、さらに韓国アクセント体系との比較もしてみたいと思う。

## 1. アクセントの定義

「一つ一つの語について社会的習慣として恣意的に決まっている、相対的な高低または強弱の配置」を「アクセント」(accent)という。このうち、高低によるアクセントを「高低アクセント」または「高さアクセント」(pitch accent)といい、強弱によるものを「強弱アクセント」または「強さアクセント」(stress accent)という。日本語のアクセントは、語(または文節)内部における高低の関係が決まっている高低アクセントで、高低の違いによって意味の区別をしたり、語(または文節)のまとまりを示す働きをする。

## 2. 日本語のアクセントの特徴

(1) 高低アクセントであり、「高」「低」二種類の拍の組み合わせによって語のアクセントが構成されている。

日本語では、「飴( )と雨( )」、「橋( )と箸( )」に見られるように、語における高低関係が一定しており、それが意味の区別に役立っている。ところで、高低アクセントと言っても、日本語のアクセントは高低二段だけという、きわめて単純な構成であるが、世界にはもっと複雑な高低アクセントを持つ言語がある。例えば、タイ語は、高、中、低三段の構成を持ち、またアメリカインディアン語には、最高、中高、中低、最低の四段からなる言語もあるとされている。

(2) 高低の変化は、主に一つの拍から次の拍に移るところで起こる。一つの拍は、原則として同じ強さで平らに発音されるが、稀に拍の内部に上昇調や下降調が現れる方言がある。例えば、京都方言や四国の高松方言では、「秋、雨、猿」などを のように発音する。

(3) 日本語のアクセントは、語の意味を区別する弁別的機能よりも、語や文節などのまとまりや切れ目を示す統語的機能の方が大きい。

例えば、次のようなミニマル・ペアは、アクセントによって意味が区別される。

アカ(垢)	カタ(型)	カウ(買う)
アカ(赤)	カタ(肩)	カウ(飼う)

しかし、このようにアクセントによって意味が区別されるペアが同音語全体の中で占める割合はむしろ小さい。

例えば、『角川国語辞典』(昭和55年版)には「せいか」という見出し語が17語収められている。今それをアクセントの型によって分類すると次のようになる。

セーカ 生花、生家、正価、正貨、正課、成果、声価、青果、盛夏、聖火、聖歌、精華、  
製菓、請暇、齊家、臍下

セーカ 製靴

17語中の16語は全部頭高型に発音され、アクセントによる意味の区別が機能していない。このように、日本語のアクセントが意味区別に果たす役割が小さいのは、語にかぶさるアクセントの形式が単純で、わずか高低の二段で型が構成されているという日本語の特徴そのものにある。

では、日本語のアクセントの主たる働きは何であろうか。次の二つの同音連続の文の意味の区別を考えてみよう。

カネオクレタ(金をくれた)	ニワトリガイタ(鶏がいた)
カネオクレタ(金送れた)	ニワトリガイタ(二羽鳥がいた)

このように、同音が連続した文の意味が区別できるのは、言葉が意味を内蔵していることはもちろんだが、語または文節としてのまとまりを与えるアクセントの統語的機能が働き、文中の語や文節の切れ目を明らかにして、文の意味を引き出すからである。

以上のことから、日本語のアクセントは弁別的機能より統語的機能が大きいと言える。

### 3. 諸方言のアクセントとその分布

現代日本語の諸方言のアクセント体系は、

(ア) 京阪式アクセント

- (イ) 東京式アクセント
- (ウ) 一型式アクセント
- (エ) 特殊式アクセント

の四つの類型に大きく分けられる。このうち、京阪式と東京式は型の区別があるが、一型式は型の区別がないアクセントである。平山輝男氏は日本の諸方言のアクセント体系を次のように分類し、その分布を図に示している（図1）

### 3.1 京阪式アクセント

京阪式アクセントは、東京式アクセントより複雑である。その代表として京都方言のアクセントを例にして図2に示す。

図1 全日本アクセントの分布



平山輝男『日本の方言』（講談社現代新書）p. 78より

京阪式アクセントの特徴をまとめると、次のようになる。

- ( 1 ) 第一拍と第二拍は、高さが異なる場合もあり、異なる場合もある。
- ( 2 ) 原則として一つの語（または文節）の中で、高い部分が二箇所に分かれて存在する型（ ）はない。
- ( 3 ) 一拍語の名詞は、母音を長く引いて二拍に発音されることが多い。（注1）
- ( 4 ) 名詞は  $n$  拍語に  $2n( + 1 )$  種の型を持つ。動詞は二種の型を持ち、二拍語は と が対立し、三拍語は と が対立する。形容詞は型が一種で、二拍語は 、三拍語は のみである。
- ( 5 ) 音韻論的には、高く始まるか（高起式）、低く始まるか（低起式） 「さがりめ」があるかないか、あるとすればどの位置にあるかが解釈の鍵になる。京阪式アクセントの主な分布地域は近畿地方の大部分、四国の大部分、北陸地方（新潟を除く）、佐渡などである。

表1 京都方言のアクセント体系

拍	型	語 例
1		(注1)
2	、	飴、牛、鼻、振る、着る、する
	、	石、音、橋、犬、花、山
	、	息、海、箸、降る、見る、来る、良い、無い
	、	雨、猿、窓
3	、	田舎、着物、子牛、間、桜、岬、当たる、運ぶ、明ける、腫れる、動く
	、	女、一人
	、	小豆、えくぼ、小麦、力、二十歳、頭、男、鏡、刃、宝、光、紅葉、心
	、	さざえ、兎、狐、雀、背中、鼠、ひばり、起きる、晴れる、隠す、入る
	、	つるべ、とかげ、二つ、二人、たぬき、後ろ、鯨、葉、たらい
	、	出っ歯、のっば、マッチ

(注1) 京都方言では一拍名詞「柄、日、手」等は母音を長く引いて、

エー、エーガ(柄) 、

ヒー、ヒーガ(日) 、

テー、テーガ(手) 、

のように二拍に発音され、すべての一拍語はこの三つの型のどれかに入る。体系的にはこれを二拍語と解釈し、二拍語の中で扱う。なお、四拍語には七種の型がある。

### 3.2 東京式アクセント

東京式アクセントの代表として、共通語の母体である東京方言のアクセント体系を図3に示す。

東京式アクセントの特徴は次のようになる。

- (1) 東京方言と同様、第一拍と第二拍が異なる方言が多いが、奥羽方言、新潟方言や鳥取県倉吉方言などには (低平型) が認められる。
- (2) 原則として一つの語(または文節)の中で高い部分が二箇所に分かれて存在する型はない。
- (3) 名詞は  $n + 1$  種の型を持つ。動詞は二種の型を持ち、二拍語は と が対立し、三拍語は と が対立する。形容詞は二拍語は型が一種で、三拍語は二種の型を持ち、 と が対立する。
- (4) 撥音、長音、および連母音「アイ」[ai]の「イ」など独立性の弱い特殊拍や無声化する拍の後には原則として「さがりめ」が来ない。

ゲンカン(玄関) パンヤ(パン屋)

トーキョーエキ(東京駅)

マイニチ(毎日) ケーザイブ(経済部)

- (5) 音韻論的には、「さがりめ」があるかないか、あればどの位置にあるかが解釈の鍵になる。東京式アクセントの分布はもっとも広く、次のようである。

北海道、北奥地方(宮城の北部を含む) 山形(東南部を除く) 関東地方(栃木、茨城を除く) 新潟、東海・東山地方、中国地方、九州東北部、四国西南部、奈良県十津川地方。

表2 東京方言のアクセント体系

拍	型	語 例
1	、	柄、蚊、血、名、葉、日
	、	絵、木、手、菜、火
2	、	飴、牛、鼻、振る、巻く、着る、する
	、	石、音、橋、犬、花、山
	、	糸、笠、箸、雨、猿、窓、降る、蒔く、見る、来る、良い、無い
3	、	田舎、着物、子牛、間、桜、つるべ、とかげ、岬、油、兎、当たる
	、	小豆、毛抜き、二つ、二人、力、頭、男、女、刃、鏡、光、むしろ
	、	小麦、五つ、心、動く、頼む、起きる、晴れる、隠す、白い、熱い

	、	えくぼ、さざえ、嵐、紅葉、朝日、命、ざくろ、姿、涙、枕、鳥、高さ
--	---	----------------------------------

### 3.3 一型式アクセント

一型アクセント方言の存在は、昭和初期より始まった日本の方言研究によって明らかにされた。学界側の報告は、服部四郎氏の「国語諸方言のアクセント概観」（昭和7年『方言』2 - 2）が最初であったが、同論文で宮城県仙台市方言について次のように述べている。

「仙台方言のアクセントを観察することによってきわめて興味ある現象を明らかにするのを得た。それは、俗に「アクセントがない」と言ってしまうところの言語状態である。いわゆる「単語」を中心として見るときにはその音節間の高低関係は全く一定していないように見える。例えば、「雨」という単語は「」と言うこともあれば、「」と言うこともあり、「」と発音することもある。土地の人は、特別に注意しない限り、このような音節間の声の高低関係の変化には全く無自覚のようである。」

この種の方言の地理的範囲を確定する調査は平山輝男氏によって着手され、昭和10年頃からこの方言についての認識が進んだ。平山氏は、一型式アクセントをその形成過程の違いから「尾高一型」と「平板一型」とに分類している。

#### 尾高一型

型が統合して尾高一型になったもので、すべての語（または文節）の最後の拍だけを高く発音し、例えば、

飴・雨（） 鼻・花（） 橋・箸（） 男（） 朝顔（）  
 のようになる。このアクセントには型の対立がなく、意味を区別する働き、即ち、弁別的機能はないが、話者には尾高一型という「型知覚」があると認められる。この一型アクセントは、鹿児島方言などの二型アクセントが一型に統合して出来たことから、この種のもを無アクセント（平板一型）と区別して、特に「統合一型」と呼ぶことがある。

主な分布地域は宮崎県都城市、小林市、鹿児島県志布志町、末吉町などである。

#### 平板一型

話者に型の意識がなく、アクセントに型としての決まりがない。従って、「飴」と「雨」  
 「降る」と「振る」、  
 「厚い」と「暑い」などをアクセントによって区別せず、自由に発音する。例えば、「男」は、  
、  
、  
のように様々に発音され、  
 ときには東京方言と同様に  
ともなることがある。比較的平板的に発音されることが多いことから「平板一型」という名称が付けられた。

「平板一型」はアクセントとしての働きが全く認められないので、普通「無アクセント」

と呼ばれる。また、このアクセントは多型アクセントの型意識が曖昧化する過程を経て、型知覚を失い、その結果、型が崩れてしまったと推定できることから、特に「崩壊アクセント」と呼ぶことがある。

無アクセントは、南奥地方（宮城・山形両県南部、福島）北関東（栃木、茨城）八丈島、静岡県大井川、福井市、九州中央部（宮崎・熊本・佐賀・長崎北部）などに分布している。

### 3.4 曖昧アクセント

無アクセント（崩壊アクセント）の周辺で、多型アクセントと接触する地域に分布する。アクセントの型の高低の差が小さく、型の区別はあるが、その区別が非常に曖昧で、無アクセントに近いものである。一般に話者の型知覚が鈍く、周囲の環境によってアクセントが動揺する傾向がある。かつては、明瞭な型の区別を持っていたものが、型の変化を繰り返しているうちに曖昧化したと考えられる。

宮城県北部の仙北地方、山形県最上地方、福井市周辺、愛媛県八幡浜方言、福岡・熊本の一部などに分布する。

### 3.5 特殊式アクセント

#### 二型アクセント

型が統合してすべての拍数の語（または文節）が、最後から二番目の拍が高いか(A型)、最後の拍が高いか(B型)の二通りの型のいずれかで発音される。例えば、

A型...鼻( )、鼻が( ); 桜( )、桜が( )

B型...花( )、花が( ); 頭( )、頭が( )

のようになる。この二型アクセントの代表として鹿児島方言のアクセントを次に示す。

表3 鹿児島方言のアクセント体系

拍	型	語 例
1	、	柄、蚊、血、名、葉、日
	、	絵、木、手、菜、火
2	、	飴、牛、枝、鼻、岩、音、川、橋、振る、巻く、着る、する
	、	犬、池、花、山、糸、笠、肩、箸、雨、猿、窓、春、降る、蒔く、見る
3	、	田舎、着物、魚、衣、桜、さざえ、力、上がる、運ぶ、明ける、厚い
	、	兎、雀、朝日、油、心、姿、涙、枕、頭、男、宝、動く、頼む、起きる



この二型アクセントは、東京式の大分方言のような多型のアクセント体系が型の変化を起こし、似た型同士が統合して生まれたと考えられる。

このアクセントの特徴は、次の二点である。

- (1) 品詞や拍数を問わず、すべての語（または文節）がA型、B型の二種の型のいずれかに統合されている。
- (2) 音韻論的には「さがりめ」があるか（A型）ないか（B型）だけで解釈される。九州西南部の鹿児島、熊本西部、佐賀・長崎両県の南部、奄美・沖縄宮古諸島に分布する。

#### 奈良田アクセント

山梨県南巨摩郡早川町奈良田方言のアクセントは特異なアクセントとして知られている。周辺の東京式アクセントが型の変化を起こして派生したと推定されているが、形式上は京阪式アクセントに類似している。このアクセントの着目すべき特徴としては一つの語（または文節）の中で、高まりが二箇所に出てくる型が存在する点が挙げられよう。

表4 奈良田方言のアクセント体系

拍	型	語 例
1	、	柄、蚊、葉、日...
	、	絵、藻、矢、尾...
2	、	風、牛、梅...
	、	猿、糸、息、秋、雨...
	、	山、石、歌、足、池...
3	、	桜、筏、形、兎、雀、当たる、明ける、挫く、恵む、赤い、浅い...
	、	カブと、鱈、錦、鰻、高さ、後ろ、鯨、歩く、這入る...
	、	心、朝日、命、動く、建てる、隠す、参る、青い、白い...
	、	鏡、霞、小鳥、小豆、女、頭、男...

#### 4. 韓国語のアクセント

韓国語のアクセントは長短アクセントであるとよく言われているが、実は二つ以上のアクセント要素を含んでいる複合アクセントなのである。というのも、韓国の国語学者の李崇寧（イ・スンニョン）は、「現代ソウル方言のアクセント考察1960）」という論文で、ソウル方言のアクセントに対する三つの見解（強弱、高低、長短アクセント）を示し、その後、イ・ヒョンボク（1973）の「現代ソウル方言のアクセント」においては「ソウル方言のアクセントは、アクセントの置かれる音節は長く、しかも強く発音される」という長

短 (length of syllable) と強弱 (stress) の複合アクセント説が主張されているからである。

#### 4.1 韓国語アクセントの特徴

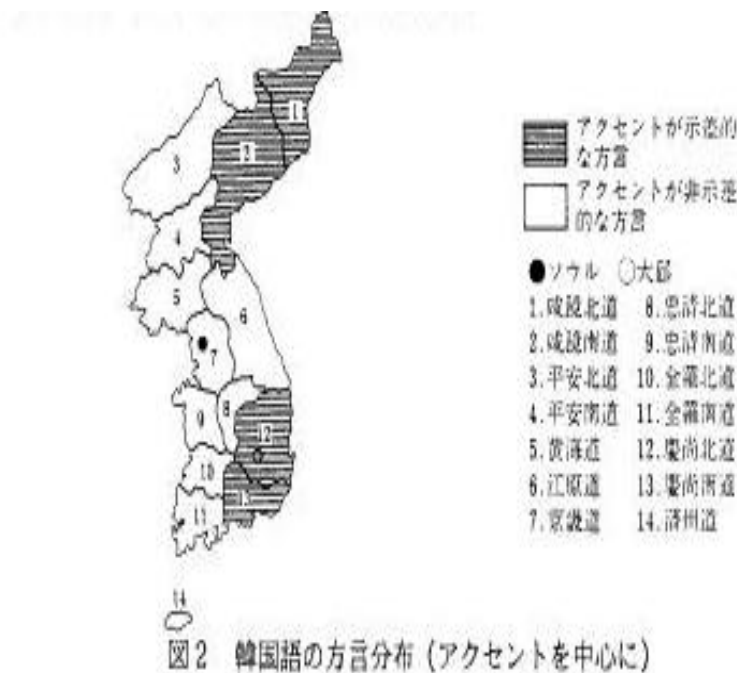
韓国語のアクセントの最小単位は一般に音節とされる。ところが、一音節内に声の高低変化が認められ、しかも声の高低変化のないアクセント型に比べてその持続時間が長いアクセント型が存在していることから、モーラを導入する場合もある。例えば、慶尚南道の大邱方言の「源」[ma : l] (言葉) は、音節内の声の上昇 (もっと正確に言えば、声の上昇と上昇の前の平坦な音調の存在) をその特徴とし、「源」[mal] (馬) や「源」[mal] (升) に比べてその持続時間が長いことから、一音節二モーラと数えられる。この点は東京方言と大きく異なる特徴である。

表5 大邱方言の一音節名詞におけるアクセントの型と意味区別の例

アクセント 型 語 例	( )	( )	( )	( )
_ /mal/	馬	升	言葉	
_ /e/			心労	子供

#### 4.2 諸方言のアクセントとその分布

現代韓国語の諸方言のアクセントは、ピッチ (高低) が弁別的か非弁別的かによって大きく二つに分けられ、その分布は図2のように示される。



#### 4.2.1 咸鏡道型アクセント

北朝鮮北東部の咸鏡道、および中国の朝鮮族の多くの話者には咸鏡道型のアクセントが見られる。Ramsey(1974,1978)、車香春(2000)などによれば、これらのアクセントは、N+1通りの型の区別を持ち、この点で日本語東京方言と同じである。車香春(2000)による延辺龍井方言のアクセントを例に取って次に示す。

表6 延辺龍井方言のアクセント体系

音節数	型	語 例
1	、	_ [mal] (言葉) ...
	、	_ [mal] (馬) ...
2	、	_ _ [saram] (人) ...
	、	_ _ [banul] (針) ...
	、	_ _ [baram] (風) ...
3	、	_ _ _ [iyagi] (話) ...
	、	_ _ _ [gobugi] (亀) ...
	、	_ _ _ [baguni] (籠) ...
	、	_ _ _ [bibaram] (雨風) ...

この図で ( ) ( ) ( ) ...などと表記したものの音調は、実際には日本語東京方言の場合に似て、第2音節から高まることもある。しかし、やや強制的に発音する場合には、語頭から低い音調が続き、最後の一音節だけが高く発音される。また、それ以外の語頭で が二音節以上続く型の場合も同様である。

#### 4.2.2 慶尚道型アクセント

韓国南東部の慶尚道には、全域に弁別性のあるピッチアクセントが存在する。慶尚道各地のピッチアクセントをアクセント体系という点から分類すると、まず、「多型アクセント」と「N型アクセント」に大きく分けられる。多型アクセントは、音節数の増加に伴ってピッチパターンによる対立の型の種類が増えるもの、N型アクセントは、音節数にかかわらず、一定の数の対立を持つものである。

##### 慶尚道型多型アクセント

このアクセントは慶尚道の東部（慶尚南道では釜山を中心とする多くの地域、慶尚北道では大邱を中心とする多くの地域）に分布している。慶尚道型多型アクセントの一例として、慶尚南道の昌寧方言の三音節までの名詞を例に取って次に示す。

昌寧方言のアクセント体系の特徴を要約すると次のようになる。

- (1) Aのグループは、最初の二音節が高く、以降は低く発音される。助詞が付いた場合の音調も同じグループに属する。
- (2) Bのグループは、一音節単独形は長い上昇調で発音されることが多く、二音節以上になると、...というパターンで現れる。助詞が付いた場合の音調も同じグループに属する。
- (3) C~Eのグループは、どこか一箇所が顕著に高く発音されるもので、その位置は助詞が付いても原則として変わらない。
- (4) 1~3音節語の範囲内で存在する型の種類は、N音節についてN+2通りある。

なお、この方言のアクセント体系は、慶尚南道と慶尚北道のそれぞれの代表方言である釜山方言および大邱方言のそれらに比べてより多くの型を持っており、さらに共通する型をすべて持っている典型的な多型アクセントである。

表7 昌寧方言のアクセント体系 名詞単独形

	1 音節語	2 音節語	3 音節語
A	( )		
B		( )	
C	( )		
D		( )	
E		( )	
A	mal 「斗」	more 「明後日」	mujige 「虹」
B	ma:l 「言葉」	saram 「人」	manura 「女房」
C	mal 「馬」	mori 「頭」	myonori 「嫁」
D		dari 「脚、橋」	minari 「芹」
E			majimag 「最後」

慶尚道型N型アクセント

慶尚道の西部一帯および全羅道の一部には、4型ないし3型の慶尚道型N型アクセントが分布している。このアクセントの例として、慶尚道型4型アクセントである全羅南道光陽市のアクセント体系を図10に示す。

全羅南道光陽市のアクセント体系のもっとも大きな特徴は、D系列(図19を参照)の音調で名詞に助詞が付いた形、あるいは用言の活用形などにおいて語幹がこの系列に属していれば、文節全体の長さにかかわらず、常に次末(penultimate)の位置がもっとも高くなることである。

• minari	minari - ga	minari - boda	minari - boda - nun
	-	-	- -
芹	芹が	芹より	芹よりは
• gidaryo	gidari - go	gidarim - sodo	gidari - rago - ggaji
	-	-	- -
待て	待って	待ちながらも	待てとまで

慶尚道型多型アクセントであれば、minari( )の高い部分は固定していて、助詞が付いても変わらないが、この体系では、文節の長さが長くなるにつれて高い位置も後ろにずれていく。(これは日本語の特殊式アクセントのA型アクセントに類似している。)

また、それに伴って、慶尚道型多型アクセントの場合に存在した、  
、  
、  
、  
...などのように第一音節と次末音節以外の一箇所が高い型の存在が許されなくなる。

表8 全羅南道光陽市のアクセント体系

	1音節語	2音節語	3音節語
A	( )		
B			
C	( )		
D			
A	be「腹、船」	gurum「雲」	mujige「虹」
B	be:「倍」	sa:ram「人」	ma:nure「女房」
C	be「梨」	jimci「キムチ」	menori「嫁」
D		dari「脚、橋」	minari「芹」

### 5.2.3 一型アクセント

このアクセントについてはまだ研究が進んでいないが、日本語のアクセントにおいて弁別性を持たない方言を「一型アクセント」と「無アクセント」とに区別しているように、韓国語についても同様の区別を行いうる可能性がある。

#### 末尾高一型

平安道などで分布するアクセントで、一つ一つのアクセント句の末尾の一音節を高く発音するものである。ただし、「接続形」と「言い切り形」の区別があって、文中で後ろに別の句が続く場合には接続形となり、句末を高く発音するが、文末や文中でも直後に休止や何らかの切れ目がある場合には言い切り形となって、最後から2番目の音節(次末音節)を高く発音する。

#### 第2音節高一型

このアクセントは全羅南道に典型的に見られるものであって、一つ一つのアクセント句において第2音節がもっとも高くなり、以降のアクセント句の末尾にかけて下がっていく、というものである。ただし、語頭の子音が激音(有気音)濃音、/s/、/h/の場合には、第一音節から高く発音される。

### 5.2.4 無アクセント

ソウル方言は、無アクセントの典型と言えよう。この方言では、一つ一つのアクセント句の境界が必ずしも明瞭ではなく、二つ以上の句が連なって平板に発音されることがある。ただし、これは常に起きることではなく、特に文中での末尾を高くして取り立てられるように発音されることも決して少なくはない。しかし、そのようなことがない場合には、複数のアクセント句を平板に発音することができる、というのがこの方言の特徴である。

韓国語の諸方言のアクセント体系を表にまとめると、次のようになる。

表9 韓国語アクセント体系の分類

弁別的	多型アクセント	慶尚道型（釜山、大邱など）
		咸鏡道型（中国東北部も含む）
	N型アクセント	慶尚道型（慶尚道西部、全羅道光陽市）
非弁別的	一型アクセント	末尾高（平安道など）
		第2音節高（全羅南道の一部）
	無アクセント	（ソウルなど）

5. おわりに

これまで述べてきた日本語と韓国語のアクセントに関する事項をまとめて表に示す。

	日本語	韓国語
アクセントの種類	高低アクセント	複合アクセント （地方によって長短、強弱、高低の要素がそれぞれ異なって存在する）
最小単位	単語	音節
アクセントの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高」、「低」二種類の拍の組み合わせによって構成される</li> <li>・高低の変化は、主に一つの拍から次の拍に移るところで起きる</li> <li>・弁別と統語の機能を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピッチアクセントを持つ方言の場合、左の日本語アクセントの特徴の全項目を共有する</li> </ul>
アクセント体系の種類と特徴	<p>京阪式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞は <math>2n+1</math> 種の型を持つ</li> <li>・一拍語の場合、母音を長く引いて二拍に発音されることが多い （例：テー（手））</li> <li>・第一拍と第二拍は、高さが異なる場合もあり、そうでない場合もある （例：息、飴）</li> <li>・一拍内に声の高低変化が認められる （例：猿）</li> </ul>	<p>慶尚道型多型</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～3音節語の場合、<math>n+2</math>種の型を持つ（4音節以上になると、<math>n+2</math>より多い型を持つ）</li> <li>・同左 （例：dari（脚）、more（明後日））</li> <li>・同左 （例：ma:l（言葉））</li> </ul>
アクセント体系の種類と特徴	<p>東京式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞は <math>n+1</math> 種の型を持つ</li> <li>・第1拍と第2拍が異なる方言が多い</li> <li>・一つの語の中で高い部分が二箇所ある型はない</li> <li>・特殊拍の後には「さがりめ」が来ない</li> </ul>	

	<p>一型式 a. 尾高一型 ・すべての語の最後の拍だけを高く発音する(例: 雨、男)</p> <p>・弁別機能がない</p>	<p>一型(注2) a. 第2音節高一型 ・すべての語の第2音節がもっとも高くなり、以降は語末にかけて下がっていく ・ピッチが弁別的ではない</p>
	<p>b. 平板一型(無アクセント) ・話者に型の意識がなく、アクセントに型としての決まりがない。例えば、男は、 のように様々に発音される。比較的平板に発音されることが多い ・弁別機能がない</p>	<p>アクセント ・一つ一つのアクセント句の境界が明瞭ではなく、二つ以上の句が連なって平板に発音されることが多い ・ピッチが弁別的ではない</p>
	<p>特殊式 a. 二型 ・すべての語が最後から二番目の拍が高いか(A型) 最後の拍が高いか(B型)の二通りの型のいずれかで発音される (A型: 鼻、鼻が 桜、桜が B型: 花、花が 頭、頭)</p>	<p>一型(注2) b. 末尾高 ・文中で後ろに別の句が続く場合、アクセント句の末尾の一音節を高く発音する「接続形」と、文末や文中でも直後にポーズが置かれる場合、最後から2番目の音節を高く発音する「言い切り形」を区別して発音する ・ピッチが非弁別的</p>
	<p>(空欄)</p>	<p>慶尚道型N型 ・音節数に関係なく、一定の数の対立を持つ ・3型と4型の2種類ある</p>

(注2)は、同類に所属する型を比較の便宜上、二箇所に分けて示したものである。

今回の研究で、今まで掛け離れているとばかり思っていた両国のアクセントが、実は類似している部分が少なくないということが分かった。韓国の場合、日本に比べ、アクセントの研究があまり進んでおらず、資料が不十分で大雑把な比較しかできなかったが、この研究を土台に、次は両国の無アクセントの研究を進めていきたいと思う。

#### 参考文献

柴田武 外 『日本の言語学 第2巻音韻』大修館980



杉藤美代子編『講座日本語と日本語教育 第3巻』明治書院990  
山口幸洋『日本語方言一型アクセントの研究』ひつじ書房998  
飯豊毅一 外『講座方言学6 - 中部地方の方言』国書刊行会998  
平山輝男『日本の方言』講談社現代新書1968  
日本放送協会編『日本語発音アクセント辞典改訂新版』2001  
金田一春彦 外『岩波講座日本語1 - 方言』岩波書店1977  
福井玲『音声研究 第5巻韓国語のアクセント』2001  
曹延煥「韓国語昌寧方言のアクセント体系」(福井玲編『韓国語アクセント論』所収)2000

## 19 世紀後半の韓国と日本

李 階娜

### ．はじめに

韓国と日本は地理的に近いと、古代から現代まで様々な形態の交流をして来た。その中で、近世の韓日関係は「朝鮮通信使」の果たした文化的役割や両国の外交が交隣関係で結ばれていたという認識に基づいて、「平和友好的関係」であったと強調されてきた。一方、開国期を前後とした近代の韓国と日本は、日本による「侵略的な関係」であったと説明されている。もし、そうであれば、何故に交隣関係が侵略と被侵略の敵対関係に急変したのかという疑問にぶつかるのである。

本論ではこうした問題意識によって、開国期を前後とした韓日関係の歴史的な推移を究明するために、東アジアの国際的状況と国内的な政治状況、そして政策決定の背景を成していた同時期の思想的推移について総合的に扱いながら、それが韓日関係をどのように決定づけ、結果としてどのような交隣体制の結末をもたらしたのかという問題を検討したいと考える。

### ．東アジアの国際秩序

一般的に前近代東アジアの国際観を論ずる時、基本的枠組みとなる認識は大きく分けて中華意識と事大観念であると見ることができる。「中華意識」とは中国中心主義の文化・地理的な意味を持つ中国人の世界観であり、一方、「事大観念」とは中国に隣接した国々が中国に対して持つ政治・軍事的な意味での対外観である。すなわち、軍事的に優勢な中国に対して隣国は自国の安全を守るために、朝貢と冊封による事大関係を結んでいたのである。このように中国を頂点として編成された東アジアの国際秩序を「中華的国際秩序」、その具体的な外交体制を「冊封体制」という。

1392 年建国した朝鮮は、明との冊封関係を結び、中華的な国際秩序に編入されることで東アジアの国際秩序の一員になり、朝鮮の地位を安定させた。

一方、同年、統一政権を確立した足利義満も明の年号を使用した表文を明に送り、日本も明を中心として形成された中華的な国際秩序に編入された。

同じ時期に中華的な国際秩序に編入された朝鮮と日本は「冊封体制」という秩序形式を媒介としながら交隣関係を結ぶことによって、「国家対国家」の関係を定型化していた。すなわち、朝鮮は明に対しては「事大政策」をとることによって大陸からの軍事的な脅威を緩和させ、さらに明の冊封体制の中に入って明中心の中華国際秩序に編入されることで国

家の安全を図った。そして明中心の国際秩序の中で日本と交隣関係を結び、倭寇問題を解決し、対日本関係を友好関係に転換させ、広くは東アジア三国の平和共存関係を構築したのである。ひいてはこうした中華的国際秩序の枠組みのなかで、各種の制度と条約を体系化して朝鮮国王と日本の将軍との間には「対等関係の交隣」、事実上の通交は対島を頂点とする地方勢力との「羈縻 関係の交隣」という二重構造をもった独特な交隣外交体制を成立させていた。

このような中華的な国際秩序は17世紀に入ると、脱中華の新しい国際秩序に変化されるようになった。脱中華の交隣体制は、基本的に両国関係にあって中国（清）を排除した独立的性格を有していたのであり、また清を牽制するという連帯意識も持っていた。反面、両国は「朝鮮中華主義」と「日本型華夷意識」という互いに相反した「自民族中心主義」の独善と虚構性を形成していた。しかし、このことが結局両国関係を再び対立と葛藤の歴史に追いやってしまったのである。こうした1636年以後、朝日両国間には「本当に信義を通じる」という意味の「通信使」が派遣され、表面的には善隣友好の交隣体制が維持されてはいたが、実質的には対立と葛藤を繰り返すのみであった。

## ．日本の国内状況

### 1．日本型華夷秩序

徳川幕府の日本は、江戸幕府が、天皇の朝廷と大名の諸藩を統制する「中央集権的」な幕藩体制を樹立する一方、周辺地域と外国との外交・貿易を管理するために日本型華夷秩序を構築した。

16世紀半ばから17世紀半ばまで「東アジア世界」は、豊臣秀吉の朝鮮侵略、清の中国征服、徳川幕府の統一政権樹立と外交貿易権の掌握などの変動を経た。日本型華夷秩序は、こうした変動を克服しながら、幕府が国家支配と対外関係を再編した結果、大筋において1630年代までに形成されたものである。この秩序の地域間関係の大きな特徴は、幕府の「武威」による征服・服属関係が国家支配を再編（幕藩体制を樹立）したように、幕府・諸藩と周辺地域・国家の間にも征服・服属関係が存在したり、こうした関係に再編されたりする潜在性をもっていたことである。すなわち、幕府は朝鮮や琉球などの使節を下位の国が上位の国に貢納する使節として認識していたのである。このように外国使節（朝鮮、琉球、オランダ等）を朝貢使節とする行為は、日本（将軍）を中心とする「国際朝貢制度」、つまり規模は小さいが明の「中華世界秩序」と類似した「日本型華夷秩序」であったと言える。

欧米諸国への開国(1854年)以降、欧米諸国は軍事力と欧米国際秩序（条約体系）の不平等条約に基づいて日本とその周辺に進出してきた。この時期の対外的危機は、幕藩体制の危機であると同時に、周辺地域と国家との関係においても危機であった。すなわち、日本型華夷秩序は解体の危機に直面したのである。こうした危機に対処するために、幕府は日

本型華夷秩序を近代的に改編し始め、維新政府がこれを継承し、改編していった。日本型華夷秩序の近代的改編は、周辺地域・国家の内国植民地による領土拡張、具体的には第一蝦夷地幕領化から始まっていた。日本は開国以前からすでに欧米諸国の帝国主義と同様の領土拡張政策を実施したのである。明治初期による台湾出兵、征韓論などはその始まりであり、日清戦争による台湾の植民地化(1895年)、日露戦争後、樺太の北緯50度以南の受領(1906年)、日韓併合(1910年)による朝鮮の植民地化は、その結実であった。

## ・朝鮮の国内状況

### 1. 朝鮮中華主義

明を中心とする中華的国際秩序に入っていた朝鮮は、中国における明・清の勢力が交代する

1630から1640年代には脱中華の新しい国際秩序を構築するようになった。

中国で勢力を握った後金は朝鮮に兄弟関係を君臣関係に変えることを要求したが、朝鮮は強く拒否し、その結果、1636年の丙子胡乱をまねき、結局、力の劣る朝鮮は表面的に清との間に冊封関係を結ぶようになった。ただし、朝鮮は内面的に自国の文化価値に比重を置き、自らを中華文明の継承者であるとする「朝鮮中華主義」により自尊意識を強化していったのである。一時的にはその具体的な動きが北伐論としてあらわれ、次第に日本との関係も明中心の中華的交隣体制から、清を牽制し、また防備するという脱中華的交隣体制へと転換していた。

### 2. 朝鮮の衛正斥邪思想

19世紀以降、開国期にかけて朝鮮人の対外意識を支配した思想的潮流は衛正斥邪思想であった。それが高揚した要因として、西学(西洋の科学)、西教(カトリック)に対する思想的土着主義、そして欧米勢力に対する危機感と政治的な混乱など様々な理由を挙げることができる。

17世紀前半から受容された西学は、18世紀後半になると西学が本格的な関心の対象になり、実学者らにより体系的に受容されるようになった。また、1783年に創設されたカトリックは信者が全国的に広まり、その階層も両班層から次第に庶民層までも伝播していったのである。当時、朝鮮政府の立場から見ると、西教の伝播は、両班社会、家父長的な家族制度、儒教至上主義の社会に対する思想的な挑戦であり、西教が社会問題になったのはいわゆる典礼(儀礼)問題のためであった。それで、政府は西教を邪教と断定し、本格的な弾圧を始めた。西教および西学を邪教・邪学と規定した当時の儒学者らは、自らを「正学」と位置づけた。そして彼らの言う「正学」は、「小中華」ないしは「朝鮮中華主義」によって硬直化した「朱子学一尊主義の道統思想」であった。

当時朝鮮政府では1860年北京条約が締結される前までは、西欧に対する直接的な危機

意識を持っていなかったようであり、1840年に清でアヘン戦争が起こった時、直ちにそれが朝鮮に知られたが反応は無く、英国が清の広東・福建・浙江を陥落させた事実さえも一時的な現象と見ていた。そのみならず、1854年に日本が日米和親条約を結び開国して以来、英国・ロシア・オランダ・フランス各国と相次いで条約を締結し、1859年以降からはこれらの国々と貿易を始めたことが1860年に対馬から朝鮮に伝達された。これに対して朝鮮の反応はそのまま認めるとするものであった。このことは「衛正斥邪思想」が当時の朝鮮の支配思潮であったとしても、欧米諸国を攘夷の対象とまではみなしていなかったことを意味するものである。

しかしながら、第二次アヘン戦争で清が惨敗した後、北京条約により清が米・仏等の揚子江以北の地方を開放し、アヘン貿易とキリスト教布教を公認、そしてロシアに対しては沿海州を割譲するに至るや、朝鮮はロシアと国境を接することになり、次第に対外的な危機感が高まるようになった。こうした国情勢のなかで欧米に対する不安が高まっていた時、1866年7月にジェネラル・シャ・マン号の大同江侵入事件、続いて9月からの口・ズ提督が率いるフランス極東艦隊の江華島侵入による丙寅洋擾、1868年4月にドイツ人オッペルトの南延君墓盗掘事件が起こり、これを喫機に朝鮮は欧米に対して不安感と危機意識を持つようになった。それで、当時、統治者であった大院君は「主和は売国であり、交易は亡国であり、非戦は危国という攘夷三大原則」を立てて全国的に斥和碑を建てたのである。すくなくともこの当時は、攘夷の対象は西洋であったが、こうした攘夷の論理も、日本に対する危機感が高まる中、「倭洋一体」の斥倭運動として展開するようになる。

#### ・書契拒否事件

1868年3月に成立した明治政府は、王政復古を知らせる書契を二度にわたって朝鮮に伝達した。これらを受け取った朝鮮側は、書契の中に「皇」・「勅」などの字句があり、また賜与した島主図書に新しい印を押した規定外の書契であることを取り上げ、すぐに追いつ返すことを主張した。

当時朝鮮では両国関係の友好を持続させるために、従来どおりの交隣体制を原則としていたのであり、またこれを守らない場合は交渉することはできないという基本的立場を取っていたのである。すなわち、朝鮮側の姿勢は日本が従来どおりの交隣関係を望むであれば、両国間の条約により数百年間継続してきた従来形式を踏むようにということであって、日本の国制が変わったとしても、それは日本側の事情に過ぎないという立場を固守した。こうした立場は同時に、従来から行ってきた「交隣体制」の諸形式によってのみ、両国間はもちろんのこと東アジアの伝統的な国際関係が維持されるという対外政策の基本的立場を表したものと見ることができる。

一方、幕府がもともと天皇から預かっていた日本の統治権を返した「大政奉還」を行った日本は、日本の元首は日本国大君である将軍ではなく天皇であり、将軍（大君）よりワ

ンランク上の天皇である以上、国書の文面も中国皇帝と同じ「皇」を使うべきだと考え始めたのである。

徳川幕府から中国との冊封体制をやめていた日本は、壬辰倭乱（豊臣秀吉の朝鮮侵略）後、朝鮮と日本が外交関係を結ぶ場合、国書の差出人の問題に悩んでいた。事実上、統治者であった将軍は国家機構、律令体制の中の一将官にすぎないため、国の代表者の呼称とはなりえなかった。それで、日本は「大君」という言葉を使って「日本国大君」で書契のやりとりをするようになり、これが朝鮮と日本の従来外交形式であった。

結局、交隣体制下における前例を無視した明治政府の通報は、朝鮮側の強い反発を引き起こし、従来外交体制を放棄しない限りは妥協することができない状況になったのである。

#### ． 倭館占領と交隣体制の崩壊

朝鮮政府が書契の受け取りを拒否した結果、朝日間の交渉は混迷の状況に陥ってしまった。明治政府は「廃藩置県」により、従来外交体制で朝鮮と日本との交渉で代理の役割を果たしていた対馬を廃止し、政府と政府の間の対等な交渉を追求することになった。その中で、1872年9月、軍艦二隻と歩兵二個小隊を派遣して倭館を占領した。本来、朝鮮の東來（釜山）に設けられた倭館は建設された当初から倭を懐柔するために、朝鮮側が建てたものであって、建築費と滞在する倭館員に対するすべての費用を朝鮮側で負担し、対馬島主の責任の下にその使用を許可したに過ぎなかった。したがって、朝鮮政府は明治政府が倭館を対外公館のように接收したことを侵略行為であると断定した。この時から、朝鮮は日本を「倭洋一体」の衛正斥邪の対象とするようになったのであり、またその年の10月に倭館占領の責任を問い、倭館に対する食糧支給と交易を中止する「撤供撤市」を強行することによって交隣体制下のもとの倭館のすべての機能は幕を下ろしたのである。

これにより、1404年に朝鮮国王と室町幕府の将軍との間の国書交換により成立した460余年間の「朝鮮と日本の交隣関係」は終末を告げたのである。

#### ． 征韓論争と江華島事件

1873年5月、朝鮮の「日本公館」に着任した広津弘信から送ってきた、東來府使による日本侮蔑の公示の謄本を直接のきっかけとして、政府内に朝鮮問題をめぐる議論がまきおこることになった。西郷隆盛、板垣退助らの強硬手段に訴えても朝鮮に開国を迫るべしと唱える「征韓論」者たちと、今は対外関係よりは国内の経済発展を重視すべきという、大久保利通、岩倉具視らとの間で論争が起こった。

西郷の主張は、いわば二段がまえで、第一は、全権使節を朝鮮に派遣して、軍事的威嚇を伴わずに、世界の体勢を説き、開国を勧告することであり、その全権使節には自分があたる。そして、日朝交渉が決裂したら第二段階として、開戦し、国民にも欧米

列強にも日本政府を支持してもらおう大義名分が立つとすることであった。この西郷の主張の背景にあったのは、解体された士族層の不平であり、これを外に目を向けることにより内乱の因を防止する意図があったのであり、自らが捨て石になる覚悟で朝鮮に一命を捨て、国民の奮起を促そうとしたともいえる。また、朝鮮問題を広く対ロシア戦略の見地から認識していたのである。

一方、岩倉具視、大久保利通らは、西郷の朝鮮派遣に反対したのであるが、その主な理由は、西郷の主張の第一段階から（西郷の派遣）から第二段階（開戦）に至る極めて高い連動可能性にあった。大久保は西郷に反対し、10月に提出した「征韓論に対する意見書」は、政府の基礎がまだ確定していないとして戦争に直結し多大の国庫支出あるいは多額の借金を予想しなくてはならない外交政策の断交は愚策であり、内政の諸整備こそが当面の急務だと主張し、西郷の賭け的な外交政策の危険性を指摘したのである。

その結果、西郷の主張は受け入れられず、敗れた西郷は下野し、明治6年の征韓論争は一段落することになった。

征韓論争直後の1873年12月、朝鮮では、鎖国主義者の大院君が政変で政権の座を退く事件が起こり、大院君の息子である国王高宗の妃が事実上の権力者になった。この政変で、今までの頑固な鎖国策は多少軟化するという情報を得た日本は外務省官使の森山茂を派遣するが、交渉することができなかった。帰国後、森山茂は軍艦を派遣して圧力をかけなければならぬと主張し、それが江華島事件に発展していった。それで、日本はアメリカのペリ - が来航してきた時の資料に基づいてソウルの入り口に当たる江華島に近づき、朝鮮を開国させた。その結果、1876年に日朝修好条約が締結される。それは、日本がアメリカとの間に結んだ日米修好条約と同様に不平等条約であった。

それから、日本はますます朝鮮に力を伸ばし、結局、1910年、日韓併合による朝鮮の植民地化に成功するに至るのである。

## ．おわりに

以上、19世紀後半の朝鮮と日本の中に起きた大きな事件やその背景になる両国の国内状況、国際状況などを中心として考察してみた。私がこの研究に取り組んだ理由は、前に述べたように「朝鮮通信使」で象徴される朝鮮時代の朝日間の友好交隣関係が、近代に入ってから侵略と被侵略の敵対関係に急変したことに疑問を抱くようになったからである。それは、韓国の歴史教科書でも日本の歴史教科書でも、こうした問題に対する具体的な説明もしないまま、自国の立場の中で大きな事件だけを取り上げて叙述するからだと思う。しかし、韓日関係にとってこういう問題は過去の過ぎ去った昔話ではなく、今でも韓国人と日本人の間にしばしば論議される大事な問題なのである。韓国と日本の歴史の中で、一番

関心を集める「日本による植民地化」とそれを招いた原因を明らかにすることは、韓国人にとって日本に対する被害意識による敵対感情を緩和させることができ、また、新しい韓日関係の構築にも必要だと思う。

朝鮮と日本は「事大」と「冊封」による東アジアの国際秩序に入っていたが、中国と陸続きの朝鮮はその影響が強く、対外政策や国家政策の中心を成していた。一方、日本は海を隔てていたこともあり、必要に応じて形式だけをとったりしていたが、それが国家政策の中心を成していたとは思われない。また、16世紀半ばから始まった脱中華と共に新しく「自民族中心主義」を形成し、そこで現れた欧米勢力に対する新しい国際秩序再編に当たって両国は違う道を歩むことになった。朝鮮は攘夷に成功して鎖国政策を強化し、結局、開国を遅らせる結果をもたらした。反面、攘夷に失敗した日本は開国し、明治維新を起こして国を近代化させた。さらに、明治政府は軍備を拡張して東アジアに進出することになったのである。その結果が侵略と被侵略の敵対関係を生み出したと思う。

私がこの研究を始めて一番難しかったのは、両国の歴史を客観的な目で見て判断することであった。知識の乏しい私にとっては、いろいろな異なる意見をまとめることは極めて大変なことだったからである。今でも、真実の韓国と日本の姿にはたくさんの疑問が残っている。

#### 注

羈縻：中国の王朝が周辺の弱小民族に対する支配政策として、その有力者を懐柔し自治を許して間接統治したことで、朝鮮が日本の対馬に対してとっていた政策である。

思想土着主義：伝統的な社会儀礼を自然的な現象として考え、特に既成勢力を持つ人々がそれを当然な秩序と考えて、意識的に自己の社会と文化を守ろうという態度。すなわち、その既存社会と文化の本質的な要素を復興させ、また、永続させるための意識的で組織的な努力をいう。

#### 参考文献

孫承哲（1998）『近世の朝鮮と日本』明石書店

藤岡信勝、井沢元彦（1998）『noといえる教科書 - 真実の日韓関係史』祥伝社

加藤祐三編著（1995）『近代日本と東アジア』筑波書房

吉野誠（2000）「明治六年の征韓論争」『東海大学紀要文学部』第3輯



# 日本語とトルコ語の諺の比較対照研究

諺の中で使用されている動物素材を中心に

バルシュ・カフラマン

## ．はじめに

広島大学で日本語・日本文化研修生として勉強するにあたって、アジアの東端と西端に遠く離れて位置している日本とトルコの諺の素材には違いや類似の意味があることに興味を持った。そこで、このような表現素材の相違点や類似点について比較対照研究をすることにした。

諺を研究してみると、その諺が代々伝わってきた民族の慣習や風俗、生活様式など、その民族の文化について色々な事情が分かる。しかし、今回の研究では両国の諺を全体的に調べ、諺の面から見た両民族の慣習や文化的な事情について全体的に述べるのではなく、両国で「動物」が表現素材として使用されている諺に主眼を置き、数量的な観点から比較対照研究を試みる。

次に構成、分析資料、分析方法について簡単に述べておく。

## ．構成

両国の諺の中で表現素材として使用されている動物の単語を抽出し、哺乳類<sup>ほにゅうるい</sup>や鳥類<sup>ちょうるい</sup>、魚類<sup>ぎょるい</sup>、爬虫類<sup>はちゅうるい</sup>そして、昆虫類<sup>こんちゅうるい</sup>とその他の虫類<sup>むしるい</sup>として五つの項目（グループ）に分類し、諺の中で表現素材として使用されている「動物」の数を中心に比較する。その比較を踏まえて、素材の中で両国の風土や両民族の生活様式と動物に対する意識の特徴を述べる。

## ．分析資料

数量的な分析の資料としては、中川昇が監修した「諺辞典」（960例）とソニーD-D-IC7000にソフトとして入っている学究出版社の「ことわざ早引き辞典」（1300例）そして、OMER ASIM AKSOY（オメル・アスム・アクソイ）の「ATASOZLERIVE DEYIMLER SOZLUGU」「諺・成句辞典」2667例を資料母体とした。

## ．分析方法

上記の資料母体から動物を現す素材（単語）を抽出して、哺乳類や鳥類、魚類、爬虫類そして昆虫類とその他の虫類として大きく五つの項目（グループ）に分類し、二言語間

の諺で素材として使用されている「動物」の数や使用頻度を中心に比較する。そして、素材の比較を通して両国の風土、両民族の生活様式と動物に対する意識などの特徴を考察する。

1. 両国の諺に使用されている動物素材

両国の諺に使用されている動物素材を（表1・表2）を対照してみるといくつかの特徴が見られる。その特徴を以下の五つのグループに分けて考察してみよう。

哺乳類		鳥類		魚類		爬虫類		昆虫類とその他の虫類 <sup>むしるい</sup>	
馬	20		13	魚	13	かえる 蛙	8	あり 蟻	10
猫	19	からす 烏	8	うなぎ 鰻	7	へび 蛇	5	ちゅう 虫	7
犬	17	つばめ 燕	6	いわし 鰯	5	かめ 亀	1	あし 蚊	4
牛	11	がん 雁	5	たい 鯛	4	すっぽん 鱉	1	はち 蜂	3
ねずみ 鼠	9	たか 鷹	5	かに 蟹	4	とかけ 蜥蜴	1	くも 蜘蛛	3
とら 虎	6	すずめ 雀	4	こい 鯉	3			くわ クワ	2
しか 鹿	3	つる 鶴	4	かつお 鰹	3			はえ 蠅	1
猿	3	鶏	3	はまぐり 蛤	3			あぶ 虹	1
いたち 鼬	2	わし 鷲	3	あわび 鮑	2			うじ 蛆	1
しし 獅子	2	ほと 鳩	3	くじら 鯨	2			こがねむし 黄金虫	1
うさぎ 兎	2	ほととぎす 時鳥	2	えび 蝦	1			ちよう 蝶	1
こうもり 蝙蝠	2	かも 鴨	2	なまず 鱈	1			どうろう 螞蟷	1
おおかみ 狼	1	う 鴉	1	めだか 目高	1			なめくじ 蛞蝓	1
たぬき 狸	1	うぐいす 鶯	1	ふく 河豚	1			ほたる 螢	1
きつね 狐	1	えんおう 鴛鴦	1	どじょう 泥鰌	1			せみ 蝉	1
豚	1	きし 雉	1	さば 鯖	1			いもむし 芋虫	1
いのこ 豕	1	こく 鶺鴒	1	しらうお 白魚	1				
		さぎ 鷺	1	さけ 鮭	1				
		くまたか 熊鷹	1	まくろ 鮪	1				
		アカショウビ ン	1	かれい 鱈	1				
		せきれい 鶺鴒	1	なまこ 海鼠	1				
合計	101		67		57		16		39

哺乳類		鳥類		魚類		爬虫類		昆虫類とその他の虫類 <sup>むしるい</sup>	
馬	93	鳥	23	魚	13	へび 蛇	18	はち 蜂	6
犬	88	鶏	19	いわし 鰯	1	蛙	2	はえ 蠅	5

るば 驢馬	59	おんどり 雄鳥	13	かつお 鰹	1		あり 蟻	4
羊	41	からす 烏	11				しらみ 虱	4
牛	36	かちょう 花鳥	8				うじ 蛆	3
らくだ 駱駝	27	すずめ 雀	6				蚊	1
やぎ 山羊	25	たか 鷹	5				のみ 蚤	1
おおかみ 狼	24	ナインガール	3				ぼった 飛蝗	1
猫	16	ひよこ 雛	2				むかて 百足	1
しし 獅子	15	はやぶさ 隼	2				さそり 蠍	1
ねずみ 鼠	11	やまうずら 山鶉	2					
きつね 狐	11	かも 鴨	2					
くま 熊	9	おし 鷺	2					
豚	7	こうのとり 鶴	2					
うさぎ 兎	6	ぶくろう 梟	1					
らば 驢馬	5	うずら 鶉	1					
すいぎゅう 水牛	5	つる 鶴	1					
猿	2	かささぎ 鶺鴒	1					
はりねずみ 針鼠	1	つばめ 燕	1					
象	1							
さい 犀	1							
合計	483		105		15	20		27

## 2. 哺乳類

### (1) 両国の哺乳類の使われ方の特徴

両国の諺の中で表現素材として使用されている哺乳類動物がトルコ語に21種、日本語に17種あり、トルコ語の方が日本語より多少多い。トルコ語で使用されている哺乳類21種の動物素材の中で10種が日本語の諺には存在していない。(驢馬、羊、駱駝、山羊、熊、驢馬、水牛、針鼠、象、犀)(表3参照)それに対して、日本語で使用されている動物素材17種の内の6種が(虎、鹿、鼬、蝙蝠、狸、豕)トルコ語の諺の中には存在していない。両語で素材として使用されている哺乳類動物が合わせて27個あり、その中の11個が同じ、同類の動物である。(表3参照)

ここで最も顕著なことは、二言語間の諺で使用されている哺乳類動物素材数に殆ど違いがないにも関わらず、素材の使用回数の面から言えば、トルコ語の方が圧倒的に多いということである。トルコ語の諺で(2667例)21種の哺乳類動物の使用回数は483であるが、それに対して日本語の諺(2260例)では17種の哺乳類動物の使用回数は101に過ぎない。トルコ語の諺の中で表現素材として使用されている哺乳類動物の使用頻度は18.1%であり、日本語の場合は、4.4%である。

両国の諺で素材として使用されている哺乳類動物は、食肉や乳、毛、運搬、交通などの

為に飼育されている家畜及び、自然の中でそのまま生きている野生動物の二つに大きく分けられる。

表3 両国の諺の中で使用されている共通・相違の哺乳類

	共通		相違			
	トルコ語	日本語	トルコ語		日本語	
馬	93	20	驢馬 <small>るば</small>	59	虎 <small>とら</small>	6
犬	88	17	羊	41	鹿 <small>しか</small>	3
牛	36	11	駱駝 <small>らくだ</small>	27	鼬 <small>いたち</small>	2
狼	24	1	山羊 <small>やぎ</small>	25	蝙蝠 <small>こうもり</small>	2
猫	16	19	熊 <small>くま</small>	9	狸 <small>たぬき</small>	1
獅子	15	2	驃馬 <small>らば</small>	5	豕 <small>いのこ</small>	1
鼠 <small>ねずみ</small>	11	9	水牛	5		
狐 <small>きつね</small>	11	1	象	1		
豚	7	1	犀 <small>さい</small>	1		
兔 <small>うさぎ</small>	6	2	針鼠 <small>はりねずみ</small>	1		
猿	2	3				
合計	309	86		174		15

(2) 両国の諺で素材として使用されている家畜と野生の特徴

表4を見てみると、トルコ語の諺では家畜が「馬、犬、驢馬るば、羊、牛、山羊やぎ、駱駝らくだ、鶏\*、猫うさぎ、兔らば、驃馬らば」(鶏を除いて401例)であり、野生動物としては「狼、獅子ねずみ、鼠、豚\*、狐きつね、熊、猿はりねずみ、象、犀さい」(82例)が挙げられる。

歴史上トルコ民族が、栄養や交通、運搬などのために利用してよく親しまれた家畜、そして、農牧に損害をもたらす野生動物にも馴染みがあったと言えるようである。

\*鶏：哺乳類動物ではないが、卵や食肉のために飼育される家畜である。

\*豚：現在では多くのトルコ人はイスラム教徒であるため、豚がトルコでは盛んに家畜として飼育されてはいない。

日本語の諺で素材として使用されている家畜と野生動物(表4)を見てみると、家畜として「馬、猫、犬、牛、豚」(68例)が挙げられ、野生では「鼠ねずみ、虎とら、鹿しか、猿さる、鼬いたち、兔うさぎ、狼おおかみ、狸たぬき、狐きつね、豕いのこ」(33例)が挙げられる。これも、両国の諺における哺乳類動物の使用で見られる大きな差の一つである。トルコ語の諺では、牧畜に関係する家畜の方が多く使用されているのに対して、日本語の場合は野生動物の方がよく用いられているようである。従って、日本では牧畜に関しては馴染みが薄かったと言えそうである。

表 4 両国の諺の中で使用されている家畜と野生動物

トルコ語				日本語			
家畜		野生動物		家畜		野生動物	
馬	9 3	狼	2 4	馬	2 0	ねずみ 鼠	9
犬	8 8	獅子	1 5	猫	1 9	とら 虎	6
らば 驢馬	5 9	ねずみ 鼠	1 1	犬	1 7	しか 鹿	3
羊	4 1	きつね 狐	1 1	牛	1 1	猿	3
牛	3 6	熊	9	豚	1	いたち 鼬	2
らくだ 駱駝	2 7	豚*	7			うさぎ 兎	2
山羊	2 5	猿	2			獅子	2
猫	1 6	はりねずみ 針鼠	1			こうもり 蝙蝠	2
うさぎ 兎	6	象	1			たぬき 狸	1
らば 驢馬	5	さい 犀	1			きつね 狐	1
水牛	5					いのこ 豕	1
鶏*	3 4					狼	1
合計	435		8 2		6 8		3 3

トルコ語の諺の中で表現素材として使用されている哺乳類動物 (483 例) の中で家畜の使用回数は 401 例で、使用頻度は 83% である。全ての動物表現素材 (650 例) のにおいては 61.1% である。日本語の場合は、哺乳類動物表現素材 (101 例) の中で家畜の使用回数は 68 例で、使用頻度は 67.3% であり、全ての動物表現素材 (280 例) の中で使用頻度は 24.2% である。トルコ語の諺の中で表現素材として使用されている野生動物は、83 例、日本語の場合は 33 例である。

また、トルコで家畜として飼育される動物が、日本では飼育されない場合もあれば、同様に日本で家畜として飼育される動物がトルコでは飼育されていなかった (いない) と言えるようである。例えば、<sup>うさぎ</sup> 兎 はトルコ人によって食肉のために家畜として飼育されていたが、日本の場合兎は家畜として飼育されたのではなく、狩猟されていたようである。また、豚はイスラム教によって禁じられているので、トルコでは飼育されなかったようである。

今まで調べた資料の中で使用頻度が最も高い動物は両国においては馬である。トルコ語の諺における「馬」(93 例) の使用頻度は、全ての諺の中 3.4%、哺乳類動物の中

19.25%、全動物表現素材の中で14.3%であり、日本語の場合は「馬」(20例)の使用頻度は全ての諺の中では0.8%、哺乳類動物の中での19.6%で、全動物素材の中では7.1%である。

また、トルコ語では「針鼠<sup>はりねずみ</sup>、象、犀<sup>さい</sup>」、日本語では、「狼<sup>たぬき</sup>、狸<sup>きつね</sup>、狐、豚、豕<sup>いのこ</sup>」が表現素材として一回しか使用されていない。

長い歴史の中でトルコ民族にとって最も身近な動物、というか存在は「馬」であったと言ってもいい。何故ならば、好戦的な遊牧民族であったトルコ人は戦争や移動そして農業で「馬」をよく利用したからである。かつて、トルコ人にとって最も大切な三つの概念は1「馬」(馬や友)、2「妻」(妻や家族)、3「武器」であった。日本語の諺の中で表現素材として使用されている「馬」を見てみると、トルコ民族のような意識はないが、諺の中での使用回数を見ると、やはり日本人にとっても「馬」馴染みのある、よく親しまれた存在だと分かる。

例：

「馬は英雄の友」、「馬の腹、英雄の鼻」、「馬と妻に運あり」(トルコ語)

「馬に乗る者は落ち、道行く者は倒れる」(日本語)

(3) 雄・雌・子を区別して使用される動物素材

表5

	トルコ語	日本語
羊 41		
雌羊	28	_____
雄羊	3	_____
子羊	10	_____
牛 36		1 1
雄牛	22	_____
雌牛	10	_____
子牛	3	_____
雄子牛	1	_____
山羊 25	19	
山羊	6	_____
子山羊		
馬 20	93	
馬	_____	19
駒		1
鶏 34		3

めんどり 雌鳥	19	_____
おんどり 雄鳥	13	_____
ひよこ 雛	2	_____

日本語の諺で表現素材として使用されている動物の性、親か子が、また、同類の動物であるかどうかということは、「馬 駒」以外に指摘されていないが、トルコ語の場合は性、親子また、同類に属している動物は表現素材としてよく使い分けられている「牛(雌牛) 雄牛、雄子牛、羊(雌羊) 子羊、雄羊、山羊、子山羊」また、鳥類動物の中でも「鶏」の素材は、「<sup>おんどり</sup>雄鳥、<sup>めんどり</sup>雌鳥、<sup>ひよこ</sup>雛」としてはっきり使い分けられている。

トルコ語のこのような諺の中で一般的に、子の動物の表現素材は「むなしさや純真さ」、雄の動物の表現素材は「力」、雌の動物の表現素材は「むなしさ」を現しているようである。現在、両国でもまだまだ残っているが、日本より遥かに強い男女差別の意識が、トルコでは諺の中で表現素材として使用されている様々な動物の素材に浸透する程、大昔に溯っているとと言えるようである。

例：

「豚は子羊を生まぬ」(豚は性格の悪い人、子羊は無邪気な人を現している。)

「牧人のいない雌羊は狼にとられる」(指導者のいない人々はいつもひどい目に会うということのたとえ。また、雌羊は女の人で狼は悪質な男のたとえ)

「雄羊は雌羊より賢くなるべき」(雄羊は指導者のことで、雌羊は指導される人の喩)

両国の諺の中では、現在は動物園以外におらず、また両国に存在していたかどうかは不確実な哺乳類動物も表現素材として使用されている。

トルコ語の「<sup>しし</sup>獅子、猿、象、<sup>さい</sup>犀」の動物はトルコでは動物園だけで見られる。日本語の「<sup>とら</sup>虎、<sup>しし</sup>獅子」これらの動物は日本でも自然の中には存在していないだろう。

両国の自然の中で本当に生きていたかは不明確だが、両国の諺の中で表現素材として使用されている「獅子」は共通して、殆ど「力」や「男らしさ」を現しているのである。

例：

「獅子の子落し」(日本語)

「雄獅子は獅子で、雌獅子は獅子ではないの？」(トルコ語)

トルコ語では表現素材として使用されている哺乳類動物は21種、日本語の場合は17種ある。両国の諺の中で表現素材として用いられている哺乳類動物の種類はそれ程違わない。しかし、使用回数そして、使用頻度には大きな差がある。哺乳類動物のトルコ語での使用回数は483で、使用頻度は18.1%であり、日本語の場合は、使用回数は101

で、使用頻度は（4.4%）である。

両国の諺における哺乳類動物の使用で、数量的にトルコ語の方が圧倒的に多いが、両民族が生きていた地理的な範囲の面から考えてみれば、日本語の諺で表現素材として使用されている哺乳類動物は少ないとは言えない。

しかし、やはり家畜をはじめ、哺乳類にトルコでは日本より馴染みがあったと言えるようである。

### 3. 鳥類

次に鳥類の使われ方について調べてみると、表6のようになる。

表6 両国の諺の中で使用されている共通・相違の鳥類

	共通		相違			
	日本語	トルコ語	日本語		トルコ語	
鳥	13	23	雁 <small>がん</small>	5	花鳥 <small>かちょう</small>	8
からす鳥	8	11	鳩 <small>はと</small>	3	ナインガル	3
つばめ燕	6	1	鳶 <small>とんび</small>	3	隼 <small>はやぶさ</small>	2
たか鷹	5	5	時鳥 <small>ほととぎす</small>	2	山鶉 <small>やまうずら</small>	2
すずめ雀	4	6	鶉 <small>う</small>	1	鶯 <small>わし</small>	2
つる鶴	4	1	鶯 <small>うぐいす</small>	1	鶇	2
にわとり鶏	3	34	鶯鶯 <small>えんおう</small>	1	鶇 <small>うずら</small>	1
かも鴨	2	2	雉 <small>きじ</small>	1	鶇 <small>こうのとり</small>	1
			鶇 <small>こく</small>	1	鶇 <small>ふくろう</small>	1
			熊鷹 <small>くまたか</small>	1		
			アキョビ <small>アキョビ</small>	1		
			鶇鶇 <small>せきれい</small>	1		
			鶇 <small>さき</small>	1		
合計	45	83		22		22

両国の諺の中で表現素材として使用されている鳥類動物はトルコ語に16種、日本語に20種あり、日本語の方が多少多い。また、両国の諺の中では「鳥」も表現素材として使用されている。それに、トルコ語だけで、家畜として使用されている鶏が「雄、雌そして、雛ひよこ（子）」としてはっきり使い分けられている。（表7参照）

全ての諺の中で表現素材として使用されている鳥類動物（鳥を含めて）のトルコ語での使用回数は2667例の中で105例（3.9%）で、日本語の場合は、2260例の中で67例（2.9%）だけである。全ての動物表現素材の中で鳥類動物の使用頻度はトルコ語で



650例の中16.1%で、日本では280例の中で23.9%である。

合計で28種の鳥類動物表現素材の中で8種の鳥類「鳥、鶏<sup>からす</sup>、雀、鷹<sup>たか</sup>、鴨<sup>かも</sup>、鶴<sup>つる</sup>、燕<sup>つばめ</sup>」が共通しており、トルコ語の中で表現素材として使用されている「花鳥、ナイチンゲール、隼<sup>はやぶさ</sup>、山鶉<sup>やまうずら</sup>、鶴<sup>こうのとり</sup>、梟<sup>ふくろう</sup>、鶺鴒<sup>かささぎ</sup>、鷺<sup>わし</sup>」は日本語の諺の中には存在していない。同様に、日本語の諺の中で表現素材として使用されている「雁<sup>がん</sup>、鳩<sup>はと</sup>、時鳥<sup>ほととぎす</sup>、鶉<sup>う</sup>、鶯<sup>うぐいす</sup>、鶯鶯<sup>えんおう</sup>、雉<sup>きし</sup>、鶻<sup>こく</sup>、熊鷹<sup>くまたか</sup>、アキオビ<sup>アキオビ</sup>、鶺鴒<sup>せきれい</sup>、鶯<sup>さぎ</sup>」はトルコ語の諺の中には存在していない。

表7 鶏（トルコ語のみ）

鶏	
めんどり 雌鳥	19
おんどり 雄鳥	13
ひよこ 雛	2
合計	34

トルコ語の諺の中で表現素材として最もよく使用されている鳥類動物は、卵や食肉のために飼育されている「鶏」(34例)で、日本語の諺の中にはそれ程(3例しか)存在していない。日本語の諺の中で表現素材として最もよく使用されている鳥類動物は「鳥」(13例)であり、その次は「鳥<sup>からす</sup>」(8例)である。トルコ語でも、最もよく使われている「鶏」に次いで「鳥<sup>からす</sup>」が、諺の中で二番目によく使われている。

トルコでは「鳥<sup>からす</sup>」に対して汚い、価値のないものというイメージがあり、日本では一般的に「不吉」の象徴だと考えられているようである。鳥<sup>からす</sup>は現在でも、両国の街内や、田舎でよく目にする、ゴミや畑などを荒らす「鳥<sup>からす</sup>」は両国の人々にとって身近な存在であるが、それ程親しまれているとは言えない。また、日本では鳥類動物は気候現象を予想する上でよく使用されているようで、諺の中でもよく見られる。

例：

「雄鳥<sup>おんどり</sup>がどんなに鳴いても、雛<sup>ひよこ</sup>は雌鳥<sup>めんどり</sup>の鳴き声を聞く」(トルコ語)(父、母、子の関係)

「鳥<sup>からす</sup>が鳴くと不吉」(日本語)

「鳥<sup>からす</sup>は自分の子を見て「私の白くて綺麗な子」と言ったそうだ」(トルコ語)(親子)

「雀が水浴びすれば晴れ」、「燕<sup>つばめ</sup>が低く飛べば雨が近い」(日本語)

表6を見ると、日本語の諺で使用されている鳥類はトルコ語より少し多く、日本人の鳥類動物との関係はトルコ人より少し深いと言ってもいいだろう。トルコで家の屋上で鳩を飼っていた筆者は、鳥類には非常に興味があり、両国の空や様々な鳥類をいつも観察しており、日本の空を飛んでいる鳥類はトルコより豊富だと思う。それは、両国の諺の中で使

用されている鳥類動物を反映しているようである。

#### 4. 魚類

魚類の使われ方も、両国の特徴を興味深く見せてくれる。

表 8 両国の諺の中で使用されている共通・相違の魚類

	共通素材		相違素材			
	日本語	トルコ語	日本語	トルコ語		
魚	13	13	うなぎ 鰻	7		
いわし 鰯	5	1	たい 鯛	4		
かつお 鰹	3	1	かに 蟹	4		
			こい 鯉	3		
			はまぐり 蛤	3		
			あわび 鮑	2		
			くじら 鯨	2		
			えび 海老	1		
			なまず 鯰	1		
			めだか 目高	1		
			ぶく 河豚	1		
			どじょう 泥鰌	1		
			さば 鯖	1		
			しらうお 白魚	1		
			さけ 鮭	1		
			まぐろ 鮪	1		
			かれい 魚	1		
			なまこ 海鼠	1		
合計	21	15		36		0

両国の諺の中で表現素材として使用されている魚類は、日本語の方がトルコ語より圧倒的に多い。トルコ語の諺の中で「<sup>いわし</sup>鰯」と「<sup>かつお</sup>鰹」そして一般的に「魚」だけが表現素材として使用されている。それに対して、日本語の場合は20種の魚類そして、一般的に「魚」が表現素材として使用されている。

両国で全ての諺の中で表現素材として使用されている魚類の使用回数は日本語で2260例の中57例(2.5%)で、トルコ語の場合は2667例の中15例(0.5%)である。全ての動物表現素材の中で魚類の使用頻度は日本語で281例中20.8%であり、トルコ語の場合は2.3%である。

トルコ語の諺の中で表現素材として使用されている「魚、<sup>いわし</sup>鰯、<sup>かつお</sup>鰹」は、日本語の諺

中でも表現素材として使用されている。日本語の諺で使用されている魚類表現素材の多さを見ると、日本では狩猟や漁業が盛んに行われ、魚やその種類に非常に馴染みがあると言えるようである。日本の食文化（食卓）には欠かすことのできない魚であるが、トルコでは日本程馴染みがないようである。

日本は島国であり、その上河川や湖が多いので、魚が日本人に親しまれ、諺の中に多く浸透しているということは当然であるが、トルコは三方が資源に豊富な海に囲まれた半島であるのに関わらず、魚がそれ程親しまれていないということはとても興味深い。なお、ここでは、<sup>くじら</sup>鯨、<sup>かに</sup>蟹、<sup>はまぐり</sup>蛤、<sup>あわび</sup>鮑、<sup>えび</sup>蝦は魚類の中に入れて考察した。

## 5. <sup>はちゅうるい</sup>爬虫類

次に爬虫類の使われ方についても見てみよう。

表9 両国の諺の中で使用されている共通・相違の爬虫類

	日本語	トルコ語
蛇	5	18
蛙	8	2
<sup>かめ</sup> 亀	1	
<sup>すっぽん</sup> 鱉	1	
<sup>とかげ</sup> 蜥蜴	1	
合計	16	20

トルコ語の諺の中で表現素材として使用されている爬虫類動物はただ2種（蛇、蛙）のみであり、使用回数20例に過ぎない。トルコ語で使用されている爬虫類20例の使用頻度は、2667例の中で0.7%であり、動物が表現素材として使用されている650例の中での使用頻度は3%である。日本語の場合は、諺の中で使用されている爬虫類動物は5種（蛙、蛇、<sup>かめ</sup>亀、<sup>すっぽん</sup>鱉、<sup>とかげ</sup>蜥蜴）あり、使用回数は16例に過ぎない。使用頻度は全ての諺の中で（2260例）0.7%、動物が表現素材として使用されている280例の中では5.7%である。

両国の諺の中で表現素材として使用されている爬虫類動物の中では、蛇と蛙が共通し、日本語の諺の中で使用されている<sup>かめ</sup>亀、<sup>すっぽん</sup>鱉、<sup>とかげ</sup>蜥蜴はトルコ語の諺の中に存在していない。また、二言語間で共通している蛇と蛙の使用回数は、蛇がトルコ語で18例そして、蛙が2例であり、日本語の場合蛙は8例、蛇は5例である。使用回数を見て、両国でもこれらの動物に多少馴染みがあると言えるようである。

トルコ語の諺で蛇は裏切る、信用できない人のことを比喩的に現すためによく使われている。日本語の場合はトルコ語のような決まったイメージは見当たらない。

例：

「柔らかいと言って蛇に手をつけるな」、「蛇の頭は若いうちに押しつぶされる」（トルコ語）

「蛇は一寸にして人を呑む」（日本語）

6. 昆虫類とその他の虫類

昆虫類とその他の虫類について調べてみると、やはりいくつかの特徴が見られる。

表 10 両国の諺の中で使用されている共通・相違昆虫類とその他の虫類

	共通		相違			
	日本語	トルコ語	日本語		トルコ語	
あり 蟻	10	4	虫	7	しらみ 虱	4
蚊	4	1	くも 蜘蛛	3	のみ 蚤	1
はち 蜂	3	6	ケラ	2	ばった 飛蝗	1
はえ 蠅	1	5	なめくじ 蛞蝓	1	むかで 百足	1
うじ 蛆	1	3	あぶ 虻	1	さそり 蠍	1
			ちょう 蝶	1		
			どうろう 蝸螂	1		
			ほたる 螢	1		
			せみ 蝉	1		
			いもむし 芋虫	1		
			こがねむし 黄金虫	1		
合計	19	19		20		8

昆虫類とその他の虫類動物はトルコ語で10種（<sup>はち</sup>蜂、<sup>はえ</sup>蠅、<sup>あり</sup>蟻、<sup>しらみ</sup>虱、<sup>うじ</sup>蛆、<sup>ばった</sup>飛蝗、<sup>むかで</sup>百足、<sup>さそり</sup>蠍）日本語では虫を含めて16種が（<sup>あり</sup>蟻、<sup>蚊</sup>蚊、<sup>くも</sup>蜘蛛、<sup>ケラ</sup>ケラ、<sup>はち</sup>蜂、<sup>あぶ</sup>虻、<sup>はえ</sup>蠅、<sup>うじ</sup>蛆、<sup>ちょう</sup>蝶、<sup>どうろう</sup>蝸螂、<sup>ほたる</sup>螢、<sup>いもむし</sup>芋虫、<sup>こがねむし</sup>黄金虫、<sup>せみ</sup>蝉、<sup>なめくじ</sup>蛞蝓）諺の中で表現素材として使用されている。トルコ語では2667例の中、昆虫類動物表現素材の使用回数は27例、使用頻度は1%であり、動物が表現素材として使用されている650例の中での使用頻度は4.1%である。日本語の場合は、2260例の中での使用回数は39例、使用頻度は1.7%であり、動物が使用されている280例の中での使用頻度は13.9%である。日本語の諺の中で最もよく使われている昆虫類は蟻（10例）であり、殆ど気候現象や迷信を現すために使用されているようである。

例：

「蟻が穴を防ぐと雨になる」、「蟻が移動すれば大洪水」、「蟻に行列は雨のしるし」、「蟻

の行列をまたぐとよくないことが起こる。」（日本語）

両国の諺の中で共通している蟻と蜂は、トルコ語で殆ど、非常によく働く人のこと、つまり勤勉さを現す表現素材だが、日本語の諺の中にはそういうイメージはない。

「蟻から教訓を得よ！夏から冬を向かう」、「蜂のような亭主いれば、山ぐらいの場所あるう」（山ぐらいの場所とは、金持ちであることや、土をいっぱい持つこと）（トルコ語）

虫類は、日本語の諺では一般的に、気候現象や農業に損害をもたらす小さくて嫌なものを現していると言えようである。トルコ語の場合も殆ど小さいのに、いつも問題となっている物事を現すためによく使用されているようである。日本語の諺の中で表現素材として使用されている虫類はトルコ語より多いということから、日本人の虫やその種類との接触はトルコ人より多くて、影響を受けてきたと言ってもいいだろう。

例：

「夕蟬<sup>ゆうぜんみ</sup>は天気」、「蜘蛛<sup>くも</sup>の巣が光って見えたら晴れ」、「蚊柱が立てば雨」（日本語）  
「蠅は小さいが、吐き気を催させる」（トルコ語）

## 7. 全体的な特徴

表 1 1. 両国の諺の中で使用されている動物表現素材の使用回数と使用頻度

	トルコ語 2 6 6 7 個	%	日本語 2 2 6 0 個	%
哺乳類	483	18.1	101	4.4
鳥類	105	3.9	67	2.9
魚類	15	0.5	57	2.5
昆虫類	27	1.0	39	1.7
爬虫類	20	0.7	16	0.7
合計	650 個	24.3	280 個	12.2
<b>両国の諺の中で使用されている全ての動物表現素材の使用頻度</b>				
哺乳類	483	74.3	101	36.0
鳥類	105	16.1	67	23.9
魚類	15	2.3	57	20.3
<sup>こんちゅうるい</sup> 昆虫類	27	4.1	39	13.9
<sup>はちゅうるい</sup> 爬虫類	20	3.0	16	5.7

以上、動物表現素材の使用回数や使用頻度を中心に比較を行ってみた。トルコ語の諺

の中で動物素材は24.3%用いられており、特に、家畜が(16.1%)多く使用されているのに対して、日本語では特に、野生動物や鳥類、虫類そして魚類動物がよく表現素材として使用されていることが分かった。トルコ民族は牧畜そして、農業、日本民族は農業や狩猟、漁業を盛んに行ってきたようである。だからこそ、動物を利用する方法が異なり、両民族の生活様式には様々な相違があり、動物に対する意識も違っているようである。

一般的に諺の中での表現素材としての使用回数の多さから、トルコ人の動物との関係は日本人より密接的で、日常生活に深く浸透し、親しまれてきたようである。

#### . おわりに

以上、日本語とトルコ語の諺の中で使用されている動物を表す素材(単語)を中心に、考察した。両国の諺の中では動物に関してどのような素材が使用されているかを使用回数そして、使用頻度を対照しながら考察し、また、それが何を意味しているかを考えてみた。

素材の使用回数そして、使用頻度からみると、トルコ語の諺の中には、「馬、牛、羊、驢馬、鶏、山羊」などのような家畜に関する語彙が豊富なことが分かり、それを通して、農耕・牧畜がトルコ人の生活様式の基盤となっていたと言えるようである。また、日本語の諺の中での哺乳類、鳥類、魚類などの素材の使用回数をみると、狩猟や漁業が盛んに行われていたと言える。

動物に関する素材は両国の諺でも直接そして、比喩的に使用され、また日本語では根拠のない様々な迷信を現すのにもよく使用されているようである。今回の研究レポートでは両国の人々がそれぞれの動物を親しみ、それらの動物が生活様式の一端を担っていると述べたが、それぞれの「動物表現素材」は諺の中でどのように使用されているか、また、何を意味しているかを考察できなかったことは残念だと思う。

今回の研究レポートでは見逃したものもあると思うが、次回の研究ではこのレポートを見直し、両国の諺の中で表現素材として使用されている「動物」の数を再確認してから、「動物」に関するそれぞれの諺を一つずつ調べ、何を意味しているか、また、どういう風に使われているかを考察してみたいと思う。

#### 参考文献

中川昇 『新ことわざ辞典』 ダイソー

『暮らしのことわざ早引き辞典』 学研 (SONY DIGITAL DATA VIEWER DD-IC7000)

OMER ASIM AKSOY (オメル・アスム・アクソイ) 『ATASOZLERI VE DEYIMLER SOZLUGU(諺・成句辞典)』 INKILAP 1988

浮田三郎 「日本語とギリシア語の諺対照比較研究(4) 諺の中に使用されたる素材「動物」(1)」 『広島大学教育学部紀要 第2部』 第38号別刷1989

金子武雄 『日本の諺(3) 評論』 1993

竹内和夫 『トルコ語辞典』 大学書林 1987

# 日本の企業の経営力と日中関係

- ユニクロを例にして -

ジェイン・パク

## 1. はじめに

1970年代から1980年代にかけて、日本は全世界で最も競争力がある国であると認識されていた。そのことから、なぜ日本がこのような成功を収めたのかということに興味を持った。しかし、1990年代に入ってから日本の経済は次第に悪化しており、現在の日本には、高度の競争力を整えていたために生き残った企業と競争力がほとんどない企業が共存していると思われる。

日本に来てからほぼ一年になり、テレビや新聞や雑誌などであふれるように目にするのはユニクロによる記事だった。そこには、ソルト・レイク・オリンピックの時、日本代表選手達のユニホームを担当した事や、突然代わった社長の事、食品事業に新しく進出する事などが書かれていた。

ユニクロと言う会社は英語のユニーク・クロージング・ウェアハウスを略したもので、「独特の衣料倉庫」を意味している。ユニクロは店名でもあり、商品のブランド名でもあるが、ここ数年で急速に知名度が浸透して、一般的に知られるようになった。ユニクロは今年の秋に中国市場へも店を出す予定だと発表した。海外への進出はイギリスに続いて二度目になる。なぜユニクロは中国にも進出しようとするのだろうか。

以上のことから、この論文では、現代日本でより早く変化していると言えるユニクロを例にして、日本の企業における経営力や日中関係などを研究したいと思う。研究の最後には、これからのユニクロと理想的な戦略について、私なりの予想を述べるつもりである。

## 2. ユニクロにおける経営方式

最初に、日本の企業の経営方式について簡略に考えてみよう。

日本の企業の経営では、チームワークや長期的な眼識、絶え間ない品質の改善などのような方法が強調される。その上、成功した日本の企業は、けた外れな質の良さと安いコストを同時に果たすことを基本的な方法だと考えている（美野久志、中央大学（経済学部）講師）。そして日本の企業は標準化と大量生産、不必要な工程の除去などの処置が費用の節減だけでなく、品質の次元、その中でも特に均質性と定時納品の水準をより高くするために一番の方策だと信じているからではないかと思う。

ユニクロは2001年8月、セブン・イレブン（ジャパン）に次いで国内の小売り企業の



中で2位という記録を出した。表1に示されるよう、ユニクロ第一号がスタートした1984年の売上高は14億円であり、その時には1億円にも満たなかった経常利益が、1992年には売上高143億円、経常利益9億円、1995年には売上高486億円、経常利益45億円、去年の2001年には売上高4,186億円、経常利益1,033億円である。ようするに、1992年から2001年にかけて非常に早く成長してきた。

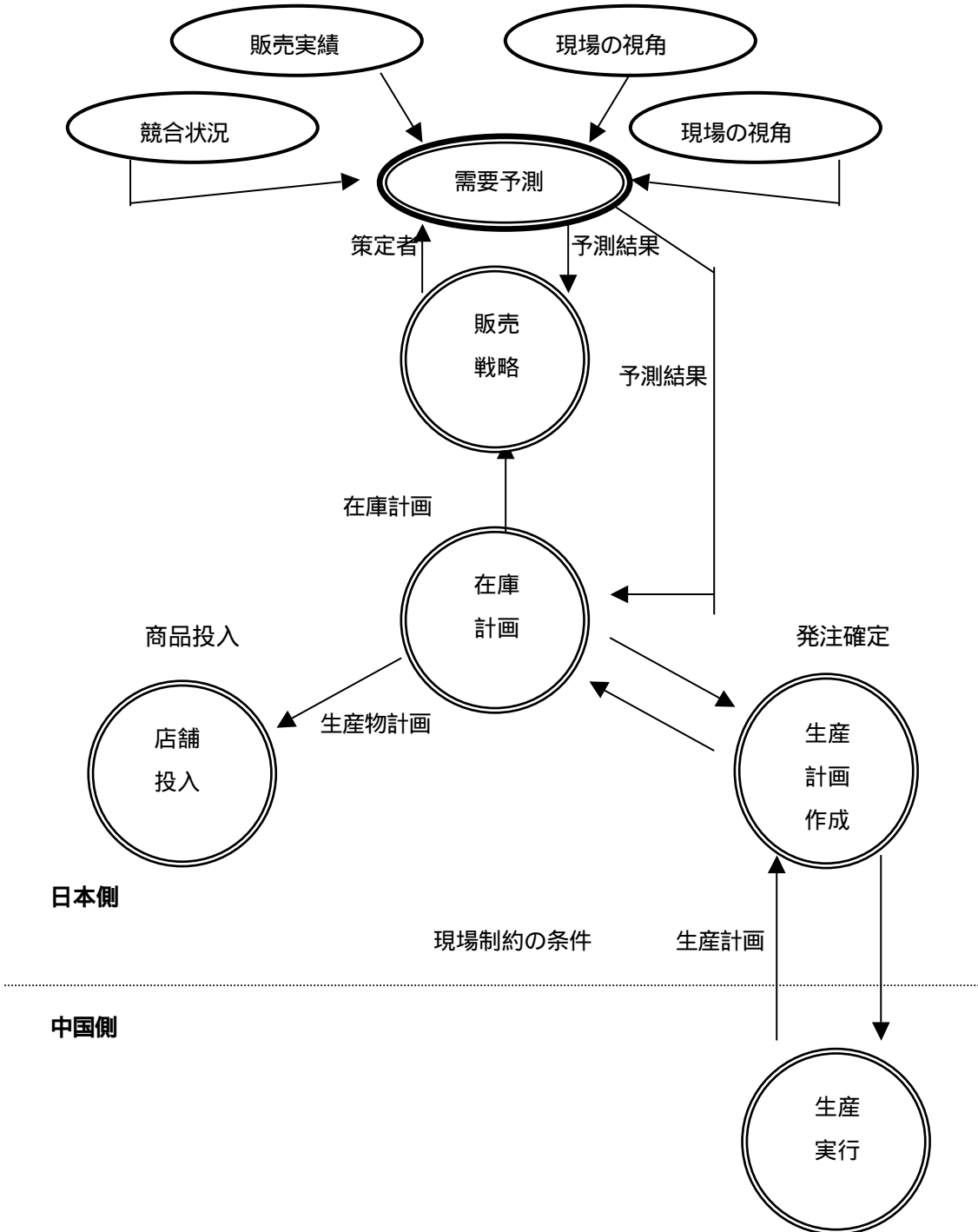
表1 ユニクロの売上高・経常利益

事業年度	売上高(百万円)	経常利益(百万円)
1984年8月	1,410	31
1985年8月	1,526	30
1986年8月	2,103	22
1987年8月	2,237	65
1988年8月	2,719	42
1989年8月	4,164	48
1990年8月	5,157	100
1991年8月	7,179	358
1992年8月	14,339	926
1993年8月	25,037	2,112
1994年8月	33,336	2,742
1995年8月	48,692	4,530
1996年8月	59,959	4,570
1997年8月	75,020	5,510
1998年8月	83,120	6,319
1999年8月	111,081	14,165
2000年8月	228,985	60,480
2001年8月	418,561	103,317

(出典：ユニクロのホームページ <http://www.uniqlo.co.jp>)

ユニクロの業種の形態は(図1を参照) 自社ブランドの衣類製品の販売に特別な小売店を表し、他の小売店で取り扱う国外ブランドは発売されていない。いわゆるSPA(Special store retailer of Private label Apparel) だと言われており、アメリカ衣類の小売企業のGAPがその代表とする例である。このような業種の形態には、生産から販売に至るまでの課程を垂直的にコントロールすることが特徴であり、これを通じて中間業者のマージンを無くすことができるので費用の節減が可能になる。しかし、他の小売企業では買うことのできない製品を持っている反面、在庫における負担や消費者がそのブランドに飽きるかも知れないなどのおそれがあると思われる。つまり、消費者の好みに合わせて製品を生産する一般的な小売企業とは違い、リスクが高い業種の形態であると言えるだろう。

図1 ユニクロの経営方法



(出典:「ユニクロ/ファーストリテイリング」慶応義塾大学ビジネススクール所長事例)

それらのことから、ユニクロでは、このような負担を最小限度に留めるため様々な対策を講じているようだ。例えば、消費者がたやすくブランドに飽きてしまわないように、流行に関係ない無難な製品を取り備えている。それは、売れるか売れないかによって落差が大きくなっていく流行の製品とは反対に、流行に関係ない製品は比較的、安定した売れ行きが見込まれるからだと考えられる。他には、店の販売の状況に合わせて製品を生産するために、全部の店にPOS（Point of sales system）日本語では販売時点の管理というデータを公有するようにしている。つまり、多く売れる物はより多く製造し、その反対に売れないものは残りの製造を取りやめることによって、在庫量を引き下げるという方法である。

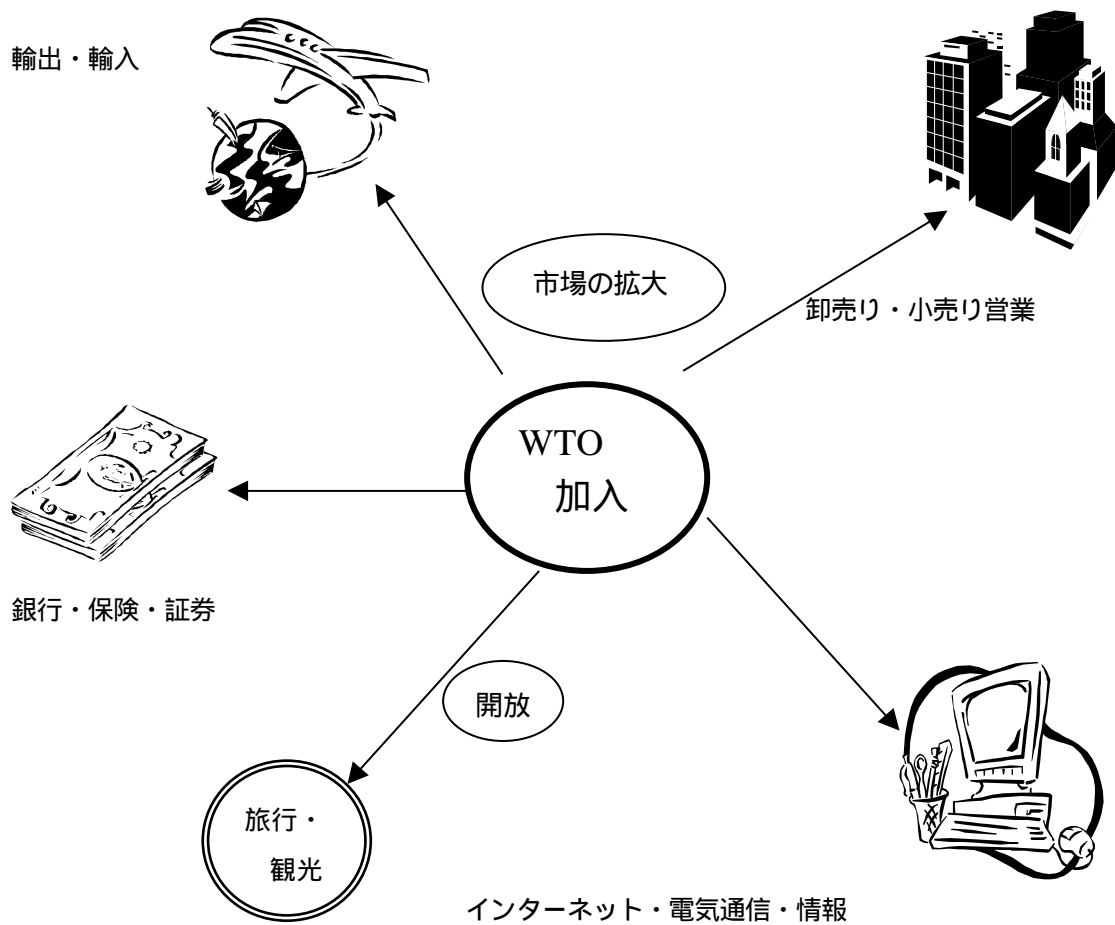
図1にも示されるよう、ユニクロの生産の拠点は中国にある。そのほとんどは上海から車で約二時間の浙江省と平湖市の辺りに位置している。現地の縫製工場と生産委託との契約を結び、作られた商品の全てをユニクロが買っている。一般的に中国工場に生産を委託すると、価格と品質を同時に期待しないほうがいいと思われているが、ユニクロの場合は良いものを安く買い入れることができた。よく知られているように、中国の人件費は日本の20分の1にもならないので、それだけで人件費は削減できる。その上、ユニクロは同時にアイテムを大量発注するため規模の経済性を生かして生産費用まで削減することができた。

1999年に委託の主体を40社60工場と減らした結果、一つの主体当たりの発注量は増え、コストはより低くなった。さらに重要なのは、ユニクロが商品の全てを仕入れたあと製造の主体に返品しないことである。このことによって、工場側は返品のリスクを懸念して利益にリスクの分を考える必要がないので、低い値段で製品を供給することができる。その一方で、品質の面では日本から縫製と染色の専門家を送り直接に指導しており、素材もユニクロ主導で調達されている。このようなシステムで、費用は減らしながら品質の高い水準を守れたことがユニクロの成功を支えている理由だと考えられる。

### 3. 日中関係について

遂に中国がWTO（世界貿易機関）に加入することが実現されて、ユニクロは今年の秋に中国へ進出することを発表した。図2に示されるように、この事がビジネスの世界に及ぼす影響は様々であり、企業の経営の中枢を管掌するトップ・マネージメントにだけではなく、中国ビジネスの業務と無関係な一般社員にも直接的、間接的に影響を与える非常に大きな事件である。そして中国のWTO加入は日本と中国の関係にも肯定的な影響を与えると予想されており、先進国の中で最初に中国のWTO加入を指示した国は日本政府だった。なぜならば、中国の関税率が下がると日本の中国への輸出費用が実質的に下がり、中国人は日本からの輸入品を普通に買うことができるようになるからだと考えられる。

図2 中国市場の変化



このような効果は他の国にも及ぼされるだろうが、特に貿易量が多い日本には有利に作用する可能性が高い。これまで、中国にある日本系の企業は中国内で発売したくても、中国国内市場における卸売りと小売りの営業権を得ることが難しかった。しかし中国のWTOの加入をきっかけとして、海外資本企業は三年以内に卸売りと小売りの権利を獲得し、本格的に中国に輸出やビジネスをするのが前よりたやすくなるのではないかと思う。

しかし現地の事情に暗い中国よりも、自国で生産や発売を続けたほうが確かに安全である。現地の事情を知らないというリスクがある中国にユニクロが進出するには理由があるからだと予想される。中国市場の長所と短所を比較してみよう。

長所

- ・原料の調達

中国でしか調達できない原料を使用する場合や、原料を中国から調達するほうが有利な場合には、中国に工場を建てるのが当然なこととなる。今までは中国が

ら原料を輸入してから、日本の工場で生産や加工して海外へ輸出してきた。しかし敢えて輸送の費用を払いながら原料を日本に持ち込むよりも、中国で直接生産するほうが確実に有利である。この場合、原料調達の便宜のために中国へ行くのであり、原料の安全な供給が確保されなければならない。万一中国国内でも原料が確保できなかつたら、対策を立ててから進出すべきである。そうでなければ、敢えて中国へ進出する意味はないと考えられる。

- ・ 中国市場

人口 13 億を保有している中国。この数字だけ見ても大きな魅力があると考えられる。一人当たりの国民所得が低いといっても、ユニクロの製品を購入する可能性の高い消費者の割合が他のどの国よりも高いため、中国は 21 世紀の企業マーケティングの戦略から抜いて置いてはいけない市場である。

## 短所

- ・ 国内市場

中国政府が外国企業に対して国内市場を開放していないという問題である。完全な開放は中国が WTO に加入してから 3 年、もしくは 5 年ほど過ぎてからではないかと予想される（美野久志、中央大学流通経済大学（経済学部）講師）中国への進出を希望する外国企業が中国国内販売を投資の目的として会社を設立すると、中国政府は様々な制限を加える可能性があると考えられる。

- ・ 外貨調達

外貨調達はその企業の責任である。しかし、中国国内販売に掛かりきりになると収入は中国元だけになってしまい、外貨を持たない状態になってしまう。そうなれば、原料や生産設備などを輸入することができず、混乱をまねくだろう。

## 4. まとめ

数年前から日本の経済は悪化しており、より悪化していきだろつと言われていたが、私は全世界で最も競争力がある国だと認識されていた頃の日本と、WTO に加入することが実現された中国との関係について興味を持ち、ユニクロを例にして研究を行いながらこの二つを考察した。

日本の企業が最も良い方法だと思っているのは、けた外れな質の良さと安いコストを同時に満たす事であり、ユニクロも商品の計画から販売までの全ての担当は日本自社でしながら、製造は人件費が安い中国で行われている事が分かった。それ以外にもユニクロは負担を最小限度に留めるため、お客がたやすく着られるようにシンプルで飽きないデザイン

や、流行の無い製品を作るなどの様々な対策を講じているから、成功することができたのだと思う。

中国に進出することには、WTOへの加入という非常に大きな利点がある。中国がWTOに加入すると輸出入がより安く簡単にできると期待されている。そして、中国市場の長所と短所を比較してみた結果、中国へ進出するには外貨や中国政府が国内市場を完全に開放していないという問題などがあるが、原料調達の便のよさや世界最大の人口という魅力的な理由があり、ユニクロが中国に進出して成功する可能性は高いのではないだろうか。

2002年の今年、ユニクロは二つの大きな戦略を広げる予定だ。秋には、イギリスに続いて中国にも店を出し、1月には、食品の鮮度や安全性に気を使う現代人を対象にしたと予想される食品事業への進出である。(株)永田農業研究所と提携し、野菜・果物・米、卵の生産・牛乳、販売を始め、ユニクロは今年(2002年)の11月頃にまず通信販売からスタートし、都心でのアンテナショップ開設も予定している。

最後に、ユニクロの成長を持続させるための課題は色々あるが、一つの例として中国の工場を挙げて考えてみたい。それはユニクロ商品の委託生産業者の人件費が高くなる場合における対処である。遠からず、中国の人件費が高くなると予想されている。なぜならば、中国内陸地方やカンボジアなどのほうが費用の競争力を持つからである。ユニクロの場合、品質の向上のために社員を派遣したり、中国の委託業者に深く関与したりしているせいで簡単には委託企業を変えることが難しいが、他の企業に負けずに生き残るためには迅速、且つ冷静に委託業者を変更することが必要である。そうすれば、少しずつではあるが世界的な成功に近づいていくのではないかと考えられる。

#### 参考文献

近江七実、2002、「ユニクロ急成長の秘密」、株式会社あつぷる出版社

神奈川大学経済貿易研究所 & 杭州大学東亜経済研究所、1998、「日中の経済構造と発展経路」、株式会社白桃書房

王保林、2001、「中国における市場分断」、日本経済評論者

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭、1998、「現代日本経済」、株式会社有斐閣

<http://www.uniqlo.co.jp>

# 西洋から見るサムライ

リミノヴィチ・アンナ

## ．はじめに

侍と言えば、日本を象徴するもののひとつである。日本について考える外国人は、すぐ芸者や折紙、空手などを思い浮かべるかもしれないが、必ずみんなもう一つ自分で作り上げた「侍」のイメージを持っている。そのイメージは様々なものに影響されて、形作られたものである。このレポートでは、侍文化の全体像を考察するつもりはなく、私は自分の抱いている「侍」イメージについて書いてみようと思う。

まず、忠臣蔵に表された理想的な侍に、映画の発達と西洋の映画作品がどんな影響を与えたかについて考えたい。そして、全世界に新しい侍のイメージを示した黒澤明監督の時代劇について書きたいと思う。次に、宮本武蔵を例にして、日本における代表的なヒーローのイメージと脚色によるイメージの違いについて述べ、最後に、現代の日本におけるサムライスピリットについて考えたいと思う。

さて、時代劇に登場する侍たちから始めよう。

## ．時代劇におけるサムライの典型

初めて西洋の映像作品が紹介されたのは、1897年、大阪でだった。その直後から日本における映画製作の歴史が始まる。初期の日本映画は演劇のようなもので、だいたい芸者の踊りや、ダンスのような決闘（立ち回り）のシーンなどを見せた。

しかし、日本の映画は西洋映画に影響され、それは、特に、時代劇において顕著である。新劇と歌舞伎を組み合わせた新国劇は時代劇を生みだし、西洋の映画技術、例えばカメラの激しい移動などを取り入れた。初めて作られた新しい時代劇の映画といえば、野村監督の『国定忠次：雁の群』であった。しかし、これより、牧野省三の『浮世絵師・紫頭巾』のほうが人気があった。牧野映画は、とにかく芝居を面白くし、その作品に必要ではなくてもアクションを入れるという決まりがあった。新しい“チャンバラ時代劇”のスタイルを発明した。

牧野監督の『浮世絵師・紫頭巾』は剣客でありながら、個性的というより、反逆的な新しいヒーローを生み出した。『紫頭巾』は謎の剣士報竜太郎が主人公で、このヒーローはものすごく魅力的であった。紫頭巾に頭を包んだ正義の剣士、報竜太郎はその剣、妖刀村正をふるって、悪者たちを切り倒した。たくましく、率直なアメリカンヒーローを手本に作られた『紫頭巾』のニヒルな微笑をたたえた勇敢な主人公は、以後生まれる同じよう

な性格のヒーローたちの鋳型となった。

新しい時代劇はたいへんな人気を得た。刀による戦いだけではなく、権力に立ち向かう姿勢が何より気に入られたようだ。大地震後の日本では、多くの社会通念が変わり始めた。英雄と見られたのは権力者に立ち向かうサムライと、昔からいるアウトローであった。この時期、時代劇映画の制作が急激に増えた。以前からある歌舞伎や講談、立川文庫の話などが時代劇の企画に上った。そして、リアルな立ち回り、話の展開のスピード化をうながした。またこの時代に輸入されたアメリカの西部劇や活劇の表現テクニック、ヨーロッパ映画の心理表現が、若い作家たちに吸収された。

寿々喜多呂九平は新しいヒーローとして、「浪人」を導入した。寿々喜多の作品における主人公は、誰に忠義を誓うわけでもなく、自由で、さびしい、疎外されたヒーローであった。忠臣蔵の浪人はみな忠実であり、主君に従ったが、1920年代の浪人たちは誰にも従わない。彼らは、主従関係を信じないだけでなく、実はなにも信じておらず、ニヒリストと呼ばれた。浪人たちの世界には、道徳がなく、自分以外信用できる者はいない。1928年に、牧野雅弘監督の『浪人街』に出てくる浪人は、身分という社会制度を無視し、自分の信念に忠実である。1930年の『斬人斬馬剣』では、浪人の主人公は、主君に反抗する村人たちの指導者になる。新しい時代劇が人気を得たのはそのような使命があるからではなく、主人公が剣の達人であっても、ひとりの人間であるからだった。例えば、1936年の伊丹万作監督の『赤西蠣太』の主人公は、恋人より飼っている猫が好きで、目上の人間を気にしない、胃痛に苦しむ侍であった。

時代劇を撮った監督たちの中でもっとも知られていたのは、伊藤大輔（『忠次旅日記』『新版大岡政談』『丹下左膳』『斬人斬馬剣』）と、牧野省三（『国定忠次』）そして山中貞雄（『伊丹下左膳余話・百万両の壺』『左門捕物帖三十番手柄』『人情紙風船』）の3人であった。この3人は、新しいニヒルな浪人のヒーローを登場させ、西洋の影響を受けて、時代劇を革新した。彼らはその作品において、世界は残酷であることを写實的に描こうとした

1937年から、すべての映画製作は、軍国政府に管理された。傾向映画は禁止された。その後すぐ、「忠義」を否定的に扱うような映画も、写實的な時代劇も禁止になった。1939年からは空論映画（国策映画）しか求められなかった。第二次世界大戦後、アメリカに支配された政府は日本の映画製作を再開させた。しかし、アメリカは禁止する映画のテーマを表にした。そのテーマの中には、もちろん、「忠義」もあった。そして、サムライに代わり、民衆のために戦うヤクザが英雄になった。

その時、伊藤や山中などの映画に影響を受けた黒澤明が現れた。黒澤の時代劇は1930年代のものと同様、写實的で、人道主義を柱としていた。よく知られている時代劇としては『七人の侍』『羅生門』などがある。黒澤が最初に撮った時代劇は『虎の尾を踏む男達』である。その話では、日本のもっとも有名な武将の一人、源義経が、兄頼の追っ手から逃



れようとしている。彼に従うのは数名の家臣と弁慶である。安宅にある関所を通らなければならぬが、安宅の関は頼朝の手に抑えられている。仮装している彼らが、関を通れそうになった瞬間、義経が見破られる。すると、弁慶は彼を打ちすえて、その場をごまかそうとする。家臣が主を打つことは封建時代である当時の日本人の精神構造においてありえないものだった。それで、義経であると知りながら心を打たれた関守の富樫は、関を通してやるだけでなく、番卒達に酒を持たせてあとを追わせる。この話で、いちばん興味深いのは富樫という人物である。富樫は本当にそれが義経と知っていたのだろうか？そして、もし知っていたなら、なぜ彼を逃してやったのか？黒澤の作品に登場するいろいろな人物の中でいちばん謎に満ちている。

『羅生門』も普通の時代劇ではない。時代劇の舞台は普通江戸時代だが、『虎の尾を踏む男達』と『羅生門』の舞台は中世である。シナリオは芥川龍之介の『羅生門』と『藪の中』に基づいている。羅生門の下で雨宿りしている下人が最近起こった殺人と強姦について話している。シナリオの中心にはひとつの事件があり、それを四つの視点から語るのである。三つは、三角関係になった夫、妻、山賊のそれぞれが語り、あと一つはただ一人の証人、杣売が語る。『羅生門』は尋問で証言された通りに描かれている。そして、それらの話に含まれる事実と細部が1930年代の映画と同様虚無的に語られる。

1957年の『蜘蛛巣城』のストーリーはシェイクスピアの『マクベス』である。武将鷲津武時は友人の武将三木義明とともに森の中で道に迷って、妖婆に出会う。妖婆は、鷲津は国守となるが、そのあとを継ぐのは三木の子孫だと語る。二人は国守の都築国春から武勇を賞せられたが、それにもかかわらず鷲津は都築を暗殺し、ついで三木も殺す。そして、もう一回妖婆のところに行った鷲津は森が動かない限り自分は安泰だと告げられる。まもなく三木の遺児が鷲津の蜘蛛巣城を攻めるのだが、森の木を使って軍をカモフラージュしたため、攻め寄せるとき森が動くように見えた。鷲津の妻は狂ってしまい、鷲津は敵の矢に射られて死ぬ。黒澤は登場人物の性格を単純化した。黒澤のマクベスは大人物ではない。最初から先入観にとらえられ、強迫観念に悩まされ、自分が殺されるのを恐れたため主君を殺すことをためらう。彼は、小心者であり、欲望に引き裂かれているだけなので、彼の死にはだれも心を動かさない。

1961年の『用心棒』と1962年の『椿三十郎』は喜劇映画、あるいは、チャンバラのパロディーである。この二つの映画では、主人公は三十郎という浪人である。彼は、どこからかやって来て、どこかへ去って行くよそ者である。町の住人を救う義理などない。だから、主人公の行為は不条理な無償の行為である。三十郎は悪い奴はとにかく悪く、彼らの所行は罰せられることなく放置されるべきではないと思っている。三十郎は貧乏で、世をすねた、道徳などなんとも思わない人物である。彼は剣客の当然の使命として、試練を受け入れる。墮落しきった町を掃除すること以外には何ひとつ手

を出していないし、彼の行動の背後には、道徳的で偉大な目的など暗示されない。黒澤作品の中でもっとも知られているのは『七人の侍』である。ある村が毎年、野武士に襲撃され、農民たちは作物だけではなく、時に命まで奪われる。何か対策をほどこそうと、老人たちは、手を貸してくれる侍をさがすために、村を出る。そして、勘兵衛たちに出会って、村に連れ戻る。侍たちは村に入るとすぐ、戦の準備にかかる。そして、村人たちと一緒に戦って、野武士をやっつける。この映画は3つの人間集団（100人以上の農民と、40人の野武士、そして7人の侍）を描いている。黒澤は7人の侍をそれぞれ個性ある人間として扱い、ひとつの冒険にどのように参加したかを描いている。彼らはふつうの侍ではなく、またどこにでもいる人間でもないからである。7人の侍の中で農民たちの目的を自分自身の大義にするのが勘兵衛である。彼の意志は社会的な広がりを持っている。彼は村を救おうとする。真の指導者らしく、勘兵衛は自分の部下のことをよく知っている。そして、彼らをひとりひとり唯一の人間として扱い、その個性を尊重している。もう一人は、剣客の久蔵である。彼は口数が少なく、内向的だが、自分の刀と同じように、必要な時だけ自分を役立てようとする。彼は、一見おだやかであるが、人を殺しても何も感じない人間である。勝四郎は7人の侍の中でいちばん若い。ほかの侍たちにはまだ子どもと思われ、子ども扱いされているが、実際は、大人になる直前だ。もっともおもしろい侍は菊千代である。彼は武士として生まれてはいない。農民の出身であるが、侍として死ぬ。みんながいちばんかわいそうに思うのは、彼の死である。それは彼があまりに気が小さく、あまりに人間的だったからである。勘兵衛はまるで超人のようだが、菊千代はまったく人間的である。彼にとって、勇気は生来のものではなく、獲得されるものである。



黒沢明監督『七人の侍』

映画の終わりで、農民たちは救われ、村はむかし通り平和になるが、三人の侍しか生き残っていない。しかし、彼らの仕事は終わった。例えそれがつまらないことであっても、もう関係ない。ここにあるのはヒロイズムである。このように、黒澤の禁欲的なヒロイズムは、厳密な意味で絶望的であり、しかも寛容を必要とする。『七人の侍』には、リベラルな精神があふれており、伊丹や山中と考え方は全く同じである。この作品では、うぬぼれる人間が多く見られるが、悪はヒーローの人間性に負ける。黒澤の時代劇は、大戦前の映画から影響をたくさん受けたが、ヒーローの特徴は西洋映画（特にアメリカの西部劇）から来ている。

その後、時代劇はだんだんテレビに乗っ取られていった。そして映画では、時代劇に代わって、股旅者の延長上にあるヤクザを主人公とする映画が大ヒットした。しかし、ヤクザの作法はサムライの礼法の真似であり、忠臣蔵の精神を受け継いでいる。その新しいアクション映画は初期のチャンバラに似ており、たいていどの映画にも一回は決闘があった。

現在、時代劇はあまり人気がない。いくつかのテレビドラマ以外ほとんど目にしなくなった。テレビが時々、古い時代劇をリメイクしているが、若い人たちはもう時代劇に興味を覚えない。私が、時代劇が好きだというと、友だちのみんなに笑われてしまう。

### ・さまざまな武蔵

ヨーロッパの騎士と全く同じで、侍は剣術の修業をする。宮本武蔵は世界中どこでも知られている修業者である。武蔵の生涯は映画やマンガなどに描かれているが、彼が書いた『五輪書』はアメリカの実業家たちの間では聖書のように大切に思われている。武蔵について知られていることは少なく、彼の生涯はいろいろに脚色されている。どのように脚色されていてもすべてに共通しているのは、武蔵が一人前の男になるためにいろいろな困難を克服することである。

ほかの日本のヒーローと同じように、武蔵は若い頃両親を失った。義経の場合と同じで、少年のころ、彼には剣術の才能のあることが明らかになった。そして、1600年の関ヶ原の戦いで、徳川家康と戦う石田三成の軍隊に入った。その後、日本中を旅して回り、剣術修業をした。剣を持たない時襲われないように、武蔵は、普通の日本人とは違い、お風呂には入らなかったの、出会う好意を持たれるはずはなかった。だから、一度も結婚していない。実は、武蔵は女嫌



神田たけ志『宮本武蔵』

いのように、彼の純潔を汚そうとする女はいつも撃退した。どのように脚色されても繰り返し出てくるシーンであるが、武蔵は、裸で滝の水に打たれ、美女によって刺激された性欲を押し殺す。

武蔵はニヒリストであった。一般社会とは縁を切り、自分ひとりで生きていこうとする。彼は、もっぱら旅をしながら、真の道をさがしていた。彼の人生は、最後まで人間形成であった。うわべだけ上品な一般社会の規律を破ってでも、剣の道を悟るという唯一の目的を遂げようとした。武蔵のような修業者は精神主義のお手本になった。ヒーローの修業を描く物語や映画などは「根性物」と呼ばれている。精神主義と根性には、抑圧的な目的と情熱、際限のない辛苦がよく含まれている。そして、修業は禅の鍛錬になる。武蔵に殺された修業者の中に佐々木小次郎という侍がいる。神田たけ志の『宮本武蔵』というマンガでは、小次郎は典型的な美少年であり、武蔵に決闘を申し込むだけでなく、誘惑までしようとする。小次郎は意志が弱く、精神主義が理解できないようだ。彼は、もっとも大切なのは剣だと考えるが、小次郎の師匠は修業しなければならないのは剣でなく、気だという。武蔵と小次郎の決闘は武蔵の勝に終わる。そして、武蔵は剣の道を悟ることになる。もっとも修練を積んだ剣客は、必要なときしか剣を使わない。

一般的な武蔵のイメージは、ハムレットのように苦しい人生を送り、内省にふける人間である。武蔵の『五輪書』には『独行道』という部分があり、これを読むと、「身に楽しみをたくまず」、「れんぼのみちおもひよることなし」、そして「私宅において望む心なし」と書いてある。こう書いた武蔵は、われわれ一般人に、自身のさびしさと苦しみを見せている。どんなに強い人間であっても、武蔵は幸せになるのが怖かったようだ。というより、幸せを失うことが怖かったのだろう。

ひじょうにおもしろいのは二つの武蔵のイメージの違いである。神田のマンガでは、武蔵は偉大で、ほかの人と比べることなどできないぐらい優れた人物である。しかし、神田の武蔵は、あまりにも冷静で、人間と言うより、何も感じないロボットのような人間である。自分の剣の腕前を誇る一方で、自分のことを一人の侍であると謙虚にいう。井上の『バガボンド』で描かれる武蔵は、猛獣のように残酷で、乱暴な人間であるが、一方で、自分のそのような感情を見据える人間的な人物である。



井上雄彦『バガボンド』

来年、NHK 放送が吉川英治の『宮本武蔵』をドラマ化することになっている。その武

蔵がどんな人物になるか楽しみにしている。

・おわりに（侍の遺産）

最後に、侍たちが現代の日本に何を残しているか考えたい。

侍という言葉は平安時代に初めて現れた。平安時代より前、侍は「もののふ」、または、武士と呼ばれていた。最近の研究によると、彼らは、地主でも武器を持つ農場主でもなかった。侍は最初からプロの軍人であった。勇気、礼儀、面目、誠実という徳がものすごく大切にされた。

現代に侍はもういないが、サムライスピリットはまだ残っている。例えば、精神主義である。精神主義とは気が身体に勝つと考えることである。根性という言葉もある。精神主義とは少し違い、例えばスポーツマンはどんな障害があろうと最後まで頑張って、根性を見せる。彼にとって大事なのは勝利ではなく、苦勞して頑張ることである。柔道であろうと剣道であろうと違いはない。大切なのは目的を達成するまでの過程と気の形成である。毎年8月に、大阪の野球場で、高校野球選手権が行われる。16歳17歳の硬派のヒーローたちは、根性物に学んだのか、真剣な顔をして、優勝を戦う。これは侍の子孫ではないだろうか。

#### 参考文献

Kure Mitsuo (2002) “Samurai – An Illustrated History” TUTTLE

Ian Buruma (1985) “Behind the Mask” MERIDIAN

Donald Richie (1990) “Japanese Cinema – An Introduction” Oxford University Press

Inazo Nitobe (2000) “Bushido” TUTTLE

宮本武蔵(2001) 『五輪書』講談社

吉川英治(2002) 『宮本武蔵』講談社

神田たけ志 『宮本武蔵』講談社

井上雄彦 (2002) 『バガボンド』講談社

ドナルド・リチー (1979) 『黒澤明の映画』キネマ旬報社

編集 (1986) 『講座日本映画』岩波書店

# 日本とEU との投資関係

ソコモフ、ディミトリ・アンドレヴィッチ

## I. 日本とEU との投資関係の全体像

### 1. 世界の直接投資動向

現在、国際化が発達しているなかで、国際投資の役割が大切になっている。国際間の資金移動の一環を成す「直接投資」は投資関係の一つとして国際化の大事な仕組みである。直接投資とは、親会社により子会社が支配される現象をさす(6, p.194)。『経済学大辞典』によれば、直接投資は“国際資本移動として直接投資は、ある国の企業が外国の企業の経営権を実質的に取得し、経営権を行使しつつ、一定の企業目的のために生産・販売その他の企業活動を行うことである。外国の企業の経営権の取得とは、子会社または支店の開設、既存外国企業の買収という形をとり、通常は株式の相当数の取得によって達成される。直接投資が間接投資と本質的に異なる点は、親会社または親会社の支配下にある企業から生産技術、マーケティング技術等の、いわゆる経営資源の供給を受けて、一定の企業活動を行なう”ということである(8, p.923)。

世界の直接投資は97年以降急激に拡大している。“対内直接投資で見ると97年の4,730億ドルから毎年2,000億ドル規模で増加して、国連貿易開発会議(UNCTAD)によると、2000年は約1兆1,000億ドルに達した。”(2, はしがき)世界ではEUが地域として国際化を進めるとともに、世界の直接投資を牽引している。世界直接投資額の増加をリードしているのは、国・地域ではEUと米国で、対外投資ではEUが世界の約7割(1999年)を占め、特に英国は11年ぶりに世界最大の投資国となって、対内投資では米国が世界の約3割(同)を占めている。英米諸国の直接投資増加はクロスボーダ→M&Aによるものである。

(2, はしがき)

世界の直接投資を牽引しているのは「国境を越えた企業合併・買収(クロスボーダM&A mergers&acquisitions)」であり、1件当たりの金額の大きなクロスボーダ→M&A案件の増加が世界の直接投資を押し上げる構図が続いている。1998年から2001年にかけてこの傾向が一層加速したと言える。

しかし、ごく最近になって新たな展開が見られる。世界の直接投資は2000年度に1兆1,499億ドル(対外投資)に達したが、前年度比増加率が4.3%と1999年の41.3%から大幅に低下し、2001年度に入ると減少に転じた。2001年の上位5カ国・地域の対外投資合計額は48%の大幅な減少となっており、2001年の世界の直接投資は92年以來の減少

となることが確実である。

減少が顕著なのは、国・地域では欧米諸国、形態ではクロスボーダーM&Aである。2000年に過去最高を記録したクロスボーダーM&Aは、株価低迷による株式交換によるM&Aの急減から2001年上期には金額、件数とも大幅に減少している。(β, はしがき)

この厳しい状況のなかで、単一通貨ユーロを導入し、世界で一番早いテンポで統合を行っているEUと長年景気低迷が続いていても、経済が世界2位である日本との関係がとても大事だと考えられる。

## 2. 世界の直接投資におけるEUの役割

### 2.1 世界直接投資の先進国のシェア

直接投資の大幅拡大においては欧米を中心とする先進国の役割が非常に大きい。“UNCTADによれば、99年の世界の直接投資(国際収支ベース、フロー、ネット)は、対外投資ベースが前年度比16.4%増の7,999億ドル、対内投資ベースで同27.3%増の8,655億ドルに伸長した。99年に先進国は対外投資で前年比12.3%増の7,318億ドル、対内投資で同32.4%増の6,364億ドルであり、それぞれ世界の直接投資総額の91.5%、73.5%と大宗を示している。”(2, p.1)

### 2.2 英国が11年ぶりの世界最大の投資国に

EU諸国の中で英国の積極的な投資活動が特に目立っている。1999年における対外直接投資の上位国をみると、英国が大幅に増加して2,021億ドルとなり、88年以来11年ぶりに首位となった。1カ国の投資額が2,000億ドルを超えたのは初めてのことである。91年より8年連続で首位を保った米国は1,509億ドルで第2位となり、フランスが1,068億ドルと、上位3カ国の投資額はそれぞれ1,000億ドルを超えた。第4位にはドイツ(988億ドル)、第5位はオランダ(435億ドル)と、順位の入替えがあるものの、上位5カ国は98年に引き続き前述の5カ国が占めた。”(2, p.1)この上位5カ国のなかで4カ国がEUのメンバーであり、EUの直接投資における著しい役割を表している。

“他方、投資受け入れ額から国別の順位をみると、トップは7年連続で米国であり2,825億ドルの投資を受け入れた。英国が848億ドルと続き、3位には594億ドルでスウェーデンが前年の10位から躍進した。次いでドイツ(522億ドル)、フランス(388億ドル)がそれぞれ前年の9位、6位から順位を上げ、対外直接投資の上位5カ国のうち4カ国が対内直接投資でも上位を占める結果となった。”(2, p.2-3)また、同じように投資受け入れ国上位5カ国の内、4カ国がEUに入っているということはEUの投資先としての魅力を示している。

### 2.3 EUの積極的な直接投資姿勢の理由

“ギリシャを除くEU14カ国による域内諸国に対する投資額対内投資ベース、再投資収益は含まないをみると、99年は2,379億ドルと前年比約2倍に増加した。この結果、EUの域内投資と米国向け投資で2,281億ドル99年の世界の直接投資の約5割を占め、EUの積極的な投資姿勢が鮮明となった。”(2, p.5)

EUの直接投資でのシェアが拡大したいくつかの理由が挙げられる。

- (1) 先ず、EUはもともと経済の強い、先進国の同盟でありEUのドイツ、英国、フランス、そしてイタリアがG8サミットに参加していることもEUの経済的姿勢をより強調しているとみられる。
- (2) 今年からユーロが導入されることは、EUの統合が順調に進んでいることを示す。今後も、東欧の国々が加盟国になるための活動を行っていて、それをきっかけにして、EUの経済はさらに発展できると考えられる。

ジェット投資白書によると、EUの直接投資姿勢の理由は次のようである。

90年代にEU各国で財政再建や労働市場改革など構造改革が行われたこと、そして、その過程で規制緩和、民営化が実施されたこと、93年からの市場統合により市場拡大と競争激化に直面したEU地域企業が高コスト構造の是正と高収益部門の強化などリストラを実施し、競争力強化に努めたこと、競争力強化のため国内に限らずEU域内外で積極的にM&Aを実施したことがあげられる。また、通貨統合でユーロ建ての大型債券の発行が可能となり、資金調達能力が拡大したこともM&Aを促進した。

### 2.4 クロスボーダーM&A

EU諸国はクロスボーダーM&Aの増加に積極的な役割を果たしている。1999年度のM&Aは電機通信、電力など公益事業、金融・保険、石油、製造業では化学、製薬、輸送機器などの産業で増加している。これらの産業では、規制緩和や民営化、開発コストの巨額化、市場の成熟化などによりグローバルな競争が激化している。こうした競争の激化により英米を中心とするグローバルな企業のM&Aによる事業再編が加速している。

世界の直接投資の大勢を5,6の先進国が占めると言える。クロスボーダーM&Aの主なプレーヤーになっているのは欧米諸国の大企業である。“99年におけるクロスボーダーM&Aの金額上位案件をみると、最大案件が英ボーダフォン社による米エアタッチ社買収(603億ドル)、次いで英国のゼネカ社によるスウェーデンのアストラ社買収46億ドル、独マンネスマン社による英オレンジ社買収326億ドルである。”(2, p.5)

クロスボーダーM&A上位2案件が英国企業による買収であることが、英国を99年の世界最大の対外投資国に導き、スウェーデンが直接投資受け入れ額第位に浮上したのも前述のM&A案件から分かる。

欧米企業によるクロスボーダーM&Aが世界の直接投資に大きい影響を与えるなか、日



本は89年、90年に対外直接投資において首位となった後、徐々に順位を下げ99年は9位に後退した。日本経済の低迷を背景に企業の体力が低下したことに加え、クロスボーダーM&Aの波に乗り遅れたことが理由としてあげられよう。

## II. 日本とEU全体との投資関係

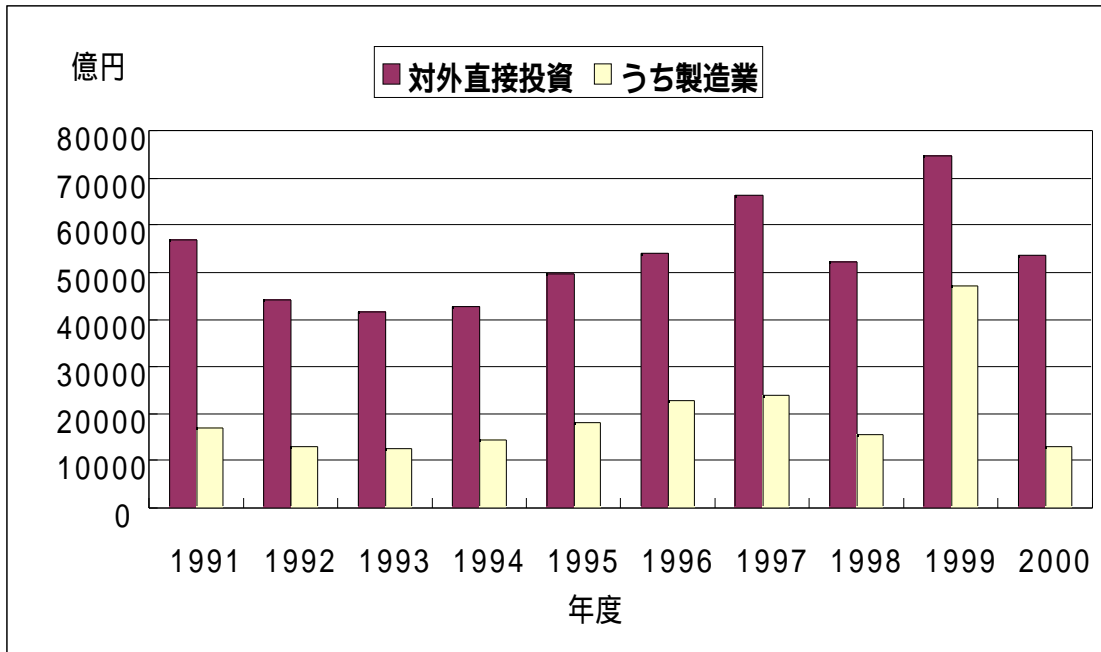
### 1. 日本のEU向け直接投資

#### 1.1 2000年度の海外直接投資動向

2000年度の日本の対EU投資は大型M&Aにより大幅増となっている。

1989年から2000年まで日本の対外直接投資は少し不安定な傾向を見せている(変わりやすい)。日本の大蔵省によると、2000年度の日本の対外直接投資額は、対前年度比27.8%減の5兆3,690億円となり、1999年度(7兆4,390億円)から急減し、1998年度(5兆2,169億円)の水準とほぼ同じレベルとなった。内訳を見ると、製造業向け投資では対前年度比72.6%減の1兆2,911億円となった。一方、非製造業向け投資では対前年度比50.2%増の4兆502億円となった。(5, p.24)

表1 日本の対外直接投資の推移



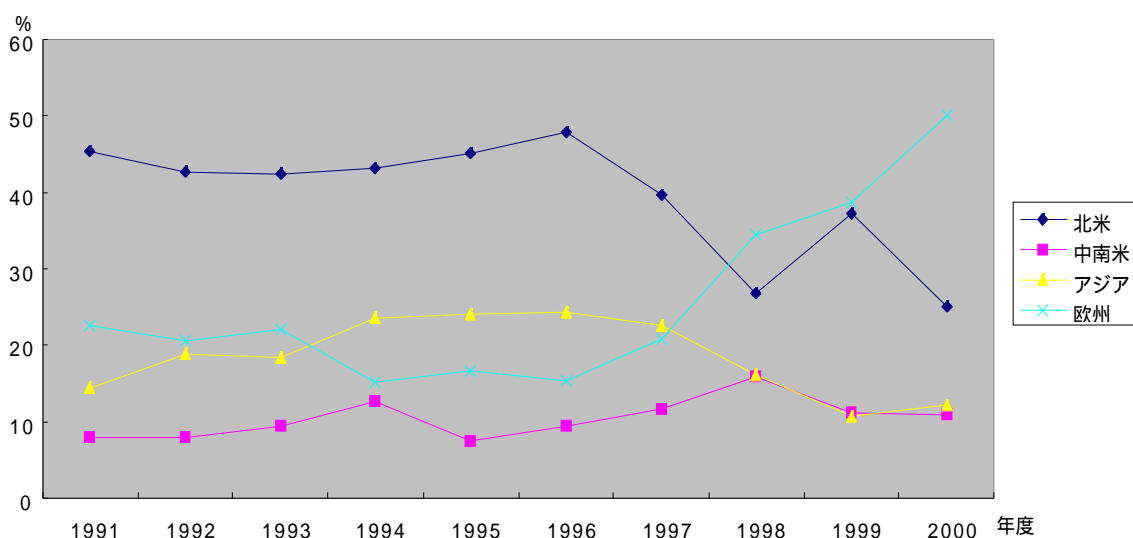
出所：開発金融研究所報 2001年7月のデータより筆者作製 p.24

#### 1.2 日本企業の対EU投資の推移

1997年以来、日本の対外直接投資のなかで、EU向け投資のシェアが大きくなってきている。2000年度の対外直接投資(全業種)は、地域別シェアを見ると、1998年度から3

年連続して欧州向けが1位となり、2000年度では全体のほぼ半分を占めた。(1998年度：34.4%，1999年度：38.7%，2000年度：50.2%)。北米向け投資が対前年度比50.9%減の1兆3,562億円となった。この減少は、1999年度に見られた大型買収案件の一巡を主な背景としている。欧州向け投資は対前年度比6.3%減の2兆6,974億円となったが、98年度に北米向けを上回った欧州向け投資は2000年度も首位を保った。(5, p.26) EU向け投資金額は微減したとはいえるけど、引き続き最大の投資先地域となった。

表2 日本の対外直接投資地域別構成比の推移(全業種)



出所：開発金融研究所報 2001年7月，p.25

2000年度のEU向け投資は、製造業向け投資では、対前年度比9.5%減の3,580億円と大幅減少となった。一方、非製造業向け投資では同106.9%増の2兆3,379億円と大幅増加となった。業種別内訳では、食糧向けが対前年度比99.9%減の15億円と急減をしている。これは、1999年度に行われた大手たばこメーカーによる大型買収案件の影響である。その要因として、日本たばこ産業(JT)が、オランダの子会社経由で、米国RJR ナビスコから米国以外のたばこ事業部門(RJ レイノルズ・インターナショナル, RJRI)を買収した大型案件があげられる。(2, p.26) 製造業向け投資においては増加が見られた業種は化学向け(対前年度比68.9%増の446億円)で、大手繊維メーカー事業拡大に伴う買収が影響しているものと見られる。

非製造業向け投資の大幅増加は、運輸(通信向けが含まれる)部門の投資の寄与によるものと見られる。(対前年度比4,233.9%増の1兆7,071億円)同部門向け投資額1兆7,071億円のうち、1兆7,020億円が英国向け投資となっているが、これもドコモによる米国・

オランダ等の通信会社への出資に伴う資金が、英国の金融子会社経由で送金されたためと考えられる。

製造業向け投資での国別動向を見ると、2000年度の最大投資先は英国で、欧州向け投資全体の30.8%（1999年度46.1%）を占めた。第2の投資先はスウェーデンで25.7%（同0.0%）のシェアを占め、次いでオランダ8.1%（同44.0%）、フランス6.9%（同4.4%）、ドイツ6.3%（同1.1%）の順となっている。スウェーデン向け投資が増加したのは、産業用車両メーカー（豊田自動織機製作所）による現地屋内型運搬機器メーカー（BTインダストリーズ）の買収案件によるものである。（5, p.29）

2000年度の日本の対外投資のなかで、英国向け投資が際立っている。2000年度の主要投資先上位10カ国を見ると、全業種では、前年まで首位であった米国を抜いて第1位になったのは英国である。次いで第2位米国、オランダ、ケイマン諸島、パナマ、中国などの順になっている。

製造業だけでは、第1位米国、第2位英国、第3位スウェーデンなどの順になっている。（5, p.30）

表3 日本の主要投資先上位10ヶ国の推移（全業種）

（単位：億円，%）

年度	1998			1999			2000		
	順位	国名	金額	構成比	国名	金額	構成比	国名	金額
1	米国	13,207	25.3	米国	24,868	33.4	英国	21,155	39.4
2	英国	12,522	24	英国	13,070	17.6	米国	13,413	25
3	ケイマン諸島	5,755	11	オランダ	11,556	15.5	オランダ	3,047	5.7
4	オランダ	2,711	5.2	カナダ	2,760	3.7	ケイマン諸島	3,024	5.6
5	オーストラリア	1,776	3.4	ケイマン諸島	2,501	3.4	パナマ	1,437	2.7
6	タイ	1,755	3.4	メキシコ	1,655	2.2	中国	1,099	2
7	インドネシア	1,378	2.6	パナマ	1,576	2.1	香港	1,034	1.9
8	中国	1,363	2.6	フランス	1,257	1.7	タイ	1,029	1.9
9	パナマ	1,332	2.6	英領バージン諸島	1,161	1.6	スウェーデン	923	1.7
10	ニュージーランド	1,003	1.9	大韓民国	1,093	1.5	大韓民国	899	1.7

出所：開発金融研究所報 2001年7月，p.29

2001 年度に入っても日本企業の EU 向け投資が積極的に続いている。トヨタのフランス工場生産開始，ホンダの英国生産拠点の増強，三菱自動車のボルボとの合併によるオランダ生産子会社 NedCar の完全子会社化，富士重工業のオランダでの物流拠点設立など，日本の自動車メーカーによる長期的な欧州戦略に基づいた事業展開が注目を集めている。(3, p.250)

### 1.3 EU 向け投資増加の理由

日本企業による対外直接投資において先進国向け投資が大部分を占めることは初めてのことはない。1980 年代後半，米国を初めとして，先進国向け投資は83%だった。その時，米国向け投資は全世界向け投資のほぼ半分(1990 年：45.9%)，欧州向けは大体 20-25%(1990 年：25.1%)のウエートを占めていたが，1997 年以降状況は逆になってきていると言える。2000 年度も，対欧州は50.2%，北米向けは25.3%と，先進国向けの直接投資のシェアは 1980 年代後半と余り変わらず 75%以上である。しかしながら，日本のアジア向け直接投資 1990 年から 2000 年まで 25%以下であり 2000 年度はわずか 12.2%となった。世界経済において力強い拡大を期待できるのは中国・ASEAN を中心とするアジアのみであるが，アジア経済危機の影響を背景に，不安定感が残っていることがあげられる。(7, p.75)

日本経済の景気低迷を背景として，EU 向け直接投資の増加の理由には以下のような要因が考えられる。

- (1) EU では，近年統合が積極的に行われていることを背景に EU 経済の回復に伴う，市場の拡大への期待があって，新たな EU 市場を確保しておきたい日本企業の投資が生じたことが考えられる。
- (2) 毎年日本輸出入銀行によって行われている日本製造業企業のアンケート調査によると，1999 年度調査では，EU 向け投資の目的は，「進出先マーケットの維持・拡大」，「現地マーケットに合わせた商品開発」，「組立メーカーへの部品供給」といった，内需対応型に理由が求められている。(6, p.18) ただし，それは製造業向け投資の理由で，2000 年度の製造業向け投資は全業種向け投資の 13%しか過ぎなかった。

### 1.4 1999 年度も EU 向け投資が最大

1999 年度の日本の対外直接投資を国・地域別にみると EU 向け投資は 1998 年度比 81.9% 増の 251 億 9,100 万ドルと 3 年連続 2 ケタの伸びを示し，EU が地域としては最大の投資先であった。EU のなかでも，英国向けは堅調な伸びをみせ，前年度に続き EU 最大の投資先国となった。次いで，オランダが急増，その結果，両国で EU 全体の約 9 割を占める

こととなり、EU 向け全体を牽引した。他方、件数ベースでみると、両国とも、そのほとんどが金融・保険業向けであった。この理由は、英国の場合、日本の銀行および証券会社を中心に、投資・証券事務の強化を目的に、経営体力の低下した金融会社等に向けた資本増強が相次いだことによる。一方、オランダが伸長したのは、同国の税制上の特典を活用すべく持株会社や金融会社の設立などの動きが活発だったためと考えられる。(χ, p.50)

#### 1.5 日本企業による対EU クロスボーダーM&A

99 年から 2000 年にかけて日本企業による対外M&A は大幅に拡大している。“日本企業が「選択と集中」により事業の見直しを積極的に進めていることがあり、海外企業との提携によってスケールメリットの追求とコア事業の強化を目指す動きが目立つ。とりわけ、国際競争の激化に伴い、過剰設備を抱える製造業や、将来的に大幅な需要増加が見込めない業種は、経営の効率化が厳しく求められているため、海外事業を再構築する動きが活発化している。一方、非製造業では、企業の国際化の進展や技術革新によって、とくにIT 関連分野など高い成長が期待できる業種を中心に世界規模のサービスを提供する必要性が高まっていることから、日本企業の中でも中核事業に特化して海外への拡大路線を追求する動きがみられる。”(2, p.53)

日本の対外M&A は、EU 企業を対象としてのM&A 案件が目立っている。

産業車両業界では、2000 年 2 月に小松リフトが世界最大手のドイツのリンツ98 年：生産台数世界シェア 16%)と資本提携を決め、6 月に国内最大手の豊田自動織機製作所は、屋内型運搬機器で世界最大手のスウェーデン企業BT インダストリーズを買収、さらに7 月に同社はトヨタ自動車の産業車両事業の製販統合を発表した。これにより、豊田自動織機製作所は、屋内型運搬機器を含む産業車両のフルライン体制が整ううえ、英米での事業拡大・強化が可能となった。この結果、同社のシェアは第3 位の 13%から 21%となり、業界トップに躍り出た。

化学業界では、90 年代に入り、欧米化学メーカーは、得意事業を一段と強化したり、業態を転換することを目的に、製品ごとの事業買収や統合の動きが活発化している。こうしたなか、99 年度は日本企業でも、近年の需要低迷や過剰設備などの影響による国内市場の低迷を背景に、成長性が見込める海外事業の進展を図るケースがみられた。塩化ビニール樹脂分野では 99 年 12 月に信越化学工業が英シェル・ケミカルズとオランダのアクゾ・ノーベルの合併会社であるオランダのロピンを買収した。これにより、同社はこれまで手薄だった欧州の拠点を確保したことで、日米欧の合計55 万トンの設備を保有する世界最大の塩ビメーカーとなった。

一方、印刷インキにおいては、99 年 12 月に世界最大手大日本インキ化学工業が世界第2 位のシェアを占めるフランスのトタルフィナのインキ部門であるコートを買収した。欧州でのコア事業拡大を狙う大日本インキ化学工業と、経営資源を石油化学事業に特化した

イトタルフィナの思惑が一致，これによって，同社は世界最大メーカーの位置をより強固にした。(2, p.53-56)

#### 1.6 日本企業の対EU直接投資の中・長期展望

中期展望(2005年までの今後3年間)では，大きなM&Aが行われている欧米諸国が日本の海外直接投資の大部分を占める傾向が続くだろう。2001年のアメリカで起こったテロ事件に伴った米国経済の短い不況が終わって，2002年米国経済が回復に入っている状況で，今後の日本企業の投資はまた市場の大きい米国に向かうとみられる。それに，チェコ，ハンガリー等の東欧諸国がEUの新たな加盟国になるための交渉を行っている等，EUの活発な地域統合を背景に，安定したEU経済も伸長し，引き続き，日本企業のEU諸国への関心はなかなか弱まらないだろう。日本輸出入銀行の1999年度アンケート調査において，中期的にみて有望な先国として，英国が第7位となった。EU各国向け回答数を集計すると，85社(回答した278社の30.6%)が有望と回答しており，EUへの関心は引き続き高いといえる。(4, p.20)今後3年間，日本の直接投資は，アジアよりEUを中心に先進国に向かうと考えられる。

長期的展望(今後10年程度)は，将来に膨大な需要の成立が期待できる中国やインド等のまだ確保されていない市場への投資家の関心が向かうだろう。最近減少してきた日本の対アジア直接投資は回復し，アジアが占めるウエートが大きくなるとみられる。輸銀の1999年度調査では，長期的な有望投資先国として，第1位は中国，第3位はインド等の順位となっている。その上位10カ国のなかで7国がアジアの国であるということも日本製造業企業のアジアへの関心を強調している。そして，長期的有望投資先国として上位カ国には入らなかったものの，中欧(ポーランド，ハンガリー，チェコ，スロバキア)を有望視する企業数も増加している。業種別にみると，電気・電子組立・部品，自動車部品などの分野で関心が高い(4, p.25)従って，製造業をはじめとして，日本企業のEUへの関心は長期的にも強いといえる。最近顕著であったEU向け直接投資は，2000年度には全地域向けの50%のシェアを占めて，首位にあったが，今後はシェアが低下し，首位の座から転落するかもしれないが，活発な投資は継続するとみられる。

## 2. EUの日本向け直接投資

### 2.1 対日直接投資動向

グローバル化の中で欧米企業の視線は徐々に日本市場にも向けられており，対日直接投資は増加傾向をたどっている。日本は投資受け入れ国の順位でも1998年の29位から1999年は14位へと順位を上げた。

2000年度の対日直接投資(ドルベース)は，前年度比31.5%増の7,600ドルとなり，3年連続で過去最高を更新した。1998，99年度はそれぞれ89.4%，105.5%と倍増してきた

が、これは M&A の件数急増、案件の高額化などによるところが大きかった。2000 年度は対日投資の伸びにやや落ち着きがみられたものの、件数で見ると 137 件増の 1,842 件となっており、堅調な増加を示した。(3, p.61)

対内・対外直接投資比率は、1997 年度の 1 対 9.8 から、98 年度には 1 対 3.9 まで大幅に縮小した。さらに、99 年度は 1 対 3.1 に縮小、2000 年度においては 1 対 1.7 と一層格差が縮まっている。

2000 年度の対日投資を業種別に見ると、非製造業向け投資が前年度比 66.0% 増の 211 億 2,200 万ドルと大幅に増加し、対日投資全体を牽引した。他方、製造業向け投資が 18.5% 減の 71 億 5,500 万ドルと減少した結果、非製造業のシェアは 74.7% と上昇した。(1998 年度は 76.7%、1999 年度は 59.2%) (3, p.62) 1999 年度は、ルノーによる日産自動車への資本参加が製造業向け投資の増加を反映している。

2001 年度上期の対日投資は、前年同期比 28.8% 減の 125 億 6,800 万ドルと減少したが、2000 年度上半期に J フォン関連の大型案件が計上されたこと、そして 2000 年度下期の 108 億 3,800 万ドルを大きく上回っていることなど考慮すると堅調であったといえる。業種別にみると、通信、金融・保険分野への投資が全体の総割を占めている。

## 2.2 対日直接投資の EU が占めるウエートの推移

最近ヨーロッパにおいては日本の投資先としての魅力が高まっている。EU 諸国からの日本への投資額は増加している。1999 年度の対日投資額を国・地域別にみると、91 年度以降最大の投資国であった米国が大幅に縮小した一方、EU からの投資が急増、投資額全体を押し上げた。99 年度の国・地域別順位をみると、米国に代わりフランスが初めてトップとなり、オランダ、ケイマン諸島、米国が続いた。

EU からの対日投資は、前年度比 505.8% 増の 123 億 2,700 万ドルと過去最高を記録、投資総額に占めるシェアも 98 年度の 19.4% から 99 年度は 57.3% に急上昇した。この大幅な拡大は、フランスとオランダからの投資が急増したため、両国の投資額だけで EU 全体の 88.5% を占めた(表 4)。(2, p.63-65)

## 2.3 米国からの投資は EU 諸国経由

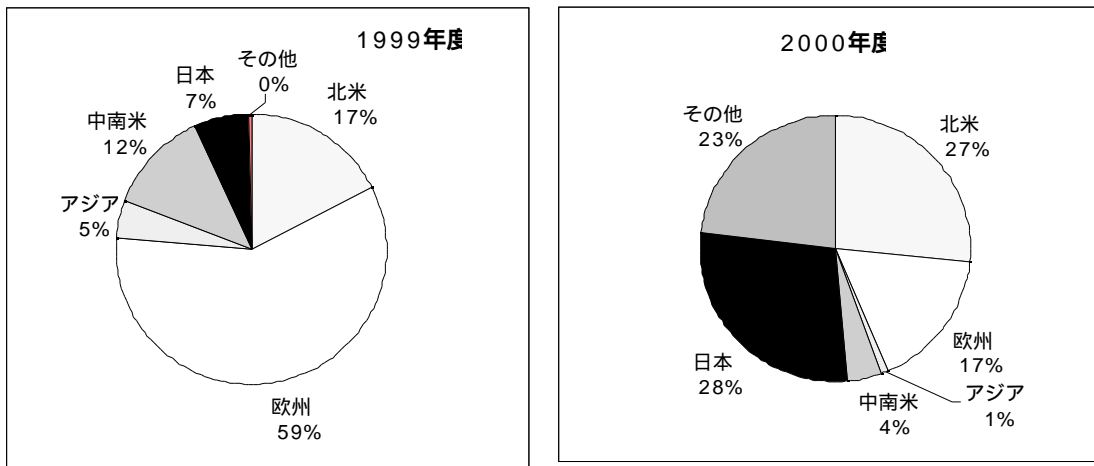
対照的に、米国からの対日投資は、98 年度に過去最高を記録したが、99 年度には、製造業、非製造業投資がともに大幅な減少に転じたために、前年度比 64.7% 減の 22 億 3,000 万ドルに落ち込んだ。しかしながら、米国からの投資はオランダや英国の会社経由で行われることがあるので、米国の対日本投資そのものが急減したわけではない。99 年度の主要な対日投資案件をみると、米国企業自体が対日投資を手控えたとは必ずしもいえない。とりわけ、99 年度の大蔵省統計に計上されたオランダおよびカナダからの投資の中には、米国企業によるメガディールが含まれている。こうした案件を米国からの直接投資とみな

せば、99年度の米国による対日投資額は、前年度並みの高水準に達するものとみられ、米国企業は日本市場への参入には依然として積極的である。”（2，p.65）

2000年度の対日直接投資はちょうどこの傾向を表している。2000年度の対日投資を国・地域別にみると、金融・保険分野への投資が集中した米国が最大の投資国となった。1999年度の最大投資国の地位をフランスに明け渡した米国からの投資は、2000年度には前年度比4.1倍の91億4,100万ドルと急増し、98年度に記録した過去最高をはるかに上回った（表4）。

一方、2000年度にはフランスに変わって、ドイツからの投資が際立っていた。米国に次いで金額が大きかったのは、輸送機向け大型M&A、医薬への進出の増加などにより6.1倍となったドイツであり、以下スイス、ケイマン諸島となっている。（3，p.63）

表4 1999，2000年度の地域別対日直接投資実績



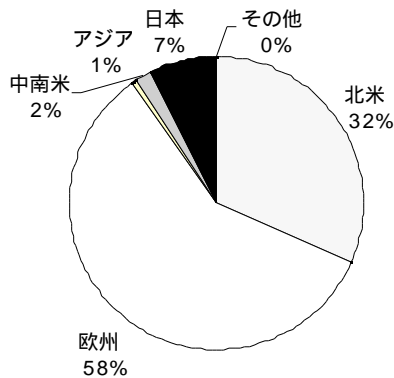
出所：ジェトロ投資白書 2002年版のデータより筆者作製 p.64

2000年度のEUの対日投資は43億ドルと前年度ほぼ3分の1に減少したが、これは1999年度の投資金額が仏ルノー・日産の大型案件により押し上げられていたためである。しかし、2000年度もEUの日本への投資は積極的であった。2000年度はダイムラー・クライスラーによる三菱自動車への資本参加があったため、ドイツが最大の投資国となった。

2001年度上期の対日投資では、EUからの投資が58.3%のウエートを占めている。国別では、金融・保険分野への投資元として米国が目立ったほか、ボーダフォンがオランダの持ち株会社を経由して投資しているため同国からの対日投資増加が統計に反映された。（表5）（3，p.65）



表5 2001年度上期の地域別対日直接投資実績



出所：ジェトロ投資白書 2002年版のデータより筆者作製 p.64

#### 2.4 既に日本に進出している外資企業による投資

表4で、「日本」として計上された投資は既に日本に進出している外資企業による投資のことである。この投資は、2000年度に前年度比7.1倍の103億2,600万ドルと急増し、過去最高であった99年度を大きく上回った。このうち、通信業向けの投資が61.5%を占め、63億5,700万ドルに上っている。これは、Jフォンの地域各社を統括する持ち株会社設立の案件が統計に反映されたものである。この案件ではJフォン持ち株会社が外資企業として扱われており、地域各社の株式取得分が計上された。Jフォン持ち株会社設立に対する外資企業の直接出資比率は英ブリティッシュ・テレコムが20%、英ボーダフォンが26%で合計46%であった。ただし、残りの54%を出資する日本テレコムにはこの2社がそれぞれ20%と25%出資していたことから、合算すると50%を超え、持ち株会社は「外資企業」となる。(3, p.65)

#### 2.5 日本対内直接投資の増加の理由

EUの日本向け直接投資の急速な拡大の背景には次のよう事情があるものと考えられる。

- (1) まず指摘したいのは、1970 - 1980年代、日本経済が非常に早いテンポで発達していた時代、外国企業にとっては、日本経済は“閉ざされていた”といえる。1989年にいわゆるバブル経済が崩壊し、日本経済が弱くなった。その時以来、日本経済は外国企業にとって、少しずつ開かれるようになったとみられる。1990年代後半に入って、日本経済の景気低迷が長く続いたために、この傾向がますます強まった。1995年以降、外国企業が日本市場に徐々に進出してきた。最近、日本の有名な会社でも、外国企業が出資して、外国人に経営されることもある (e.g.日産自動車、三菱自動車)
- (2) 電気通信、自動車、化学等の分野で業界再編が行われているなかEUのグロー

バルな企業が日本市場のシェアを確保したいため EU の対日本直接投資は M&A により増加しているとみられている。

- (3) EU の日本向け直接投資にはオランダからの投資が際立っている。それは、税制面での優位性が指摘できるオランダで、米国を初め、先進国企業の子会社が多く、日本等向け投資案件がその子会社経由で行われているからと考えられる。

## 2.6 中期的展望

対内直接投資の GDP 比をみると、世界平均が 17.3%、先進国平均では 14.5%であるところが、日本は 1.0%にとどまっている(1999 年)。日本の経済規模の大きさを考慮すると、対内直接投資の受け入れ余地は大きい。(3, p.62) それで、中期展望(2005 年までの今後 3 年間)では、日本対内直接投資は欧米諸国によって行う M&A を中心に拡大しよう。地域別シェアでは、EU 企業が積極的な投資活動を続けるとみられる。一方、米国経済の回復を背景に、米国の対日本投資は拡大して、1999 年度 EU が保っていた首位を 2000 年度には米国が奪回した。もっとも、1999 年度においても、米国の対日本投資が EU 経由で行われたことがあり、地域別シェアの動向が重要な意味を持つとは必ずしも言えない。2000 年度、2001 年度とも対日直接投資を牽引していたのは欧米諸国による非製造業分野である。欧米企業が日本向け投資の大部分を占める傾向は近い将来も変わらないと考えられる。

## III. 日本と EU 諸国との投資関係

### 1. 日本とイギリスとの投資関係

2000 年度の英国直接投資は、対内・対外とも増加し、過去最高を記録した。これは、ボーダフォンによる独マンネスマン買収に代表される大型 M&A が成立したことなどに起因する。しかし、2001 年に入り、対内・対外直接投資とも前年同期比で減少した。世界的な経済の減速傾向を受け、大型 M&A 取引は低調になるとみられる。

日本の大蔵省統計によると、2000 年度の日本の対英直接投資は 281 件(前年度比 64.3% 増)、2 兆 1,155 億円(前年度比 61.9%)であった。これは同年度の対欧州投資全体の 78.4%、世界全体に対する投資でも 39.4%のウエートを占め最大だった。NTT ドコモによる米 AT&T ワイヤレスや蘭 KPN モバイルへの大型出資が英国の現地法人経由で行なわれたためである。その結果、運輸・通信業が 1 兆 7,020 億円と全体の 80.5%を占め、これに次ぐ金融・保険業の 2,116 億円(10.0%)を大きく引き離れた。

2000 年から 2001 年にかけて、日本企業の対英投資では IT 関連と自動車関連が目立つ。IT 関連では、NTT ドコモの現地法人設立のほか、数社が R&D 施設を設立した動きなどがある。自動車産業では、日産の新型マイクラ生産決定、ホンダの新工場完成がある。そのほかの業種では、ユニクロが海外初店舗として 2001 年 9 月にロンドンおよび近郊で 4

店舗をオープン、2003年未までに50店舗の出店を計画している。また、ソニーがグループの資金・為替業務のより一層の集約・合理化などを目指し、ロンドンに新たに金融子会社を設立したことも注目された。

大蔵省統計によると2000年度の英国からの対日直接投資件数は06件(前年度比63.1%増)と増加したが、金額は559億円(37.8%減)に減少した。業種別にみると、金融・保険業が329億円で全体の58.9%を占めた。

2000年から2001年にかけて、英国企業の対日投資の主要な実例としては、ボーダフォンが日本テレコムをJR東海、JR西日本から取得、その後、AT&T、BTからも順次取得した後、経営権を握るため2001年9~10月に公開買い付けを実行したことがあげられる(いずれの取引もオランダ持ち株会社経由)。他方、ドラッグストアのブーツは、当初予定していたような事業展開ができず2001年7月に日本から撤退することを発表した。(3, p.252-258)

## 2. 日本とドイツとの投資関係

2000年のドイツの対内直接投資は大型買収案件により、前年度比3.4倍増となり、東西統一後初めて、対外直接投資額を上回った。対外直接投資は前年度比で1.6%減少した。

連邦経済省発表の統計によると、2000年の日本の対独直接投資額は前年比18.9%増の7億8,600万ユーロとなった。日本は1999年に引き続き、アジア諸国で最大の投資国だが、全体に占める割合は0.4%にすぎない。他方、ドイツの対日直接投資額は前年比6.0倍の31億6,800万ユーロに急増、対外直接投資総額に占める割合は1999年の0.5%から6.7%に拡大した。これは、ダイムラークライスラーの三菱自動車工業への資本参加が投資総額を大きく押し上げたためである。

2000年度の日独間の直接投資を業種別にみると、主として自動車・同部品、化学・医薬品の分野で動きがみられた。自動車・同部品の分野では、ダイムラークライスラーが2000年10月、三菱自動車工業に対し資本参加、2,024億円で34%の株式を取得した。ダイムラーは三菱自工に取締役を3人、最高執行責任者(COO)としてエクロート氏を派遣した。このほかの案件としては、シーメンスが2000年3月、ケーヒンとエアバックSRS電子制御ユニットの開発・製造・販売の合弁会社を宮城県に設立、コンティネンタル・テーベスが同年12月、日清紡と自動車用ブレーキ部品の開発・製造・販売の合弁会社を東京に設立した。

一方、日本企業の対独投資案件では、シートベルト、エアバックのタカタが2000年6月、独ステアリングメーカーのペトリの過半数株式を取得、サンデンが2000年10月、カーエアコンとコンプレッサーの技術開発向けテクニカルセンターをバートナウハイム市に設立した。

最近も日本企業のドイツ向け投資活動も活発である。2002年夏三菱商事はドイツテレ

コムと提携，新タイプの無線LAN（構内情報網）システムを事業化するつもりで7月にドイツに合弁会社「モテラン・ネットワークス」を設立し，来年からまず欧州市場で販売を開始すると発表した。資本金は300万ユーロで，三菱商事が90%，ドイツテレコム全額出資子会社のデテコン（ボン）が10%を出資した。（9，1.07.2002. p.13）

### 3. 日本とフランスとの投資関係

1999年の日仏間投資は非常に活発な動きを見せた。日本からの対仏投資額（国際収支ベース，ネット，フロー）については2億5,500万ユーロで前年比2.5倍を記録した。業種別では自動車関連が目立つ。具体的な動きとしては99年5月に曙ブレーキ工場が北部のノール・パ・ド・カレ地方の工場で摩擦材生産を開始した。同1月に光洋精工（自動車部品）はプジョーのステアリング製造子会社に資本参加することを発表した。トヨタ自動車は2001年の稼働を目指し，北部のヴァランシエンヌに工場を建設中だが，豊田通商が同ヴァランシエンヌに自動車部品の物流拠点を開設するなど関連企業の動きも活発化してきている。その他の業種では，中外製薬が医薬品の販促活動強化のため月よりパリに支店を開設している。また，6月に電通が広告会社154に資本参加を発表，7月にはソフトバンクがビベンディと合弁でインターネット関連企業の設立を発表している。2000年に入ってから，NTN（ベアリング製造）がルノーと合弁で等速ジョイント生産工場（ルマン近郊）を稼働，ローム（半導体メーカー）が北西部のレンヌに携帯端末用SIの開発設計拠点を設立している。（2，p.267）

2000年度のフランス対内直接投資額はEUからの投資を軸に479億ユーロ（前年比8.5%増）と過去最大となった。対外直接投資額は，英国，カナダ，米国が全体の約割を占め，1,872億ユーロ（65%増）と2年連続の大幅な伸びとなった。

2000年度の日本からの対仏投資額は600万ユーロで前年比97.8%の大幅減となった。1999年にはトヨタ自動車の仏北部のヴァランシエンヌ進出など大型プロジェクトがあった反動ともいえるが，1998年比でも92.5%減少となっており，投資額の落ち込みは顕著といえる。

資生堂は2002年6月26日，自社ブランドの化粧品を総合的に販売する目的を持って，仏・パリに直営店を出店すると発表した。このパリ直営店を欧州での基盤店と位置付け，顧客情報や現地の流行を収集する役割を持たせる。資生堂は海外ではアジアに五つの直営店を開設しているが，欧州での出店は初めてである。（9，27.06.2002. p.12）

他方，1999年の対日投資額は5月のルノーによる日産への資本参加を反映し52億1,900万ユーロで前年比84.2倍という記録的な伸びを示した。対英投資には及ばないものの，対蘭投資額を凌駕しており，フランスの対外投資における日本の地位が高まったといえる。その年の実例を見よう。5月にカルフル（流通）が日本での出店を発表，2000年12月に千葉幕張に1号店をオープンした。11月に流通大手のピノ・プランタン・ルードット

(PPR) グループの持株会社アルテミスがあおば生命を買収、2000年3月にアクサ(生命保険)が日本団体生命保険を買収しているが、株価低迷により日本企業の買収に割安感がでていることを証明したかたちとなった。また、ボッシュオートモーティブシステム(旧ゼクセル)とエアコン関連の合併会社を設立することも発表しており、自動車関連企業の進出が活発化してきている。このほか、ピベンディ(水処理・通信・電力・メディア)が水処理事業への参入を発表したり、アコー(ホテル)がホテルを買収するなどの動きもみられた。(2, p.267)

2000年度の対日投資額は24億6,200万ユーロで前年比52.5%減となった。ただし、99年はルノーの日産への資本参加、カルフルの千葉県幕張進出等で前年比84.2倍という例外的な年であり、96年が1億4,800万ユーロ、97年4,800万ユーロ、98年700万ユーロであったことと比較すると、2000年の仏企業の対日投資は堅調に推移したといえる。具体例をみると、2000年2月に自動車外装材会社のソメール・アリベールがイノアックと共同子会社の設立を発表した。また、4月に自動車部品のヴァレオがユニシア・ジェックスと合併企業設立に関し最終的に合意した。2001年に入り、1月には、鉄鋼業界で世界3位である仏ユジノールが新日鉄との提携を発表した。ユジノールはアジアでのポジションを強化、新日鉄は仏バランシェンヌのトヨタ工場を中心に欧州内供給網の整備を目標にしている。7月には自動車用シート製造会社のウォルシアがニッパツ(日本発条株式会社)と合併で九州に自動車シート生産工場の設立を発表するなど、自動車部品関連の進出が目立つ。(3, p.272)

#### 4. 日本とオランダの投資関係

##### 4.1 2000年度、2001年度上期の日本とオランダの投資関係

オランダの2000年度の対内直接投資は、米国の情報通信企業の投資が活発で前年比49.5%増と強調であった。対外直接投資も米国の金融・保険および食品関連企業を買収する動きが活発で前年比44.7%増と伸長した。日本の対蘭直接投資は金額ベースでは前年を大きく下回ったが、それでもオランダは日本の対外投資先としては9年に続き3番目に位置する。製造業による買収、設備拡張や欧州の統括拠点の設置などが多くみられた。

2000年の対オランダ投資の大半は、7月NTTドコモが通信大手のオランダKPNの子会社、KPNモバイルの株式15%を取得するために欧州進出の戦略として約40億ユーロを投じた資本参加によるとみられる。NTTドコモはモバイルインターネット技術やそのノウハウをKPNモバイルに提供し、iモードと同様のサービスをオランダ、ドイツなど欧州で開始する予定である。そのほか、10月には川崎重工が二輪車、ジェットスキーなどを中心とした製品の欧州での販売を統括する子会社をアムステルダム近郊に設立、サービスや在庫管理機能を集約する。

2001年に入っても引き続き、日本の対オランダ投資は活発である。5月、富士重工業は

物流コストの低減を図るため、ドイツ、フランスなど4港で荷揚げされていたスバル車をロッテルダム1港に集約し、欧州での物流拠点をロッテルダムに設立した。6月、日本マランツはフィリップスからマランツブランドの全世界の使用権と欧州の販社を買収し、自社ブランドの経営戦略に専念する。

一方、日本の財務省統計によると2000年のオランダの対日直接投資は97件と依然活発ではあるものの、投資額では前年比88.9%減の4億6,800万ドルと大幅に減少した。1999年のオランダの対日投資はフランスの対日投資額に次ぎ2番目に多かったが、2000年はオランダの持株会社などを経由した欧米企業の大型投資がみられなかったためと考えられる。

しかし、2001年度上期はオランダからの投資は活発に行なわれていて、投資額は3,299万ドルで、投資全体の45.0%のウエートを占めた。(3, p.286-287)

#### 4.2 オランダ経由の大型投資の活発化とその背景

最近オランダ経由で行なわれている大型案件が目立ってきているので、その背景を分析し、理由を探りたいと思う。

1999年度の日本の対外直接投資増加要因は、欧州向けが拡大したためで、なかでもオランダへの投資が急増したことが大きく寄与した。これはJTによるRJRIの大型買収を反映したものであるが、JTはオランダに新設した持株会社を通じて同社を買収しており、このような動きが大蔵省の統計上に表れた。このほか、大日本インキ化学工業は、同社の欧米インキ事業を担当する子会社の米サン・ケミカルのオランダの持株会社を通じて、フランスのトタルフィナのインキ部門であるコーツを買収した。その際、オランダ持株会社であるサン・ケミカル・グループB.V.がトタルフィナと買収契約を締結したが、買収資金は大日本インキ化学工業が英領バージン諸島に新たに設立した子会社経由で持株会社に貸し付けられた。このようなオランダ等の第三国経由で投資を行う実例は99年度の対内直接投資でもみられる。とりわけ、オランダに設立した持株会社を通じて日本企業に資本参加する外国企業が相次いでいる。(2, p.58)

表6 日本の第三国経由の主要な直接投資案件

	第三国 (大蔵省統計)	完了年月	金額 (100万ドル)	日本企業	外国企業	母国名	業種	分類 (大蔵省統計)
対外投資	オランダ	1999.5	7,832	日本たばこ産業	RJレイノルズ・インターナショナル	米国	たばこ	食糧
	英国バージン諸島	1999.12	550	サン・ケミカル (日本インキ化学工業)	コーツ(トタルフィナインキ部門)	フランス	印刷インキ	

対内投資	オランダ	1999.9	1,834	日本テレコム	AT&T, BT	米国, 英国	通信	通信業
	オランダ	2000.3	1,150	日本長期信用銀行(現新生銀行)	ニュー・LTCB パートナース(NLP)	米国等	金融	金融・保険業
	オランダ	1999.4	698	第百生命マニユウライフ・センチュリー生命保険	マニユウライフ	カナダ	金融	金融・保険業
	オランダ	2000.4	1,052	富士通重工業	ゼネラル・モーターズ・オブ・カナダ・リミテッド	米国	自動車	機械

出所： ジェトロ投資白書 2001年版 p.59

#### 4.3 税制度で優位性を持つオランダ

99年度のオランダとの直接投資案件をみると、対外および対内直接投資とも増加しており、なかでも対外直接投資案件数の急増が際立っている。前述したとおり、これは、既存子会社への投資などに加えて、持株会社や金融会社の設立などの動きが活発化したためと考えられる。オランダは、英国やフランスに比べ法人税が35%と高く、配当金に対しては標準税率として25%の源泉税が課せられる。それにもかかわらず、オランダは金融会社および持株会社設立地として各国の企業に利用されている。この要因として、税制面での優位性が指摘できる。特に、持株会社設立にあたっては、持株会社には受取配当金に対する法人税が免除される資本参加免税制度例えば、オランダの日本現地法人が同社の他国の現地法人の株を所有している場合、そこから得たキャピタルゲインには課税されない)のほか、投資企業が税務当局と事前に税務裁定を結ぶことができるアドバンス・タックス・ルーリング(Advance Tax Ruling, 以下ATR)、広範囲にわたる租税条約ネットワーク(多くの国と有利な租税条約を締結しているため、支払利息、配当金にかかわる源泉税が非課税もしくは軽減されるといった制度を企業は利用できる。なかでも、ATRは、企業にとっては納税額が事前に判明するため、新規投資やオランダを経由して他国に投資するような複雑なスキームを用いる案件について税効果税負担率等を試算しやすいメリットがある。こうした制度自体とその運用の透明度の高さを背景に、数多くの企業はオランダに持株会社を設立していると考えられる。なお、オランダ税務当局によれば、ATRが制度として定着し、かつ有効に機能している背景として、あらゆる事項について協議・相談する文化をもつ点を指摘している。

一方、金融会社の場合でも、オランダではATRを結ぶことや租税条約網の活用が可能であり、さらに支払利息に対する源泉税がないなど、特別の恩典を享受できる。こうした

メリットを背景に、資本市場やグループ企業から資金調達し、他のグループ企業に貸し付けるグループ・ファイナンスを行う金融会社が数多く設立されている。オランダ中央銀行によれば、90年代以降金融会社の登録件数は増勢にあり、総件数は99年末時点で9,000社を超えている。なかでも、日本企業の出資による金融会社登録件数は上昇傾向にあり、総件数に占めるシェアは90年の4%から99年には7%と上昇した。(2, p.59-60)

#### IV. 結論

日本とEUとの経済関係は1997年から2002年にかけての5年間、非常に活発であった。日本のEU向け投資は投資全体に占める割合が1997年度の20.8%から2000年度に50.2%まで達した。

しかし、去年アメリカで起こったテロ事件の影響によって、米国経済をはじめ、世界経済の展望が不安定になった。そのテロ事件は世界の直接投資にも大きな影響を与えた。今後の世界の直接投資は、米国経済をはじめ世界経済の動向によって、変わると考えられる。

ごく最近になって新たな展開が見られる。米国経済は2001年9月に起こったテロ事件をきっかけとした停滞からなかなか回復しない状態が続いているなか、EUの単一通貨ユーロ対米ドルの交換比率はほとんど1対1になった。しかも、今年末にはユーロが米ドルより高くなると予想されている。これは、今後のEU経済に対する国際的な期待の高さを反映していると言えよう。EU経済が伸長するなか、EUと日本の経済関係も更に深まると考えられる。日本とEUの直接投資も積極的に続くだろう。

そして、最近電気通信業をはじめ世界企業では早いテンポで再編が行なわれているなかで、日本企業も前向きな姿勢を見せている。今後も特に製薬業界や自動車業界に再編が続くと見られる。日本企業もその再編に積極的に参加するに違いない。

#### 資料

1. 日本貿易振興会 『ジェトロ投資白書2000年版』
2. 日本貿易振興会 『ジェトロ投資白書2001年版』
3. 日本貿易振興会 『ジェトロ投資白書2002年版』
4. 『開発金融研究所報』2001年1月 第一号
5. 『開発金融研究所報』2001年7月 第七号
6. 西川 潤「日本企業の多国籍化」(『早稲田政治経済論雑誌』 第三〇〇号)
7. 『EC, NAFTA, 東アジアと外国直接投資：発展途上国への影響』大野幸一・岡本由美子
8. 『経済学大辞典I』(東洋経済新報社, 1990年)
9. 日本経済新聞



# 日本の若者の意識の変容

チムチェンコ・ガリーナ

## 0. はじめに

21世紀が始まりました。20世紀にあったいくつかの世界戦争、ITの急激な飛躍、インターネットの普及のおかげで国々の国境が見えなくなりかけて、国々の文化もかわり始めました。しかし、それぞれの国々で昔からの文化、人々の考え方の特徴のためにそれぞれの国では独自の文化が起こります。しかし、社会の年齢グループの中で若者たちは一番早くその変化を感じて、受け入れます。自分の家族に対して責任のない若い人にとって全ての生活は明るくて、色々な可能性がいっぱいある将来なので若者はいつも新しいものに興味があります。

昔、日本は閉鎖的で、集団主義の保守的な強い国でしたが現在、世界ではどこでもグローバル化が行われています。勿論、日本は経済的にも強い国だから、日本でもその過程が行われています。グローバル化は国々の経済と文化と人間の意識に影響を与えています。日本の場合はその過程が普通と違って、特別に行われています。グローバル化以外に日本は50年間にわたって米国文化の影響をうけつづけてきました。その影響で日本の若者の意識が変化してきました。

## 1. 安部公房

世界の心理学者の見解によると、社会において人々は皆役割を演じます。〔両親の役割や、兄弟とか姉妹の役割などです〕。換言すれば、皆はマスクがあります。ヨーロッパ人には日本人はマスクをしているように見えます。その一番著しい例は日本人々がほとんど一度も“いいえ”を言わないこと。いくら“いいえ”を言いたくても“いいえ”を言えません。自分の相手に対する否定的な感情をかくす“好意のマスク”も持っているようです。

有名で偉大な日本の作家、安部公房は戦後“他人の顔”という本を書いてアメリカが日本に与えた影響の結果を初めて明らかにしました。主人公は実験の失敗のために顔を失い、心理的似とても苦しみました。安部公房は“人の顔が人々の間の細道”と言っていますが、これは日本人々がマスクをしていて、自分の感情を他人に見せないということと矛盾するように思えます。

## 2. 教育

先ず第一に、若者の意識に影響を与えるのは教育です。現在、日本ではゆとりとつめこみのどちらの教育が必要か話し合いが続いています。しかし、日本の教育には戦後大きい変化が起こりました。米国文化が日本に個人主義と個人的な自己中心主義のアイデアを持ち込みました。そして、米国文化が日本の教育にも大きな影響を与えました。これは戦後から現在までの教育のスローガンを分析すると分かりやすいでしょう。

- (1947—1958年) 経験重視・自主性
- (1958 1963年) 知識重視・管理強化
- (1963 1968年) 能力主義・エリート養成
- (1968 1973年) 理数教育の現代化
- (1973 1979年) ゆとりと充実
- (1979 1989年) 個性重視の原則
- (1989 1991年) 個性を生かす教育
- (1991 2000年) 心の教育
- (2000年から) 個性を伸ばす教育・奉仕生活の義務化

現在、日本では学校の生徒を英語とアメリカの文化を勉強させるために派遣する色々な留学プログラムがあります。例えば、1995年の10月に日本の新潟高等学校の14人の学生がTomazu 高等学校とCarbondale 東高等学校に留学しました。

若者は個人主義を知ってしまったら、もう集団主義で保守的な強い社会を創造することは出来ないでしょう。

## 3. フリーター

日本労働研究機構では1999年度より「若者の就業行動研究会」を設け、若者の就業行動変化の背景を広く検討しています。本調査はその一環として「フリーター」と呼ばれる若者の就業行動の実態と意識を把握し、その背景を探ったものです、主な調査の目的は次の5点です。

- .. 誰がなぜ「フリーター」になるのか
- .. 「フリーター」はどのような生活をしているのか
- .. 「フリーター」はどのような就業意識を持っているのか
- .. キャリア形成・能力開発の問題はあるのか
- .. 学校から職業への移行の仕組みに問題があるのか

② 誰がなぜ「フリーター」になるのか

- \* フリーターの6割は女性、年齢層は20歳代前半層までが中心。
- \* フリーターには「モラトリアム型」「夢追求型」「やむを得ず型」の3類型。  
細分化すれば7つの類型。

- (1) モラトリアム型 : 離学モラトリアム型 離職モラトリアム型
- (2) 夢追求型 : 芸能志向型 職人・フリーランス志向型
- (3) やむを得ず型 : 正規雇用志向型 期間限定型 プライベート・トラブル型

フリーター時の学歴(単位%、( )内は実数)

	合計(人)	高校 中退	高校 卒業	専門学校 ・短大・ 訓練校 中退	専門学校 ・訓練校 卒業	短大 卒業	大学 中退	大学 卒業	大学院 中退・ 卒業
全体	100.0(97)	4.1	47.4	11.3	7.2	9.3	6.2	13.4	1.0
【性別】 男性	100.0(34)	2.9	50.0	5.9	0.0	0.0	8.8	32.4	0.0
女性	100.0(63)	4.8	46.0	14.3	11.1	14.3	4.8	3.2	1.6

③ 「フリーター」はどのような生活をしているのか

- \* 週労働日数は平均4.9日、月収は平均139,000円。
- \* 3分の2が親と同居、同居者の半数以上は何らかの経済的負担。

④ 「フリーター」はどのような就業意識を持っているのか

- \* フリーターが語るメリットは「自由」「時間の融通がきく」「休みが取りやすい」「様々な経験ができる」。デメリットは「収入が少ない」「社会に認められていない」「不安」「不安定」。正社員は「金銭面」で良く、「安定」しているが、「拘束」されるという認識。  
\* 「やりたいこと」に強いこだわり。

⑤ キャリア形成・能力開発の問題はあるのか

- \* 多くの者に将来のキャリア形成への意識はあるが、消極的な現状肯定者や、

具体的で有効な取り組みのない者も。

- \* フリーターの就業職種は限定されており、基本的なソーシャル・スキル以外の職業能力形成に結びついている場合は少ない。

\* 20歳代後半にはフリーターに限界を感じ、「焦り」も。

・ 学校から職業への移行の仕組みに問題があるのか

- \* 高校時代には進学者・就職者とも、職業選択についての意識が不明確。
- \* 進学に偏らない進路指導、企業人の関与、詳しい職業情報、早期の段階からの進路指導などを求める声も。

・ 求められる支援

- \* 職業意識の啓発、職業ガイダンスの充実、フリーターから正規雇用への移行支援が必要。

### フリーターの類型

類型	概要	件数	割合
1. モラトリアム型			
(1) 離学 モラトリアム型	職業や将来に対する見通しを持たずに教育機関を中退・修了し、フリーターとなったタイプ	29 男10, 女19	男性の4割 女性の4割
(2) 離職 モラトリアム型	離職時に当初の見通しがはっきりしないままフリーターとなったタイプ	9 男4, 女5	
2. 夢追求型			
(3) 芸能志向型	バンドや演劇、俳優など、芸能関係を志向してフリーターとなったタイプ	16 男5, 女11	男性の2割 女性の3割
(4) 職人・フリーランス志向型	ケーキ職人、バーテンダー、脚本家など、自分の技能・技術で身を立てる職業を志向してフリーターとなったタイプ	11 男2, 女9	
3. やむを得ず型			

(5) 正規雇用志向型	正規雇用を志向しつつフリーターとなったタイプ、特定の職業に参入機会を待っていたタイプ、および比較的正社員に近い派遣を選んだタイプ	13 男5, 女8	男性の4割 女性の3割
(6) 期間限定型	学費稼ぎのため、または次の入学時期や就職時期までといった期間限定の見通しを持ってフリーターとなったタイプ	13 男6, 女7	
(7) プライベート・トラブル型	本人や家族の病気、事業の倒産、異性関係などのトラブルが契機となってフリーターとなったタイプ	6 男2, 女4	

#### 4. “パラサイト・シングル” — “日本の独特の現象”

“パラサイト・シングル” — 就職はしたけれど両親の家に住み続け、両親に依存している若い成人した人の数が日本では段々増えています。Masahiro Yamada、Tokyo Gakugei University の教師はその現象を現在日本の若者の中にそびえるトレンドと定義しました。日本の経済と社会のある局面のために多くの成人した若い人々がそのようなライフスタイルを選んでる。

“パラサイト・シングル” という言葉は1997年にはじめて現れました。

Yamada は1995年の“パラサイト・シングル” の数を以下のように概算しました。

日本での“パラサイト・シングル”の数量、1995  
(多数(100万)とパーセントで)

	パラサイト			男子パラサイト			女子パラサイト		
	合計	シングル	%	合計	シングル	%	合計	シングル	%
(20-24才)	9.9	6.1	62.1	5.0	3.0	59.3	4.9	3.2	65.1
(25-29才)	8.8	3.3	37.5	4.5	1.8	39.9	4.3	1.5	35.1
(30-34才)	8.1	1.4	17.4	4.1	0.9	21.7	4.0	0.5	13.1
合計	26.8	10.9	40.5	13.6	5.7	41.6	13.2	5.2	39.4

なぜ“パラサイト・シングル” は両親と一緒に暮らすのでしょうか。

戦後大勢の人々が都市に引越しました。都市に住む人々の子供は都市の中で教育を受け職を見つけることができるためその都市を離れる必要がありませんでした。それは経済的にとても便利です。掃除もご飯の用意もいつもお母さんがしてくれますし、アパートを借りて高い屋賃を払う必要もありません。

日本のライフスタイルが両親の若いときのライフスタイルと違っているのは日本人の意

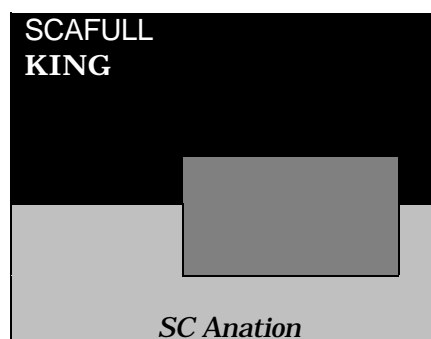
識の変容の結果でしょう。

## 5. 音楽

若者の意識に影響を与えるものは勿論彼らの生活のどこにでもあります。たとえば、音楽、映画などがそうです。店の名前、新聞の記事など、どこにでも横文字があります。CDのタイトルとか歌詞を見るとよくわかります。

日本の音楽バンドは英語の名前を使い、CDを英語でデザインします。

例：



しかし、演奏しているのは日本人です：

1. Masatumi Isobe

Tekkin

Reona Hiramoto

2. Akira Kurimoto

Masanari Goto

Keiji Masubuchi

Yoichi Murakami

Tadaaki Fukuda

．あるいは、バンドの名前は日本語だけど、歌詞には横文字が多い：

1. Utada Hikaru

“Distance”

歌：“Distance”

2. Seikima -

“1999 Black List”

歌：真昼の月～Moon at Midday

気になるのに聞けない

泳ぎつかれて君まで無口になる

[Moon at mid day leads the way](#)

焰もかすんだかげろうの中見失いそうな行方

会いたいのに見えない波に押されて

また少し遠くなる

途切れないように Keep it going ,baby

同じ気持ちじゃないなら tell me

無理はしない主義でも

少しならしてみてもいいよ

I wanna be with you now

二人で distance 縮めて

今なら間に合うから

We can start over

ひとつになれない

I wanna be with you now

いつの日か distance も

抱きしめられるようになれるよ

We can start sooner

やっぱり I wanna be with you

うつむいたまま彷徨う人よ上を向いて歩こう

ガラスの羽根飛べないけど綺麗だからいいのさ

わかりづらい未来だけどハレハヤ

真昼の月はいつも見ている Any time

小さな幸せも絶望も Always Yours

太陽野陰かくされてもお前が流す泪も見つめてる

暗闇にまかせうさをはらすのは醜さだけ極立つ

素直になるなら青空がいい案外答えはすぐさ

ガラス越しの地下に咲いたバラみたいなもんさ

カッコつけてウソもついてハレハヤ

真昼の月はいつも見ている Any time

小さな幸せも絶望も Always Yours

よどんだ雲がさえぎる日もお前が暗い時でも照らしたい

Moon at mid day leads the way

音楽のほかクリスマスやバレンタインデーなど、外国から日本人の生活にはいつてきた新しい祭りがあります。

## 6. おわりに

Margarett Mitt の調査によるとジェネレーションの観点から考えると世界には三つの文化があります。

- 1 . 父祖を手本にした文化。
- 2 . 現代人を手本にした文化。

### 3 . 誰も手本にしない文化 (それがとても危ない)

結論として、アメリカの音楽を聞いて、アメリカの映画を見て、横文字を読み使ってアメリカの現代者を手本にすることは必ず日本の若者の意識に影響を与えて変化させ、そして若者のライフスタイルを全部変化させます。それと同時に、日本の文化も変化して行くのです。

#### 参考文献

Ruth Benedict “Chrysanthemum and the sword: Pattern of Japanese Culture”

“Hiragana Times” 1999,5

“100 tough Questions for Japan” Kodansha International Ltd.,Tokyo,1996

“ 安部公房全作品 ” 佐藤亮一

NHK 出版、 “ 学校の役割は終わったのか ” 2001年

“ 変わる若者職業世界 ” 田中千津子 2001 . 4 . 20

<http://www.jil.go.jp>

<http://www.us-japan.org>



# 上田宗箇流、広島茶道の流派

ジュラナ・ペテル

## 1. 始めに

茶道の上田宗箇流は広島の伝統的な文化の代表である。流派としては小規模であるが、発祥地の広島で忠実に流儀を伝承してきたのである。特徴として、武家茶、つまり武士に合わせた茶道で有名です。又、ボテボテ茶といって、塩の入ったお茶があるのが知られているようです。

茶の湯の一般の流儀・発想の発展をたどり、上田宗箇流が茶道界の中でどういう位置にあるかということ調べてみたい。そして、茶道の主流との比較によって、武家茶と上田宗箇流の特徴、後は現状について考えたい。

## 2.1 茶道の発展期における武家茶の登場

茶そのものは元々遣唐使と僧侶によって伝えられたものである。奈良時代頃には団茶が日本に入った。中国の宋朝、つまり日本の平安時代の頃になると、臨済宗の教えを中国で学んだ栄西禅師（1141 - 1215）によって抹茶が日本に紹介された。喫茶は先ず禅宗のお寺や禅宗と関係が深かった武家階級に普及し、そして室町時代の初期になってから一般にも流行した。庶民たちは街角で一服一銭の立ち売り茶を飲み、武家階級では闘茶又は茶寄合という派手な賭け事の遊技になったりもした。

茶の湯が確立されるようになったのは村田珠光（1422 - 1502）という大徳寺の禅僧が將軍足利義政の隠居した銀閣寺に召し出された時であった。珠光が仏法は茶の湯にもあると悟って、広間の書院ではなく四畳半の狭い茶室で、質素な台子の茶の湯を行った。珠光は茶の湯の開山と称されている。

村田珠光の弟子に茶を学んだ竹野紹鷗（たけのじょうおう）（1522 - 1591）がお茶を一層簡素なものに改めた。国焼きを使っており、草庵の茶室には囲炉裏を切り、「貧しきに満足して楽しむお茶」、いわゆる「侘び茶」（わび茶）を説いた。紹鷗によって茶の湯はますます精神的な深みを加えた。

茶祖と称されている千利休（1523 - 1591）によって茶の湯が完成された。自由都市の堺（さかい）に住んでおり、竹野紹鷗に師事し、織田信長と豊臣秀吉に召され茶頭（さどう）として仕えていた。侘び茶で和敬清寂の理想を説き、簡素な生活の中に敬虔（けいけん）な心を以て茶の湯を行うことを教えた。またその道具も改良したのである。中国渡来の物を国産の器物に代えて、日常の生活の物を利用するようにした。

千利休が秀吉の勘気を被って、切腹を命ぜられた後に、秀吉にお茶を指南したのは古田織部（ふるたおりべ）（1556 - 1615）であった。利休の弟子の中で一番偉く、個性に富んだ茶をしたと言われている。織部は実際に戦いに参加していた武人で、簡素な茶を続けており、道具、流儀は武士の好みに合わせた。「古田家譜」によると、利休の町人茶を武家茶に改めるように秀吉に命令されたという説もある。確実なのは、江戸時代の初期の天下統一の後に、武士達が文化的な面でも指導的立場になってから、大名茶・武家茶が普及していったということである。

利休が静中に美を求めたのに対して、織部は動中に美を求めたと言われている。織部の好みの道具は大胆で豪放な感がある。織部は徳川二代将軍秀忠にも茶の湯を伝授していた。大阪夏の陣の戦いで大阪落城後に切腹を命ぜられた。古田織部が形成した武家茶を受け継いだのは小堀遠州、片桐石州、上田宗箇、本阿弥光悦などであった。

## 2.2 開祖上田宗箇の生涯

武家茶を守り継いでいる上田宗箇流の開祖の上田宗箇は桃山時代と江戸時代の初期の茶道、作園などに優れた武将であった。政治的不安定な時代の中で、武将で茶人を兼ね、武士に合わせたお茶を形成していた人の一人であった。

上田宗箇は現在の名古屋市南区の尾張の星崎（おわりのほしざき）に1563年に生まれた。

10歳の時に父を失い、しばらく禅寺に預けられた。丹羽長秀（にわながひで）の侍児となり、丹羽長秀が安土城の総奉行（そうぶぎょう）に命ぜられ、宗箇もそれに従った。16歳の時既に参戦し負傷した。1583年に織田信長を倒した明智光秀（あけちみつひで）に味方をせんとする織田信澄（おだのぶます）の首を討って、勇名をはせた。多くの戦いに参加し、豊臣秀吉に側近く仕えるようになって、今の福井県に一万石（\*）を領した。小田原の戦後、秀吉の媒酌（ばいしゃく）によって嫁をめとったようである。

1590年11月6日、利休の切腹の三ヶ月前、利休の朝の茶会の三人の客の中に上田宗箇が招かれた。直接に利休にお茶を師事したことがあると見なされているけれど、長い間ではなかったのだろう。宗箇は1595年に伏見に侍衛（じえい）され、そこで住んでいた古田織部、小堀遠州など、その時代の偉大な茶人たちとお茶をめぐって交流した。いろいろな際に行われた茶会の会記には宗箇の名前が記録され、古田織部から宗箇に贈った「生爪」という伊賀花入の添状などがその交流を示唆している。

1599年に参禅していた大徳寺の三玄院の開祖の百十一世春屋宗園和尚より法諱「宗箇」、道称「竹隠」を授かった。

関ヶ原の戦では敗北した西軍の側で戦った。その結果、領地を没収されて、剃髪した。三年間をかけて、現代の徳島県で蜂須賀家政に仕え、結局は関ヶ原の戦で紀州（現在の和歌山県）を与えられた浅野家の家老の役を務めるようになった。1615年に榊原の戦で

はまた勇名をはせた。浅野長晟（あさのながあきら）が芸州（現在の広島県）に入ったのに従って、宗箇が広島に移り、広島県の東にある佐伯郡（さいきぐん）で2万7千石の土地を領することになる。所領の浅原では一時隠棲した。国老として務めたり、茶人として生活を送ったりしていた。最期には二十日間、食を絶って、88歳で亡くなった。

（\*一石の領はお米の1万8千リットルができるほどの面積の土地

### 2.2.1 上田宗箇の作園：

—縮景園、（広島市）もともと泉水館という、中国の西湖（せいこ）を縮景したと言われて、浅野家の別邸として1619年に宗箇によって作られた園庭

—和歌山城西之丸庭園（和歌山市）

—名古屋城二之丸庭園（名古屋市）

—千秋閣（せんしゅうかく）庭園（徳島市城内）

—粉河寺（こかわでら）庭園（和歌山県那賀郡粉河町）

—紀州和風堂—茶寮（和歌山県）1614年（借景の紀州宗箇松）

—二代目、芸州和風堂（広島城内）1619年

（明治時代に練兵場となって、取り壊されたが、1982年には復元された）

—芸州宗箇松 広島市の宗箇山の山頂に、和風堂から見た借景として、宗箇が植えた赤松

### 2.3 上田宗箇流茶道の独特な伝承方法

以降、上田家は代々一万七千石を領し、広島藩の国老職を務めていたため、茶を直接に人に教えるなどのことをしなかった。今日まで宗箇の茶が守り伝えてきたのは茶事預かり師範達であった。野村休夢という人が宗箇に茶を学んで、そして剃髪し、百石を給せられて、上田家茶道の役を務めた。彼の弟子、中村知元が同じく百石を与えられて、二代茶事預かり師範となった。以降、その二つの家は交替で茶道の役にあって、宗箇の茶を忠実に後世に伝えた。

16代と17代の預かり師範は嗣がなく、中村・野村家以外の人が茶道の役を務めてから、結局1955年に上田流茶預かり師範の制度は終わった。

### 2.4 茶道流派の系統の中の上田宗箇流

現代でも存在しているさまざまな茶道の流派を大きく分けて、一番代表的な流派をあげ、それらの中の上田宗箇流はどのような位置にあるかを指摘してみる。

#### 1. 千家系の流派

千利休の養嗣子であった少庵という次男の長男、つまり利休の孫、宗旦から、三千家に分かれた。長男を勘当してしまって、次男の宗守から武者小路千家（官休庵）、三男の宗

左から表千家（不審庵） 四男の宗室から裏千家（今日庵〔こんにちあん〕）が始まった。

その他、千家系としてとらえている流派は：

- 千家から分裂した流派（速水流、川上不白の不白流 = 江戸千家）
- 利休の七哲が開いた流派（有楽流、細川三斎流）
- 利休の他の弟子が開いた流派（南坊派、隈本古流、久田流）
- 宗旦の四天王が開いた流派（山田宗偏の宗偏流、松尾流）

## 2. 大名・武家茶系の流派：

利休の高弟の古田織部が武家茶を形成した。織部自身の流派は残されていないけれども、古田織部に茶を学んだ弟子たちは武家茶を伝承している。なお、織部流と別々に発展してきた流派もある。

- 織部の弟子が開いた流派（小堀遠州の遠州流、上田宗箇流、本阿弥光悦）
- 利休の長男道庵の影響を受けた流派（金森可重の宗和流、片桐石州の石州流、松平不昧の不昧流）
- 千家の影響を受けた武家茶の流派（藪内流（やぶのうち）三千家を上流、藪内流は下流という）

石州流はまた多数の流派に分かれている（宗源流、怡溪流、江戸怡溪流、伊佐流、大口流など）江戸時代で一番勢力があったのは大名・武家茶の遠州流と石州流であった。明治に入ると、社会の民衆化と共に、町人茶として形成され、庶民の間で人気があった三千家のお茶の方が普及し始めた。上田宗箇流は発祥地となっている広島では強い地位を維持してきた。但し、流儀がそれぞれ違うといっても、お客を心からもてなすことが共通点で、流派の所属より遙かに重要だと見なされている。

## 3. 上田宗箇流の作法・流儀

### 3.1 一般的な茶の湯のお点前

上田宗箇と裏千家の具体的な比較に入る前に、茶道の術語と茶道の作法の一般的な流れをあげてみたい。

茶道の道具の名前・術語（括弧では普通に使う材料）

茶碗（陶器）

茶筌 茶碗で湯をそそがれた抹茶をかき回し、泡を点てる道具（竹）

茶杓	茶をすくう、小さい細長いさじ（竹、まれに木、昔は象牙）
柄杓	湯や水をすくうための道具（竹）
棗（ナツメ）	薄茶のための抹茶を入れておく入れ物（塗った木）
茶入れ	濃茶のための抹茶を入れておく入れ物（陶器）
茶巾	茶碗を拭くための麻の布
帛紗（フクサ）	道具を清めるなどのための絹で作った正方形の小さい布
釜	（鉄）
水差	水を入れる入れ物（陶器、磁器、まれにガラス）
建水	汚れた水を捨てる容器（金属、木、陶器）
薄茶点前	一客一碗をすすめる。泡がたつように点てる。比較的薄い味わい、茶事では濃茶を飲んだ後に楽な気持ちで行う濃茶点前ゆっくりで敵か。練った茶を一つの碗でお客全員がのみ回す。 薄茶と比べれば作法が複雑で、抹茶の種類も違う

一般の薄茶点前の流れ：（棚なしの平点前（ひらでまえ））

亭主が茶室にいるお客に挨拶し、まだ置いてない道具を持って入る。決まった場所にそれぞれの道具を置く。袱紗で茶杓と棗を清める。湯を入れた茶碗を暖めながら茶筴を調べて、お湯を建水に捨て、茶碗を茶巾で拭く。茶を入れて、茶筴で点てる。お客が皆茶を飲んでからおしまいとしてそれぞれの道具をきれいにして、茶杓と棗を客に見られるように飾っておく。道具を持って帰り、お客と挨拶する。

### 3.2 流儀の相違

茶会の本当の目的は主人と客によって楽しい心洗われる一刻を過ごすものだとする、上記のお点前を通してこそ、それが目指されている。そうすると、すべての流派では一般的なお茶の流れが変わらないはずである。しかしそれぞれの流儀は開祖の教え・伝統などに基づいており、経緯では作法には違いがかなり多い。細かい道具の扱い方や持ち方・置く場所などの相違もあるし、作法の一部が全く違うこともある。また、あるお点前に置かれている根拠、強調しているところなどが違うこともある。今の茶の湯の主なる流派の三千家は茶道の創設者の千利休の教えに基づいている。町人達の茶として形成されたため、平等・調和という発想が大事である。実際に戦争でしばしば戦っていた武将達によって作られた武家茶の場合では厳粛・秩序などの方が重視されている。武家茶の上田宗箇流のお点前の特徴やその特徴の解釈について考えてみたい。

### 3.3 上田宗箇流と主流である裏千家との作法の比較

茶会・茶事ではよく言い回しの決まっていることがある。

雑談は望ましくないが、一般的に茶の湯のことやある茶会のテーマをめぐって自由に話せる時もある。また、内容だけが決まっていて、自分で選んだ言葉遣いで言えることもある。決まり文句もあるが、必ずしも決まった一つの文句を言わなければならないわけでもない。その時言うべき気持ちを表しているとしたら、相応しい挨拶の選択も可能である。すなわち、自分勝手な話題を話さずに、相手の心を思い遣り考えて、ものを言うのが目的であろう。

表は裏千家と上田宗箇流の薄茶点前の基本的な挨拶の言い回しである。

使う時	裏千家	上田宗箇流
最初の挨拶、襖を開けた時	一服差し上げます	一服差し上げます
初めて柄杓を構えて、蓋置きに置いてから	—なし—	どうぞご楽に
客が茶をいただく時言う言葉	お点前頂戴致します	頂戴致します
客が飲んでから亭主が茶碗を手前に返す時	—なし—	お飲みにくうございました
客全員が飲んだ後	お仕舞い致します	一応仕舞わせて頂きます
終わってから、客が道具を見せてもらうように頼む時	御棗、お茶杓の拝見を	御両器拝見
出る時障子を閉める前に亭主が言う挨拶	失礼致しました	お目だるございました

注 ア 最初の挨拶として、裏千家のお点前では総礼だけを（お辞儀）することが多い上田宗箇流の最初の挨拶として一服差し上げますとも言うことがある

イ 亭主がお茶碗を返してもらった時、裏千家の濃茶点前では総礼をする又、裏千家の濃い茶では柄杓を構えて置いてから全員が総礼

エ 拝見を頼んでいる道具は適当にお点前によって変わる

裏千家の挨拶の場合では現代の敬語が使われているに対して、上田宗箇流では古い敬語の言葉遣いもある。比較してみると、上田宗箇流の方がもっと形式的な感じがしている。裏千家の挨拶はより和を目指している丁寧さがあり、上田宗箇流にも同じようにあるといっても、ある程度の秩序や厳しさが見える。

#### 3.3.1 上田宗箇流と裏千家の点前の比較

茶の湯には非対称が多い。と言うよりも、対称がめったにない。理想は非対称によって、バランスを取ることである。模様・色・大きさの似ている道具は普通同時には使わない。でも裏千家のお点前では畳の線に道具が揃えてある。上田宗箇流では殆どの道具を少し斜めに置いている。

主な道具の置き方は七歪（ななひずみ）と呼ばれている：

- 1 , 小坂が少しお点前の方に歪む
- 2 , 風炉が少し勝手の方に歪む
- 3 , 五徳は前を少し高く据える
- 4 , 前土器を少し向こうに伏せて置く
- 5 , 釜の前を少し高く置く
- 6 , 柄杓の柄をお点前の方へ斜めに引く
- 7 , 居住まいは風炉の方へ少し斜めに坐る

/上田宗箇流（上）と裏千家（裏）の対照

1. 上 「乗馬柄杓」— 男性は建水に入れておいている蓋置と柄杓を持って入る時、建水が左手に下がっていて、柄杓は延ばしている右手で持つ。乗馬の手綱を持っているような形となっている  
裏 建水の上に柄杓を伏せて、左手で持って入る
2. 上 棗と茶碗は両手でそれぞれに近く、同じ高さで持って行く。  
裏 棗と茶碗はもう少し離し、お茶が入っているため棗の方を少し高い位置で持って行く。
3. 柄杓の扱い方はかなり違う。水を注ぐ前、柄杓を置く前などの扱いは、上田宗箇流ではまっすぐな動きが多い。裏千家では弧を描くような動きが多い。湯や水を注いだ後、釜に柄杓を伏せる方法が異なっており、それらは上田宗箇流の方が簡単そうである。
4. 上 釜の蓋を開けると、先ずはしっかり閉めて、蓋の手前を持ち上げて、それから取る  
裏 蓋を少し自分の方へあげて、滴をおろして、取る
5. 帛紗さばき  
上 帛紗は右側に腰につけてある。取る時は女性が両手をつかって、持ち替えて、縦二折りに折って、横はほぼ半分に折る。男性は帛紗を取るのに右手しか使わない。  
裏 帛紗は左側に腰につけてある。男性も女性も同じく左手で出して、両手で扱って縦三折りに折り、横はほぼ半分に折る。
6. 上 帛紗をさばいた後、棗を清めるのに、まっすぐした、速い動きで拭く。茶杓を清めてから帛紗の中に握って、手前から向こうへ少しずつ出して、最後に棗の上に載せる。  
裏 棗を清めるのに丸くて、優しい感じの動きで拭く。茶杓を拭いてから、帛紗に

乗せずに、直接棗に置く。

7. 裏千家で「茶筥通し」、上田宗箇流で「茶筥湯治」という使う前の茶筥の清め方・調べ方にはかなり多くの違いがある。

裏 茶筥を茶碗に入れ、20センチの高さぐらいまで回しながら行う。そして、お茶を点てるようにかき回してから引き出す。

上 複雑に回したり、置いたり、握り込んだりするやり方がある。そして、後は穂調べをする。

8. 上 水を捨てる前に、茶碗を両手で持ちあげて、揺らしながら三回回す

上田宗箇流では男性の茶巾の折り方が違うと同時に、拭き方もかなり異なっている。男性が茶巾を使った後はまたたたみ替えて、もとの場所の蓋置きの上に置く。

10. 上 茶をすくう時は棗の蓋を茶碗の手前に置く。すくう直前左手で棗、右手で茶杓を持ったまま、同時にまっすぐした動きをする。すくった茶を二回さばく。

裏 棗の蓋は右手前に置く。入れた茶はさばかない

11. 上 茶筥を茶碗に入れてから「の」の字を描く。茶は点前から向こうの方向に少しきれぎれする感じの動きで点てる。茶筥を取り出す前にまた「の」の字を描く。

裏 茶筥を入れてからすぐ点てる。前後の動きで完全に細かい泡ができるまで点てる。茶筥を引き出す前に「の」の字を描く。

12. 上 茶碗に入れた水を建水に捨てる前に濯ぐように両手で持ち、三回揺らしながら回す

13. 茶碗を濯いだ後の茶筥通し・茶筥湯治はまたかなり違っている。

上 茶筥湯治してから茶筥を建水の上に二回振る。茶筥を茶碗にのせる前に膝の上で右の方に回して、入れる「名残茶筥」

### 3.3.2 相違の解釈

さらに道具の持ち方・取り方・置き方・間隔などの小さな相違も多い。

茶室での歩き方・障子の開け方も違う。

上田宗箇流では、動作をもっと規制するように、動きはある程度きれぎれしているような感じがする。滑らかで自然に行われた動きではなく、直線をたどって、途中で止まったりする動きの方が多い。但し、直線をたどるといっても、直角をたどって動くことはない。直線はまっすぐ行って、角は弧を描く。手の動きは同時にしない。一般のルールは片手である茶器を持って、その手の側の膝を体と水平止めて、もう片方の手で他の茶器を取り、また膝の上に止める。そして最初にとった茶器を置くまたは使う。最後に二番目として取



った茶器を使う。

客に関する点で一番違っている所はお辞儀の仕方以外に、菓子を食べる時に使う紙である。男女の大きさが異なる一般の茶道の懐紙を使わないで、上田宗箇流ではお菓子を食べるのに四つに折った書道の半紙が使われている。お菓子を紙で持ちながら食べる。点前に使う道具なら、茶道の主派と同じ道具が多い。

### 3.4. 道具

一般的に言うと、武家茶の特徴で、上田宗箇流の道具は簡素である。自然なままの感じで飾り気がない。例をあげてみると、棚の場合は塗った棚を使うことは珍しくて、普段は木地を使う。

道具の典型的な例は開祖の上田宗箇作の道具である。道具の名前と評価：

竹：一重切り花入（たけいちじゅうきりはないれ）—たくましくて、激しい気迫が満ちている茶入れ

「さても」という茶碗 力強く堂々たる姿をし、豪快な茶碗

「敵がくれ」という二本の茶杓 樅井の戦の最中で作られたと言われている。直線的な感じの茶杓

茶入：気力みなぎる作の茶入

「門無俗士駕」（モンニゾクシカゴナシ）と読む行書の掛け軸 我が住まいに俗人をお迎えしないという意である。武士の道徳が見える。字には豪放さがあると見なされている。

先に述べた道具は全部上田宗箇流の茶の代表として、その茶の本質をもよく表している。研究するにあたってお世話になった東広島の景山宗貴先生のお稽古では、遅しくて、質素な水差があった。由緒を伺ってみると、南蛮焼き（なんぼくやき）の一つで、凡そ400年前に日本に来た外国人が持って来た物だと先生はおっしゃった。同じく、先生のお稽古で出てきた少し古そうな感じのお盆の由来を聞いてみると、上田宗箇自身が使い、浅原の隠棲の時に村人に与えた物だと教えて頂いた。上田宗箇流では、こういう貴重品が普段の稽古でも使われているようである。つまり、どこかに飾ってあるよりも、何かの役に立てるということで、道具の意味・価値が一層あがっていくということであろう。

### 3.5 上田宗箇流の男性の点前と女性の点前の対照

#### 1. 座り方、お辞儀

男性は膝の間に握りこぶしが2つ入るように正座で坐る。女性の場合は1つ分である。お辞儀をするときは：

- 男性は掌を畳につけないようにするために指を握り込み、親指の先を人差指の内側につけて挨拶する。つまり、人差指、中指、薬指、小指の第二関節の外側が畳につくことになる。
- 女性は指を伸ばしたまま両膝前で指先だけを畳につく。男女の角度は同じで、約60度である。

## 2. 立ったり、坐ったりする方法：

男性の場合では即座即立というのがある。女性の場合では立ってから歩き出す前に着物の下を治すためのよう動きで後ろの方へ少し踏む。

## 3. 道具の扱い方

先述したように、初めに男性は蓋置が入れておいている建水を左手で、柄杓を伸ばした右手で持って茶室に入る。女性は柄杓を建水の上に伏せて、全部右手で持って入る。

水をすくうため柄杓を取るとき、右手の指をにぎり込んだようなままで柄杓を取る。そうすると、丁度弓を引くような形になる。

## 4. 帛紗

男女とも、右の腰に帛紗がつけてある。取る時は女性が右手で帛紗を取って、左手を使って、右の膝の上にさばく。男性の場合は帛紗を右手で腰から引いて、右膝の上に置いて、右手で二つに折って、更に右手で左膝の上に移してからさばく。点前中、帛紗のさばき方、折り方はいくつもあるのだけれども、男性の点前では片手だけを使う傾向がある。

## 5. 茶巾のたたみ方

女性の点前では、茶碗を拭くのに、茶巾が縦三つに折り、横四つに折って、長方形の形になる。

男性の点前では、三つと四つに折るたたみ方は変わらないけれども、長方形ではなくて、甲の形で、台形となる。

一般的に言うと、上田宗箇流の女性の点前は主流の三千家の点前に近い。だから、男女の相違は武家茶の特徴がよく指摘できる場所である。

## 3.6 武士点前

堺の町人茶から武家茶が形成されたのは16世紀の終わりごろであった。自治都市の堺ではなく、実際に戦いに参加していた武士達、古田織部・上田宗箇などによって生み出されたものである。そのため自由都市の堺の茶と比べれば、武士らしい秩序を大事にしており、厳粛・簡素な感じする。

上田宗箇流の点前を見ると、一見で厳しく難しいことに気がつく。その理由の一つは、宗箇の茶は武士になる青年を育てる機能もあったからだ。茶を通して、対人関係のこと・美的感覚だけでなく、武士道の道徳も伝える機能があった。

武士たちは、徳川幕府に入ると、土農工商の身分制度上の一番上の階級になった。すなわち刀をさす権利を持っていた階級であった。武士道が茶室にも反映されたことに従い、独特な武士点前が発生してきた。刀が腰に付けてある武士の姿に作法が合わせられた。そのため、男女の点前には違いがある。

三千家の点前では作法の大部分は左手で、左膝の上で行われる。しかし武士にとっては左側に刀があるため、その動作の中心は右の方へ移されている。そのため、帛紗は男女とも右側の帯につける。男性だけは刀を持てるように、右手を使わずに、帛紗は右手だけで取り、片手で膝に置いたまま扱う。

男性の即座即立の座り方も武士の跡がある。つまり、落ち着いて茶を点てているとしても、戦う用意が常にできているはずであった。だから、立ち方も直ちに立ち上がることができるように合わせている。

しかし実際、茶室には丸腰なまましか入れなかったのである。利休が始めた茶の湯の改革では躡り口（にじりぐち）と刀掛というのが挿入された。客は茶室に入る前に、刀を刀掛に置かなければならなかった。それに、入り口はひざまずいて入らないといけない程低くなった。その理由は、俗世と茶室の世界の境界をもっと強調することであった。なお、入る前に客は頭を下げる状態になった。そうすると、身分にこだわらず、人間的なレベルで自由に交わることができたのである。こういう風に限られた自由の中では「亭主と客はお互いに最大の敬意を払う」ことができる。

上田宗箇流では躡り口も、刀掛もある。そうすることにより、茶室が俗世の戦乱から離れており、武士の心を浄化させ、精神を鍛えることができるようになっていた。

他の武士点前の特徴もある。前述の乗馬柄杓、弓の柄杓、甲形の茶巾などである。それぞれの場合、実用性ではなく、武士の世界の美を比喻の形で茶の湯に反映したのである。

#### 4. 上田宗箇流の現状

広島歴史、文化と上田宗箇流は強く結びついている。宗箇の活動や上田家が広島藩の国老職を務めていたことがその結果をもたらしたのである。県内中に、上田家ゆかりの地が多くある。二代目和風堂があった広島城、宗箇が作園した縮景園、1982年に復元された三代目和風堂、十五代宗源家元が宮司として務めていた饒津神社、宗箇が隠棲していた広島県の西側の佐伯町（さいきちょう）の浅原の岩船の水などがある。

100ぶりに1982年に復元された和風堂は上田流の本部で、家元の住居となっている。和風堂は広島市西区にあって、中の屋敷で稽古が行われる。屋敷以外に、遠鐘とい

う茶室、腰掛待合などがある。

広島市内で稽古が行われているのは

—県内：東広島、大竹、呉、竹原、三原、福山、府中、三次（みよし）

—県外：山口、和歌山県、奈良県、大阪、京都、東京

—海外：ハノーバー、ドイツ。広島とハノーバーが姉妹都市となった際に、1988年に上田宗箇流が洗心亭という茶室を寄贈して、ドイツ人と日本人、二人の先生の指導のもとに稽古と茶会が行われる。

現在では上田宗嗣が16代家元となっている。家号は和風堂である。1995年に15代家元山水軒宗源（60歳まで宗元）から家元を継承した。1968年に慶応義塾大学経済学部を卒業し、上田宗箇流の茶はもとより、日本・広島文化・一般的に茶道の分野で活動している。日本や海外で（中国の重慶応市とドイツのハノーバー市）茶道の建築の指導監修をした。

#### 4.1 上田宗箇流の行事： 毎年

1月1日 和風堂初釜                      1月第三日曜日 縮景園大福茶会

4月12日 国泰寺豊公祭              5月1日 和風堂宗箇祭

5月1日（旧暦） 東京大徳寺三玄院宗箇際（2002年5月19日）

11月 和風堂紅葉茶会              12月14日 国泰寺義士祭

2002年度の茶会（縮景園）

2月10日 梅見茶会              5月5日 茶摘茶会

6月9日 田植茶会              9月21日 観月茶会

11月3日 菊見茶会（余所）

4月28日 そごう茶会、策伝会（誓願寺）

5月4日 フラワーフェスティバル茶会

9月22 助け合い茶会（そうご）

11月23日 茶筥供養（禅林寺）

12月8日 義士祭（明星院）

#### 4.2 ポテポテ茶

特別な茶会がある。11月3日、観菊茶会（菊見茶会）ではポテポテ茶という茶を飲む。その由来は、武家茶の松田不昧流の7代の殿様の時代まで遡る。その時代四国では飢饉があった。茶だけでなく、食べる物もなかった。その時、不昧流では、人々に質素な食べ物と茶木の花で作った茶を与えた。その記念に上田宗箇流にも抹茶でなく、煎じた茶の花に塩をかけ、ご飯、豆なども入れて、各客は自分で普段より少し長い茶筥で練るということをする。しかしこの、茶に塩をかけるというのは、年に一回だけのポテポテ茶の場合だけ

である。

#### 4.3 茶を三口でいただく訳

一口を飲んで三毒を潰し：

貪(ドン)むさぼり 嗔(ジン)いかり 痴(チ)まよい

二口を飲んで六根を制し：

目根、耳根、鼻根、舌根、心根、意根

三口を飲んだら茶の十徳により世に利す。

諸神加護、無病思災、朋友和合、遠魔天離、正心修心、睡眠除去、  
煩悩消滅、五臓調和、老養父母、臨終不乱

#### 5. 終わりに

上記の頂き方を影山宗貴先生に教えて頂いた。すなわち、お茶は心をきれいにすると共に、長生きの秘訣のようである。「お茶のおかげで、私は一番幸せな人です」と先生がおっしゃられた。心、体を鍛えるため、武家茶が厳肅であるとしても、茶会、稽古などには、ゆったりした雰囲気がある。比較的に小さい流派であることのおかげで、階級組織的ではなく、くつろげる雰囲気がある。350年前の上田宗箇の盆が日常的に稽古で使われていると分かった時は、感動した。大規模な茶道の流派と比べれば、茶道を学生と開祖や和風堂である本家との距離は短いという感じがする。

私自身は点前の印象というと、裏千家では、和みのある優しい感じ、上田宗箇流の武士点前では、男らしく、少し厳しくて和みがあるという感じがする。

文化の継承という大きな視点から見れば、独特な伝統の伝承は非常に重要なことである。茶の場合は流儀の相違を弁えながら、お客を心からもてなすという各流派にある共通の目的を目指せばよいと思える。

#### 参考文献

- 茶道の歴史 / 桑田忠親、講談社 1979  
古田織部の茶道 / 桑田忠親、講談社 1990  
茶の本 / 岡倉天心著；浅野晃訳 講談社インターナショナル 1998  
茶の真諦：道・学・実 / 千宗室 淡交社 1980  
ひろしま文庫、茶道上田宗箇流 / 上田宗嗣、広学図書、2002  
上田宗箇流茶の湯 / 上田宗源、上田宗嗣、第一学習社 1993  
うつくしく宗箇の世界、中村本店、2001  
裏千家点前編、風炉、淡交社 1986

# 漱石の女性像に関する一考察

- 中期の作品を中心に -

A Study on the Female Image in Soseki's Masterpieces  
- Concentrating in the Middle Period -

劉 国堯

## 序言. 問題の所在

「漱石が愛した対象は自然・人事にわたり様々なものがあるが、作品に関連深いのは何と言っても彼が愛した女性達であろう。」このように小坂が指摘したとおり、夏目漱石の作品の中には、必ず女性が登場し、またその女性が小説の中で果たす役割も決して小さくない。漱石が描く女性像は、皆それぞれ小説の中で違う役割を与えられてはいるが、その外見および内面の描写には共通するところがある。

本論文の目的は、夏目漱石の作品に登場する女性像について分析を行うことである。特に『心』に登場する静、『三四郎』の美禰子および『それから』の三千代に焦点をあて、この三作品における分析を通して、漱石の普遍的な女性像に関する考察を行う。また最後に漱石の女性観などについて言及する。

実のところ、漱石の女性像を分析するにあたり、三作品を選んだのには積極的な理由がある。『心』に登場する静は漱石の全作品を通して結婚前と後の女性の描写がある唯一の作品である。そこでまず、この静と他の作品に登場する女性（美禰子：結婚前の女性像、三千代：結婚後の女性像）との比較を通して、共通点を浮き彫りにすることができ、この共通点こそが、漱石の中に存在する普遍的な女性像を示すと考える。次に女性像の比較を通して、相違点を明らかにし、それをもとに具体的な漱石の普遍的な女性像を明らかにする。最後に、漱石に関する文献より、漱石の中に存在する普遍的な女性像がどのように形作られたのか、またモデルとなった人は誰なのか、という点についても考察を加える。これらの考察によって、漱石自身の女性観の検討を行う。

## 第一章 結婚前の女性像 - 『心』と『三四郎』

「『私の今度の小説箱表紙見返扉一切合切自分の考案で自分の手を下してやりました其内の表紙にあれ（「石鼓文」の拓本）を応用しました（大正三・八・九 橋口貢宛）」と夏

目漱石自ら語るように、「心」は漱石にとっても記念すべき、愛すべき作品であったのである<sup>2</sup>。」

「漱石は明治三十八年の処女作『吾輩は猫である』以来恰度十年間書き続けてきた、彼自身の恋愛体験をモチーフとした創作態度を、『こころ』において終止符を打とうとしているのだということである。あるいは終止符とまではいえないまでも、相当の変化を予期した一つの結節点をつくらうとしている。」

『心』は夏目漱石の中編小説である。1914年「朝日新聞」に『こころ』のタイトルで連載された。同年『心』に改めて刊。親友を裏切ったため苦しみ自殺する主人公「先生」の孤独な内面を、前半は「私」という学生の眼をとおして間接的に、そして後半は「先生」の遺書という書簡体という形をとって描いている。

『心』は漱石にとって特別な作品であると同時に、この作品に登場する女性もまた、漱石作品の中で特別な位置をしめる女性であるといつてよい。その女性こそ漱石の全作品を通して結婚前と後の女性の描写がある唯一の女性、静である。『心』では静についての描写は決して多いとは言えないが、静が存在するからこそ、「先生」の裏切り、kの自殺などの出来事が引き起こされた。『心』は主に二部分に分けられている（「上 先生と私」と「下 先生と遺書」）。従って、静についての描写もこのように二部分 結婚前と結婚後 から成り立っている。本章では特に結婚前の静を取り上げて分析する。

結婚する前の女性といえば、『三四郎』の美禰子は漱石作品中で比較的目的を引く未婚女性の一人である。『三四郎』は、『坑夫』や『夢十夜』によって、文学的な転回の試作をとげた漱石が、その転回後に書いた、いわば本格的近代小説の第一作である。この第一作に出てくるヒロインも漱石文学に存在する女性像の中では独特の魅力を発揮しているといえよう。『三四郎』は夏目漱石の中編小説である。1908年「朝日新聞」に連載され、『それから』『門』と共に三部作をなす。熊本の高校から東京の大学に来た青年三四郎を通じて明治末期の大学生生活を、卓抜な文明批評を散りばめて描く漱石初期の徘徊趣味から後期への過渡的作品として注目される。

同じ漱石中期作品のヒロインとしての二人は一体どんな相違点を持っているのであろうか。漱石の御嬢さんとしての静についての描写が非常に限られている。彼女の形象性は極めて稀薄である。静の描写と対照的に、『三四郎』では美禰子についての描写は比較的工夫しているといえよう。

しかし、同じ明治時代の女性として、静と美禰子はやはり驚くべきほど似ている。以下その共通点について言及を行う。

---

<sup>1</sup> 小坂晋『夏目漱石 - 伝記と分析の間を求めて - 』（桜楓社、1986年）

<sup>2</sup> 坂本浩『夏目漱石 - 作品の深層世界 - 』（明治書院、1979年）

## 1. 共通点：

### 教育程度

女性知識人の少ない当時にしても、静と美禰子は両者とも知識のある人である。

この時代における平均的な女性の教育水準と比較すると、『三四郎』の美禰子はかなり高度な教育を受けてきたと言えよう。事実、『三四郎』ではこんなシーンがある。広田先生が英国の閨秀作家のアフラ、ベーンを紹介する時、美禰子に向かって「面白いな。里見さん、どうです、一つオルノーコでもかいちゃあ」と言った。知識人としての広田にそう言われる美禰子はかなりの文学基礎を持っていると想像できる。また、この上に英語が堪能である。このことから当時の平均的な女性と比べ、高い教育水準を有していることがわかる。

### 生まれ育ちの背景

両者とも裕福な家で育てられた。二人が相当の知識を持っていることは裕福な家で育てられてきた証拠の一つである。また、静は軍人の家庭だったが、「厩などがあって、邸が広過ぎる」くらいの家であった。美禰子の場合は両親とお兄さんに早く死なれても、経済的に窮する家庭ではないことがうかがえる。

### 容姿端麗

私はそれ迄未亡人の風采や態度から推して、此御嬢さんの凡てを想像してみたのです。然し其想像は御嬢さんに取つてあまり有利なものではありませんでした。軍人の妻君だからあ々なのだらう、其妻君の娘だから斯うだらうと云つた順序で、私の推測は段々延びて行きました。所が其推測が、御嬢さんの顔を見た瞬間に悉く打ち消されました。さうして私の頭の中へ今迄想像も及ばなかつた異性の匂が新らしく入つて来ました。（『心』「下先生と遺書十一」）

御嬢さんの直接の描写ではないが、この描写より『心』の御嬢さんとしての静は如何に可愛い女の子かがわかる。実は御嬢さんの静の外貌描写は全文に一所しか出てこない。

御嬢さんは大層着飾つておました。地体が色の白い癖に、白粉を豊富に塗つたものだから猶目立ちました。往来の人がじろじろ見て行くのです。（『心』「下先生と遺書十七」）

この一箇所の描写でも静は肌の白い女性であるのがわかる。当時では、肌が白いのは

---

<sup>1</sup> 宮井一郎『漱石文学の全貌』下巻（国書刊行会、1984年）



美人であると考えられていた。さらに、学生である「私」は初めて奥さんになった静に会った時、「美しい奥さんであった」と静のことを思っている。以上のことより、御嬢さんの静は美人であると言えよう。

静にひきかえて、美禰子の外貌はいたるところで描写されている。

二重瞼の切長の落付いた恰好である。目立つて黒い眉毛の下に生きてある。同時に綺麗な歯があらはれた。此歯と此顔色とは三四郎に取つて忘るべからざる対照であつた。

今日は白いものを薄く塗つてある。けれども本来の地を隠す程に無趣味ではなかつた。濃やかな肉が、程よく色づいて、強い日光に負けない様に見える上を、極めて薄く粉が吹いている。てらてら照る顔ではない。

肉は頬と云はず顎と云はずきちりと締まつている。骨の上に余つたものは沢山ない位である。それでみて、顔全体が柔らかい。肉が柔らかいのではない、骨そのものが柔らかい様に思はれる。奥行の長い感じを起こさせる顔である。（『三四郎』三の十四）

美禰子は三四郎に一目惚れをさせる美人である。さらに、この美人の顔は「歌麿式」である。

#### 二人とも男に囲まれている

『心』の静は「先生」と「k」に好かれている。それと同じように、『三四郎』の美禰子は女友達よりよく男友達と遊んでいる。例えば：三四郎、野々宮、広田先生、与次郎などである。もちろん、男女交際が今のように自由ではなかつた明治時代の当時は二人にはそれなりの理由がある。

静は家が下宿である関係から、下宿のお客の「先生」と「k」との接触が多いのは当然のことだと考えられる。美禰子の場合も両親に死なれて、お兄さんと一緒に生活することになった。お兄さんの関係で男性と接する機会が増えてきたのである。また、二人とも、明るく、社交的であることも無視出来ない。この積極的な人間描写は漱石文学に登場する男性像ときわめて異なっていることがわかる。例示すると、『心』の先生やk、『三四郎』の主人公三四郎も社交性に欠けているといつてよい。漱石文学に登場する男性像は臆病であり、度胸がなく、社交が苦手であるからこそ、女性像はさらに際立ってその社交的性格を描写されている。

#### 二人とも日本的な女性の面も持っている

「お嬢さんとしての彼女は、花を活け琴をひき、内気で控え目な日本的女性として描かれている。「若い女として御嬢さんは思慮に富んだ方」（下・三十四）という指摘もあって、若き日の先生に「信仰に近い愛」（下・十四）を抱かせるにふさわしい人柄として

描き出されている。」<sup>1</sup>と相原が指摘するように、『心』の御嬢さん静はかなり日本的な女性の一面を持っている。

一方、「都会人である聡明」であり「近代人特有の微妙な女性心理がある」美禰子も同じく日本的な女性の面も持っている。

広田先生は例によつて烟草を呑み出した。与次郎は之を評して鼻から哲学の烟を吐くと云つた。成程烟の出方が少し違ふ。悠然として太く遅ましい棒が二本穴を抜けて来る。与次郎は其烟柱を眺めて、半分背を唐紙に持たした儘黙つてゐる。三四郎の眼はぼんやり庭の上にある。引越ではない。丸で小集の体に見える。談話も従つて気楽なものである。ただ美禰子丈が広田先生の陰で、先生がさつき脱ぎ棄てた洋服を畳み始めた。先生に和服を着せたのも美禰子の所為と見える。（『三四郎』四の十六）

皆で雑談などを興じて盛り上がっているとき、その傍らで真面目に家事や服の整理をやるのが典型的・伝統的な日本的な女性の姿だと考える。近代女性のイメージの中に美禰子の日本的な女性の一面を垣間見ることができる。

#### 独立性

『心』の静は御嬢さんの時は母もとで生活して、いつも母には従順である。ところが、静のすべてがそうだというわけではない。

時たま御嬢さん一人で、用があつて私の室へ這入つた序でに、其所に坐つて話し込むやうな場合も其内に出て来ました。（中略）あまり長くなるので、茶の間から母に呼ばれても、「はい」と返事をする丈で、容易に腰を上げない事さへありました。それでめて御嬢さんは決して子供ではなかつたのです。（『心』「下 先生遺書十三」）

この引用から、静はかなりの独立心が強く、そのためにこっそり母と抗っていると私には見える。

あの女は自分の行きたい所でなくつちや行きつこない。勧めたつて駄目だ。好きな人がある迄独身で置くがよい。（『三四郎』七の五）

と指摘された通り、美禰子は多くのことでは自分の意志で決める。もちろん、それは彼女の生まれ育ちの背景や受けた教育と関係深い。これも、彼女の「西洋流」の一面では

<sup>1</sup> 相原和邦『漱石文学』（塙書房、1980年）

<sup>2</sup> 坂本浩『夏目漱石 - 作品の深層世界 -』（明治書院、1979年）

ないかと考えることができる。

## 2. 相違点：

次に相違点について考察する。

### 性格

形象の情報量が極めて少ないため、『心』の静は御嬢さんの時代はあまり注目される性格がない。当時の彼女の性格を追求すれば、やはり前述で引用した相原氏の「内気で控え目な日本的女性」と言うことができる。

逆に、美禰子の形象は非常に鮮明に描かれており彼女の性格は比較的容易に把握できる。その性格を分析すると、静と違う所がいくつかあげられる。

「あの女は落ち付いて居て、乱暴だ」と広田が云つた。

「えゝ乱暴です。イブセンの女の様な所がある」

「イブセンの女は露骨だが、あの女は心が乱暴だ。尤も乱暴と云つても、普通の乱暴とは意味が違ふが、野々宮の妹の方が、一寸見ると乱暴の様で、矢張り女らしい。妙なものだね」（『三四郎』六の四）

与次郎と広田先生の対話から、美禰子は「乱暴」だということを読み取るが、この後の「乱暴」についての説明があるが、それは与次郎の説明である。

「だつて、先刻里見さんを評して、落ち付いてみて乱暴だと云つたぢやないか。それを解釈して見ると、周囲に調和して行けるから、落ち付いてあられるので、何所かに不足があるから、底の方が乱暴だと云ふ意味ぢやないのか」（『三四郎』六の五）

美禰子の「乱暴」は社会や自分の人生に不足や不満から、出てきたものである。与次郎はそれは「現代の女性」の通病と云った。私は、それは美禰子が高い理想を持っているからだと考える。野々宮と空中飛行器についての討論では言ったように死んでも空を飛びたい、と当時の女性としては過激な考え方からも、彼女の「乱暴」さが見える。しかし「乱暴」と言われても、美禰子はやはりその時代の枠を完全に超えられていない。最後に、「だれの予想をも裏切って、三四郎でも野々宮でもない第三の男と、ありふれた見合いで婚約してしまう。」<sup>2</sup>これは美禰子が自立を断念した一つのあらわれともみられる。

---

<sup>1</sup> 同上

<sup>2</sup> 相原和邦「漱石文学にみる「しぐさ」」（中国新聞、1988年）

「ありや妙な女で、年の行かない癖に姉さんじみたことをするのが好きな性質なんだから、引き受けさへすれば、安心だ」(『三四郎』八の二)

「短い言葉であるがこのなかには、勝気、積極的、伶俐、実行力、あるいは多少の注釈つきで誠実、というような要素を読み取ることが出来るであろう。」<sup>1)</sup>比較的単純な静に対し、美禰子がこのような多面性の性格を持つことも二人の違いと思う。

### 肌の色

『心』のお嬢さんは「地体が色の白い」。それと引きかえて美禰子は小麦色の肌を持っている。実は漱石文学には「お嬢さん」や三千代をはじめ「顔立ちも古風で色が白く、振る舞いも控えめである。いわば、伝統的なタイプの女性たち」と「美禰子」をはじめ「眼が大きく、小麦色の肌を持つこととあわせて、近代的美人」<sup>2)</sup>の二つのタイプに分かれている。白い肌は一般的に女性の美しさを形容するが、同時にはかなさといった脆弱なイメージがある。比べて、小麦色の肌は健康で若々しく活動的といったイメージがあり、これは肌の色と同じように伝統的美人は弱々しく、近代的美人は活発に活躍するイメージを漱石は持っていたと考えられる。

## 第二章. 結婚後の女性像 - 『心』と『それから』

『それから』<sup>3)</sup>、『三四郎』、『門』は漱石の三部作を構成しており、『それから』はその中の二作目に相当する。漱石自身も『それから』の予告で『それから』は色々な意味に於て『三四郎』のそれからであると述べていた。よって、『それから』の女性像の中に『三四郎』の痕跡をみることができ、三千代の中に美禰子を見出すことができる。このような両作品の関係性をもとに、以下に結婚後の女性像として三千代を取り扱って静と比較をし分析を行う。

### 1. 共通点：

#### 教育程度

静と同じく『それから』の三千代も「国の高等女学校を卒業した」当時の女性と比べると比較的知識のある女性である。『それから』では代助が初めて会ったとき、三千代に

---

<sup>1)</sup> 同上

<sup>2)</sup> 同上

<sup>3)</sup> 『それから』：夏目漱石の中編小説。1908年《朝日新聞》に連載。《それから》《門》と三部作をなす。実業家の父の経済的な援助のもとで裕福な生活を送る代助が、恵まれた生活を捨て、三千代とともに生きる決意をするまでを描いている。

ついて、以下のように描かれている。「国の高等女学校を卒業した許りで、年は慥十八とか云ふ話であつたが、派手な半襟を掛けて、肩上げをしてみた。」（『それから』七）

『心』の先生と静が会った時は、静も高等学校を卒業することになる。

#### 外貌

『心』では奥さんとしての静は主として上巻及び中巻で学生である「私」の目を通して描かれている。外貌描写は相変わらず少ないが、その形容は変わらず「美しさ」を基本として描かれている。

奥さんの静に対する「私」の第一印象は「美しい奥さんであった」。さらに、「私」にとっては「今しがた奥さんの美しい目のうちに溜った涙の光と、それから黒い眉毛の根に寄せられた八の字」と描かれている。

一方、『それから』では三千代について次のように描かれている。

平岡の細君は、色の白い割に髪黒い、細面に眉毛の判然映る女である。一寸見ると何所となく淋しい感じの起る所が、古版の浮世絵に似てゐる。（『それから』四）

『それから』の注釈では、浮世絵について以下のように説明している。江戸後期の喜多川歌麿がとくに優艶な美人版画で一世を風靡した。「古版」は古くなって色がくすんだ感じをいう。明治四十二年三月十四日の漱石の日記に「歌麿のかいた女はくすんだ色をして居る方が感じが好い」とある。「日記」は夏目漱石の日記である。よって、漱石は三千代を伝統的な美人として描いているといえることができる。

また、注目すべきは『心』の静の「美しい目」の描写と同様、『それから』の三千代を通して

美しい線を奇麗に重ねた鮮かな二重瞼を持つてゐる。眼の恰好は細長い方であるが、瞳を据えて凝と物を見るときに、それが何かの具合で大変大きく見える。（『それから』四）

と描かれており、「美しい目」は共通点としてあげられる。

#### 子供がいない

二人は結婚しているのに、理由は異なるが、両者とも子供がいない。

「子供でもあると好いんですね」と奥さんは私の方を向いて云つた。私は「左右ですな」と答へた。（『心』「上 先生と私八」）

---

<sup>1</sup> 中山和子、玉井敬之『漱石全集』第六巻注解（岩波書店、1994年）

三千代は東京を出て一年目に産をした。生まれた子供はぢき死んだが、それから心臓を痛めたと見えて、兎角具合がわるい。（『それから』四）

静は常に子供がほしがっていた。けれど、なかなか子供ができていない。しかし、三千代の場合とは異なる。三千代は出産をしたが、間もなくその幼児の死に遭遇していた。

漱石の作品にあまり子供が出てこないのは漱石の経歴と関係があるのではないかと考えられる。漱石は歓迎されてない子として生まれた。また、養子としても、後に自分の家に戻っても、あまりいい思い出がなかった。よって、『心』で「子供を持った事のない其時の私は、子供をただ蒼蠅いものの様に考えていた」と言っている青年の「私」の感想は作者漱石と重なってくるように思われる。

#### 夫との関係

既に結婚し、明治時代の知識人の妻として二人の夫との関係は非常に微妙である。

まず静の方からみると、静の夫「先生」は静を守るという名目で過去のことを一切静に言わない。従って、静との精神的な交流も少なくなってきた。『心』では静は次のように語っている。「いゝえ私も（先生に）嫌はれてゐる一人なんです」（『心』十七）「私は嫌はれているとは思ひません。嫌はれる訳がないんですもの。然し先生は世間が嫌なんぞでせう。世間といふより近頃では人間が嫌になつてゐるんでせう。だから其人間の一人として、私も好かれる筈がないぢやありませんか」（『心』「上 先生と私十七」）。このように、静は「先生」との関係を自覚している。

『それから』の三千代と夫との間にさらに微妙な距離が存在している。三千代は心臓病で体の調子は決して良いと言える状況ではなく、夫平岡をとりまく社会的近況も良いとはいえない。代助はこの夫婦と会った後、すぐ何かを感じていた。けれども「代助は、あの時、夫婦の間に何があつたかと聞いて見様と思つたけれども、まづ已めにした。」（『それから』四）と、描写されている。

## 2. 相違点：

### 結婚生活の状況

妻（静）の家にも親子二人位は坐つてゐて何うか斯うか暮して行ける財産がある上に、私も職業を求めないで差支のない境遇にゐたのですから、さう思はれるのも尤もです。（『心』「下 先生と遺書五十二」）

これは結婚後、静夫婦の生活は経済的に比較的余裕があることを示している。一方、三千代の結婚生活は様々な事情がある。まず、三千代自身は心臓病に苦しんでおり、さらに、夫の借金で、三千代は代助から借金をせざるをえなかった事情があつて、生活は苦し

い。

#### 性格

相原は『漱石文学』では「(『心』の)お嬢さんは、当時の時代以上に理想化されている。例えば、彼女は、その「理解力」で「私」を感心させ、「旧式の日本の女らしくない」態度でありながら「其頃流行り始めた所謂新しい言葉は殆んど使わなかつた」(上・十八)とされている。別に、「奥さんはそれよりもつと底の方に沈んだ心を大事にしてゐるらしく見えた」(上・十六)という叙述もあるように、旧時代の枠はすでに越えているけれども同時現代風の新しがり屋の女ではなく、内に芯を潜めている点、『それから』の三千代に通う漱石好みの女性なのである。」と述べられている。

現に『それから』を見てみると、「漱石の作品中最も魅力のあるヒロイン」と言われている三千代は性格の面では静より「心強い」所もある。静の人生を留意してみると、不幸は不幸であるけれども、周りの人は出来るだけ静のことは見守っている。少なくとも静には生活の心配がない。しかし、三千代は違う。子供に死なれた上「自分の長い病気、夫の放蕩、借財、というような辛酸を舐めたので、その心魂はかなり鍛えられてしんは強くなっている。<sup>2)</sup>

こうして、強くなったからこそ、代助からの愛の告白を受けとめる勇気が湧いてきたとも考えられる。さらに「漂泊でも好いわ、死ぬと仰しゃれば死ぬわ」(十六)と言い切ることまでできたのである。

### 第三章 漱石文学の女性像

第一章と第二章では『心』を中心に、共通点と相違点の検討を通して未婚の女性像と既婚女性像を明らかにした。未婚の女性像と既婚女性像の共通点は一目瞭然である。本章では、表を利用してこの共通点を踏まえて漱石文学に存在する普遍的な女性像(未婚、既婚を問わない)を示す。

外 貌	美人である。特に美しい目をしている。
教育程度	相当程度の知識を持っている。
性 格	時代の枠を越える面と、その時代に応じる日本女性らしさを持っている。

三作品のヒロインはすべて以上の特徴を持っている。ここで、三人の相違点に焦点を絞り、分析した結果は以下のことが明らかになった。まず、未婚女性と既婚女性の相違点があげられる。漱石文学に登場する未婚女性と既婚女性が一番の違いは性格にあると考えら

<sup>1)</sup>宮井一郎『漱石文学の全貌』上巻(国書刊行会、1984年)

<sup>2)</sup>同上

れる。未婚の女性はまだ自立性を持っており、自立性を求めている。しかし、結婚後は、生活の繰り返しに、その自立をあきらめてしまう。美禰子はその典型であろう。美禰子の結婚は「仰向く」女から「俯向く」女への変身だと相原は指摘しており、さらに「それは、美禰子における自立の姿勢の断念であると同時に、日本の近代における女性の生きかたの困難さの象徴でもある。」<sup>1</sup>と云いきった。が、美禰子と反対に、かえって三千代は代助の愛の告白で「俯向く」女から「仰向く」女に変わってきた。それは、彼女が婚姻という城から出ると決意したからである。確かに明治という時代を考慮すると、自立した女性の生き方そのものが困難であることは事実であるが、生きるために、既婚女性は変わってしまう。一方、漱石は婚姻生活があまりうまく行かなかった、といわれている。よって、漱石自身は婚姻を恐れているかもしれない。それは、漱石自身も結婚生活から脱出する念願も含まれているのではないのだろうか。

#### 第四章. 現実における女性像

漱石に関する文献、特にこの三作品に関する文献を参考に、この三作品と関連ある漱石の生活に実在していた女性を明らかにすることができる。また、これらの女性の共通点を明らかにする。

漱石の妻、鏡子夫人の『漱石の思ひ出』によると、漱石は女性の存在には「なかなか気のつく方」とある。このことから、漱石文学に登場する女性像はほとんど実在している女性によって書かれたと容易に想像できる。

「漱石の創作方法は、すべて<sup>フィクション</sup>虚構というわけではなく、事実から多くのパン種を得るのが基本的な特徴である」。

このように、漱石の作品を読むと、漱石の現実における女性の面影が見え隠れする。

漱石の一生を見てみると妻・鏡子夫人の存在の他に、以下の女性の存在も漱石文学を分析する上で重要な位置をしめている。まず注目すべきは、漱石の幼馴染の日根野れんである。彼女は漱石の養父塩原昌之助の後妻かつの連れ子である。「養父昌之助は将来は金之助（漱石）とれんを夫婦にして老後の安堵を得る心づもりだったらしい<sup>3</sup>。とあるように、漱石自身もれんに好感を持っていた。また「明治二十四年の七月中に、漱石が駿河台の眼医者に通って、突然再会した「銀杏返しにたけなわをかけた女」を小宮豊隆『夏目漱

<sup>1</sup> 同上

<sup>2</sup> 小坂晋『夏目漱石 - 伝記と分析の間を求めて - 』（桜楓社、1986年）

<sup>3</sup> 石川悌二「養家と恋人」（『講座夏目漱石第一巻漱石の人と周辺』（有斐閣、1981年）所収）



石』が漱石の初恋の女と推量していることであり、私は確信をもってその人の名を日根野れんとする。<sup>1</sup>」と石川が指摘するように、この日根野れんは漱石の初恋の相手である。

しかし、漱石の初恋の相手については様々な学説がある。中国の漱石研究家、作家崔萬秋の説では「漱石の初恋の対象は、外務省某局長の娘で、漱石が眼病のため井上病院にかかっていた時、彼女は毎日、片眼不自由な老婦人の手をひいて通院、看病していた。漱石はその情深いやさしさを愛した。彼女が美人であったことは言うまでもない。だが、この初恋は実を結ばなかった。<sup>2</sup>」という説がある。

さらに、「しかし漱石には、生涯に只一人意中の女性があった。その相手は、漱石の同級で大学の美学の教授となった文学博士大塚保治の妻楠緒子であった。<sup>3</sup>」という説もある。

以上の説の妥当性は本論文では検討しない。が、説に出てくる女性は確かに存在したことは事実である。説の女性を分析すると、漱石作品に出てくるヒロインとの一致性がわかる。

まず、漱石の幼馴染みのれんから考察を行う。漱石は『道草』ではれんをモデルとして描いた御縫さんをこのように印象づけている。

御縫さんは又すらりとした恰好の好い女で、顔は面長の色白といふ出来であつた。ことに美しいのは睫毛の多い切長の其眼のやうに思はれた。（『道草』二十二）

「色白」、ことに美しいのは其眼などのれんの外貌の特徴と漱石文学に登場するヒロインの外貌描写にぴたりと一致する。また、れんは当時の女の最高学府だった東京高等女学校（お茶の水女子大の前身）に進学し、卒業した。相当の知識を持っていた。

次に、外務省某局長の娘である。この娘についての資料はわずか残っている。この説の研究者中国の漱石研究家、作家崔萬秋も鏡子夫人も井上眼科の女性について美しいだけでなく、気立てが優しく、心から親切な女性であったと述べている。

最後に、大塚保治の妻楠緒子について言及を加える。彼女に関する文献が数々残されている。この漱石が「理想の美人」と称した人については「漱石の好みがはっきりするいかにも育ちの良さそうな気品ある純日本風の容姿である」、「色白で瓜実顔の夢幻的な外貌だけでなく、漱石が「いつも女性らしい女性と感心していた」（松根東洋城）<sup>4</sup>また、彼女は女流作家としても知られている。

以上の漱石世界に実在している女性の検討を通して以下のことが明らかになった。

---

<sup>1</sup> 同上

<sup>2</sup> 崔萬秋「『三四郎』訳」（北京、中華書局、1935年）

<sup>3</sup> 『近代作家傳下巻』（創元社、1951年）

<sup>4</sup> 小坂晋『夏目漱石 - 伝記と分析の間を求めて -』（桜楓社、1986年）

みな裕福な家庭で生まれ育ち、相当の教育水準を有している。

単に顔が美しい人だけではなく、心が優しく、控え目のある日本伝統的な美德を持っている人である。

漱石文学に登場させるヒロインと現実の女性の特徴の重なる部分が数多く見られる。この重なる部分は漱石自身が好ましいと考えている部分である。

## 第五章. 結語

初期の『草枕』の那美さん、『虞美人草』の藤尾，中期『三四郎』の美禰子、『心』の静、『それから』の三千代、『門』のお米、『彼岸過迄』の千代子，後期『行人』のお直、『道草』のお住、『明暗』のお延など、漱石は様々な女性を彼の文学に登場させている。漱石文学において男性主人公は、弱気、恋愛・夫婦関係における信頼性のゆらぎ、および神経症といった性格付けがなされている。対照的に女性達の外見は一見脆弱に映るが、その実、強靱な内面性を持ち合わせ、思いきりが良く、勇気を持っている。この点から、漱石はかなり肯定的な女性観を抱いていたと思われる。

東西の文化が衝突した明治時代の日本に生きた漱石は、彼の小説において明治時代の知識階層の状態を克明に記している。漱石はその階層の一人としても、常に自分と社会と家庭との位置づけを模索していた。漱石は東西文学のぶつかった時代に自分の進むべき道を選ぶ男性を描くことを通して、同時に女性の問題も取り上げた。この時代に女性はどうか、家庭に対して、あるいは両性関係、いわゆる男女関係に対して、どのような態度を取るべきか、漱石もまた彼の小説で様々な検討していた。したがう、漱石文学に登場させた女性の大半は、日本と西洋の特徴を持ち合わせた人物を描いている。漱石文学では伝統的な日本風美人が多いが、彼女達の心は強く、独立性があるところは西洋的と言える。また、美禰子のような比較的西洋的・現代的な女性もやはり日本伝統的な美德を守っている。このところは一見対照的的な今の女性にも通じるところがあり意義深い。

## 参考文献

- |       |            |      |       |
|-------|------------|------|-------|
| 夏目金之助 | 『漱石全集』第五巻  | 岩波書店 | 1994年 |
| 夏目金之助 | 『漱石全集』第六巻  | 岩波書店 | 1994年 |
| 夏目金之助 | 『漱石全集』第九巻  | 岩波書店 | 1994年 |
| 夏目金之助 | 『漱石全集』第十二巻 | 岩波書店 | 1994年 |

# 日本語学習者の中間言語に関する研究

フィオナ・ターバット

## はじめに

言語学習者であるあなたは普段何語でコミュニケーションしているだろうか。日本語？自分の母語？それともそのどちらでもない？日本に住み、日本語を学びながら、日々の生活を送っているあなたは日本語でコミュニケーションをとっていると思ったことがあるだろう。しかし、実はあなたが今使っている言語は日本語ではない。留学生のあなた方は別の言語を使っているのだ。その言語とは中間言語である。

ある言語を勉強しようとする時、必要となるのは何だろうか。言語学習者はもちろんすぐに、文法、語彙、発音などと言い出す。だが、言語を勉強するというのは言葉だけでなく、ほかに考えなければいけないことが多くある。例えば、文化、宗教、歴史、日常生活などこれら全部がその言語の土台となっている。言語というものはただの言葉ではなく、コミュニケーションそのものだ。日本語学習者にとってこれが大きなポイントになる。

このレポートの目的となっているのは、分かり易いスタイルで例を出しながら、初心者が読んでも分かるように中間言語を紹介することである。このレポートの中の例は、母語が英語の日本語学習者である私が考えたものだ。本レポートはアンケートや調査を行うことはしなかった。

## 中間言語って何ですか。

「中間言語」という言葉は言語学の用語である。文字通り、真中の言葉。具体的に；

中間言語 (Interlanguage)

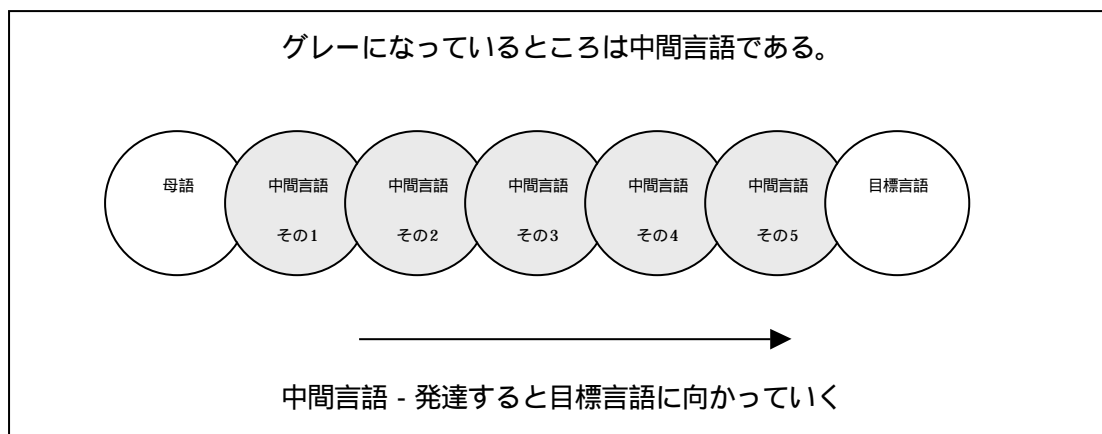
習得の段階に応じて変化していく学習者特有の言語体系。目標言語との母語とも異なった体系を示していることからセリンカー (L.Selinker) によって命名された。<sup>1</sup>

分かりやすく言うと中間言語はその学習者の独特な体系である。その時点だけのもので、常に変化しつつある。

下の表は中間言語を表す。

---

<sup>1</sup> 迫田 (2002) P.214



この表は、時間とともに学習者は発達する一方、その発達はほとんどの場合中間言語から目標言語への移動ではなく、中間言語から次の中間言語までしか進まないことを示している。そのプロセスでは少しずつ目標言語へ向かって進んでいくが目標言語に到達する事はなかなかない。

中間言語はその時期に、その学習者独自のものである。母語が英語の人はある特定の部分で間違いやすいとは言えるかもしれないが、母語が英語の人だからその人の中間言語はこのようなものだと言うことはできない。中間言語はまったく個人の体系である。ある特定の時点において、その学習者に特有の体系なのである。その中間言語はユニークなものと思われる。

Selinker (1972) によるとわずか 5% の言語学習者しか流暢な話者になることはできない。その他の 95% の人たちはなぜ流暢に話せるようになるまで成長しないのだろうか。なぜ中間言語の状態で止まるのかその要因と見られるのは「化石化」である。これは中間言語理論の主要な概念である。化石化という現象はその学習者の言語能力が中間言語のある段階で止まり固まってしまうことである。

迫田 (2002) の化石化に対しての定義を見ると

「第二言語学習者の習得過程においてある項目や事柄が誤用のままが進まないでいつまでも誤用として残ってしまう現象。」となっている。<sup>1</sup>

どの論文においても、Selinker の示した次の 5 つが化石化の原因と見られているようである。

5 つの原因

<sup>1</sup> 迫田 (2002) P.208

- \* 言語転移
- \* 学習ストラテジー
- \* 訓練上の転移
- \* コミュニケーション・ストラテジー
- \* 過剰一般化

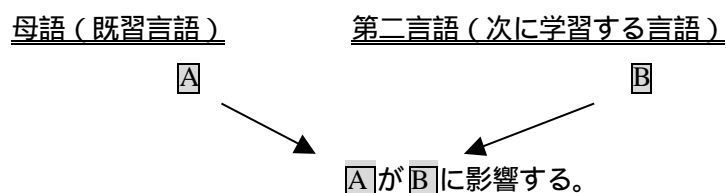
この5つは音声、文法、語彙、表現などのいろいろな場面で観察される。学習者にその誤りを直すための訓練をさせても、化石化された部分は消えない。修正に成功したように見えたとしても、学習者にストレス、不安などの状態を与えるとその化石化された部分が再び現れてしまう。95%の学習者が流暢な話者まで成長しないのはこのためではないのだろうか。

一つ注意しないといけないポイントがある、それはエラーとミステークの違いである。ミステークとは、心理的な原因によりおこる。これはネイティブも学習者も同様におかしてしまうものである。つまり「多くの場合は正しく言えるが、体調が悪かったり、緊張したりしてうっかり言い間違えてしまう、その時だけの誤用<sup>1</sup>」である。他方、エラーとは、中間言語のためにおこる現象であり学習者の誤ったルールによってひきおかされる。「第二言語学習者が、その事柄に関しては一貫して間違ってしまう言語的な誤り<sup>2</sup>」である。先に述べた5つの原因を調べるとき、ミステークではなく、エラーについて調べなければならない。

しかし、言語転移、過剰一般化、訓練の上転移、学習ストラテジーとコミュニケーションストラテジーとは一体どういうことであろうか。

### 言語転移

言語転移の現象は、学習者が母語や既習の言語の規則を第二言語や次に学習する言語(目標言語)に対して用いることである。



<sup>1</sup> 迫田 (2002) P.219

<sup>2</sup> 迫田 (2002) P.207

言語転移には良い転移と悪い転移とがある。良い転移とは母語や既習の言語の規則を目標言語に用いて、文法的に正しい発話となる場合で、これを**正の転移**と呼ぶ。悪い転移とは母語や既習言語の規則を目標言語に適用する事によって誤用が生じる場合で、これを**負の転移**と呼ぶ。

例えば

正	A	英	I love you.	←	SVO
	B	中	Wo ai ni.	←	SVO

負	A	英	Everyday I go to the park.					
	B1	日	毎日私(は)行きます公園。	×	A→	B	=	負
	B2	中	Meitian wo qu gongyuan.		A→	B	=	正

### 学習ストラテジー

学習ストラテジーというのはその学習者が自分の言語能力を高めるために取る行動である。

学習ストラテジーと見なすことができる行動

- \* 単語カードを作ること
- \* ノートを取ること
- \* ネイティブと交流すること
- \* 覚えるための韻(語呂合わせ)などを作ること

Selinker (1972) によると学習ストラテジーはその学習者の文化とも関係がある。だから、その学習者の文化で歌うことが大切なら、その学習者は学習ストラテジーとして歌うことを使うかもしれない。

また、学習ストラテジーは意識している場合も意識していない場合も働いている。

### 訓練上の転移

訓練上の転移とは次のシナリオのようにその言語を勉強している間に先生や教材から、言語発話に悪い影響を受けることという。

ある先生は授業中生徒にも、目上の先生にも敬語を使わず同 *plain form* を使う。

「終わったら、持ってきて」 (生徒に)

「授業終わった？」

(目上の先生に)

このような状況に影響された生徒は、先生のようなplain form で発話を行うことになる。

### コミュニケーション・ストラテジー

コミュニケーション・ストラテジーとは目標言語について知識が十分でない学習者が自分の不十分な状態を認識した上で、自分が現在使える知識手段の範囲でコミュニケーションを成功させようとして用いる工夫のことである。つまり、自分の知識が足りない時にどうにかして自分の言いたいことを相手に伝えようとするその方法である。

\*言い換えること

\*母語を入れてしまうこと

\*聞き返すことなどの方法

このように工夫することによって、言いたいことは伝わるので、新しい単語を覚える必要がなくなったり、あるいは、その状態から進まなくなるという事態が生じる。

### コミュニケーション・ストラテジーの種類

言い換え (ほかの表現を使用すること)		
i 類似表現	近い意味の単語を代用	例: 「回転寿司屋」 「寿司屋」
ii 造語	自分で話を造る	例: 「回る寿司レストラン」
iii 説明	詳しく説明する	例: 「テーブルの上を寿司が回って、自分でとって食べるすし屋」
母語使用 (学習者の母語を借用すること)		
i コード・スイッチング	不明な部分で母語使用	例: 「出張」 がわからなかったので、business trip です。」と言う。
ii 翻訳	直訳してしまう	例: 「映画が楽しかった」と言い代わりに「映画が私を楽しませた。」と言う。
授助要請 (聞き手の協力によって問題解決させること)		
i 聞き返し	直接的に助けを求める	例: 「意味は何ですか」「もう一度言ってください」などと言う。
ii 身振り	ジェスチャーで助けを求める	例: 身振り・手振りで相手に内容を伝える。
iii リペア	わからなかった部分を繰り返して相手に補足要求	例: 日本人「住所はどこ？」 学習者「じゅ、じゅう...じゅうす？」 相手の発音の一部だけ繰り返しわからない部分を明確する。
回避行動 (相手の発話内容がわからない時に、無視したり、避けたりすること)		
i 回避	その話や表現を用いない	

<sup>1</sup> 迫田 (2002) P.108

ii 話題転換	話題を変換する	自分の発話できる話題に変換する。
---------	---------	------------------

### 過剰一般化

簡単にいうと過剰一般化とは1つの規則を使いすぎることである。すなわち目標言語において、ある場合に有効な一つの規則を類似したケースに適用する、ことによって誤用を生じさせてしまうことを言う。

たとえば

漢字	発音記号	ひらがな
京都	kyo:to	きよ <u>と</u>

「o:」という部分を「~よう」か「~おう」で書くことを習う。しかし、不規則場合もある。

漢字	発音記号	ひらがな
多い	o:i	お <u>と</u> い ×

「おとい」と書いてしまう。正しくは「おおい」である。

広い	広かった	
きれい	きれかった	×

食べる(たべる)	食べない(たべない)	2グループ
歩く(あるく)	歩かない	×
		1グループ(歩かない)

### . まとめ

中間言語とは、その学習者の目標言語に対する理解と言語能力の発達の程度を示すものであり、その時点における、その学習者独自のものである。また、化石化とは言語発達が止まってしまう一つの原因である。さらに化石化の原因として

- 言語転移
- 訓練上の転移
- 学習ストラテジー
- コミュニケーション・ストラテジー
- 過剰一般化



が挙げられる。

エラーを分析すれば、言語を教える人にも、習う人にも役に立つ。先生にとって役に立つことは、学習者の化石化された部分を分析して、どのようなシラバスなどを使うべきかわかることである。また、学習者に役に立つ点は自分がどのような誤りをおかすかを気をつけるようになることである。私はこのレポートを書きながら、自分の中間言語に気がついた。私は知らない言葉を調べるより、言い換えることをしてしまう。今まで「自分の言いたいことはちゃんと伝わっているから大丈夫だ」と思っていた。しかし、こういう行動が化石化の原因となるを知り、これを止めようとする行動を使い始めた。

この中間言語を使っているあなた、このレポートを読んで、「流暢になるまで頑張らなきゃ!」と思っただろう、中間言語を意識しながら、そのゴールを目指してください。私も、その流暢な日本語を目指して、頑張っていきたい。

#### 参考資料

迫田久美子、「日本語教育に生かす第二言語習得研究」、アルク、東京、2002

レスリー・M. ビービ、「第二言語習得の研究 -5 つの視点から」、主株式会社大修館書店、東京、1998

Jack C. Richards (ed.),「Error Analysis – Perspectives on Second Language Acquisition」, Longman, London, 1990

# コンピュータを利用した(日本語)学習教材の研究

(Study on CALL Materials for Japanese Learners)

ジョイス・チョウ

## 0. はじめに

今の世界は経済でも政治でも国際化の方向に向いている。教育でもそんな趨勢がある。コンピュータを教育のために利用するようになったので、学生と教師はコンピュータとインターネットを使い、違う国にいてもお互いに勉強したり、情報を交換したりすることができる。学生も学習するために教室に行かなくてもよい。CALL (Computer Assisted Language Learning) は「コンピュータ支援学習」と訳され、基本的にはコンピュータを利用することによって、学習者の個別化をすすめながら、学習者を支援する教育システムのことである。コンピュータを中心に学習者と相互にやりとりをしながら、学習者の学習到達目標に導くことを目指す教育システムのことである。今日、人間はますます忙しくなり、より効率的なものを常に探している。コンピュータは人間にとって便利な道具となり、自分でインターネットを使って勉強することで、情報を集めるだけでなく、知識を得ることもできるようになった。私の研究の主題は、様々なコンピューターソフトウェアや、コンピュータ教材、ホームページの利用を通して、日本語学習者にとって最適な日本語の勉強の仕方(言葉の問題だけでなく、日本の生活や文化の問題など、その他の考え得ること全て)についてである。このレポートは様々な日本語CALL学習教材(雑誌と本とインターネットのサイトと聴解練習用日本語CALL教材のCD)の聴解を中心に研究して、それらの便利さ・不便さと長所・短所をまとめ、評価をする。最後に自分で聴解練習用日本語CALL教材を作り、日本語を勉強する学生に受けてもらい、自作教材についての問題点を考察する。

## 1. 聴解練習のための日本語CALLについて

### 1.1 雑誌(『日本語ジャーナル』)

CD付きの四力国語対応の雑誌である。CDの内容は雑誌と一緒に使い、効果がよくなる。以下は八月の日本語ジャーナルとしての例で、私にとって、留学生には役に立つ聴解の部分(CDの内容)を分析する。

#### (1) 覚えよう!あと一言(トラック:02~09、p.22)

この部分には日本語の会話で、カジュアルな言葉や話し言葉があり、普通の日本人

の互いの会話のような感じがする。新しい単語と成句には強調されるだけでなく、単語と成句も使われ、色々な例文は作る。この部分にも練習があり、学生は自分でどのくらい内容について理解するか分かる。学生もCDの例文を聞いてから、自分でもう一度話してみても練習することができる。

### (2) 発音トレーニング塾(トラック: 14~19、p.40)

この部分はとても良いし、間違いやすい発音を何回もゆっくり提示するので、比べることができるのは、殆ど他の聴解教材で見つからない。例えば、`ん`がある発音と`ん`がない発音の違い: (1)「し`ん`せつ」vs「しせつ」、 「さ`ん`まん」vs「さまん」、 「さ`ん`ばん」vs「さばん」。

### (3) NJニュース(トラック: 20~26、p.42)

この部分の聞き取り練習は他のと比べて、結構速いですが、いい練習になれる。内容のニュースには大体最近の事件、人気がある話題、学生に関係がある行事があるから、学生に面白く、集中しやすい。

### (4) 日本留学試験(トラック: 27~29、p.50)

#### 日本語能力試験合格への道(トラック: 36~50、p.63)

この聴解のCDは見立つメリットが色々な留学と能力試験の聴解の問題が試みられ、物凄くいい試験の聞き取り準備の練習である。もし聞き取りの問題は分からなかったら、雑誌に聞き取りの内容を載っていて、参考できる。

### (5) ドラマの時間(トラック: 30~35、p.55)

ドラマの時間もあるし、大切な練習をやりながら、色々な話題の内容も楽しんで、非常に立派な聴解教材だ。しかし、このCDの聴解だけ使えなく、雑誌と緊密に利用しなくてはならない。

## 2. 聴解練習のためのWEBサイト

WEBの主要な便利さは、どこでも使えること、殆ど無料でサイトの内容が利用できる、他の人と意見やコメントが交換できる。WEBサイトには日本語教材がらみのものがたくさんあったが、学習者のレベル、中心となるトピックの多様さなどの観点から、次の以下のサイトによる。それらのサイトの便利さと不便さを分析するつもりだ。

### 2.1 初心者

私が日本語初級の学習者に勧めるサイトとその特徴を簡単に述べる。

( 1 ) [www.japanese-online.com](http://www.japanese-online.com)

この日本語を教えるサイトには簡単な授業から難しい授業までの十六課があり、初心者にとって理解しやすい。聴解の部分の単語の発音と会話がダウンロードできる(台ど34000bytes ぐらい)。このサイトを選んだ理由は他の日本語を教える教材より

( a ) 単語だけではなく、会話の発音のイントネーションがはっきり聞こえるから、学生は正確に日本語の発音をする。

( b ) 詳細な英語の翻訳がある(このサイトは英語ができる人によって書いてある)

<b>JAPANESE:</b> Yota: <a href="#">Kon'nichi wa.1</a> Jason: Kon'nichi wa. Yota: <a href="#">Watashi2</a> wa Suzuki Yota desu. <a href="#">Hajimemashite.3</a> Jason: <b>Watashi wa Jeson Miraa desu. Hajimemashite. Doozo yoroshiku.</b> Yota: Miraa-san, anata wa Amerika-jin desu ka. (?) Jason: <a href="#">Hai4</a> , watashi wa Amerika-jin desu. Anata wa. (?) Yota: Nihon-jin desu. <a href="#">Listen</a> to Dialog up to this point. Jason: Suzuki-san, anata wa daigaku-sei desu ka. (?) Yota: Hai, soo desu. Miraa-san wa. (?) Jason: <b>Watashi wa kookoo-sei desu.</b>	<b>TRANSLATION:</b> Yota: <b>Hello.</b> Jason: <b>Hello.</b> Yota: <b>My name is Yota Suzuki. Nice to meet you.</b> Jason: <b>My name is Jason Miller. Nice to meet you. (May I ask you to be kind to me.)</b> Yota: <b>Mr. Miller, are you an American?</b> Yota: <b>I am Japanese.</b> Jason: <b>Yes. I am American. How about you?</b>
--	--

図 1

( c ) 会話の文法も一つずつ詳しく説明する。

#### 1. **Watashi wa Suzuki Yota desu.**

This sentence means "I am Yota Suzuki." It is standard for Japanese to use their family name first followed by their given name. The sentence pattern is "Noun *wa* noun *desu*" which translates as

"Noun is Noun". The *wa* is a particle indicating a subject or a topic, while *desu* is an equivalent to "am", "are", and "is".

Examples: *Watashi wa Sumisu desu.*

I am Mr. Smith.

*Watashi wa Tanaka desu.*

I am Mr. Tanaka.

図 2

(d) 勉強してから、自分で練習できる部分もあるし、答えも自分でチェックできる。本当にどのくらい分かったか理解できる。

### DRILLS:

A. Fill in the blanks with the appropriate words.

1. *Watashi ( ) Amerika-jin desu.*

2. *Anata ( ) America-jin desu ( ).*

3. *Watashi wa kookoosei ( ).*

4. *Anata ( ) nannen-sei ( )( ).*

B. Answer the following questions according to the question given.

C. (1) *Anata wa Amerika-jin desu ka.*

D. (yes) \_\_\_\_\_

E.

F.

G. (3) *Anata wa daigaku-sei desu ka.*

H. (2) *Yota-san wa Nihon-jin desu ka.*

I. (yes) \_\_\_\_\_

J. (yes) \_\_\_\_\_

K.

L. (4) *Anata wa nannen-sei desu ka.*

M. (sophomore) \_\_\_\_\_

N.

O. (5) Anata wa kookoo-sei desu ka.

(yes)\_\_\_\_\_

[Click here to check the answers!](#)

図 3

その上、文法などを英語の翻訳ではっきり説明するのが大変だ。しかし、唯一つ欠点は会話の場合にはダウンロードのかかる時間が長く、すぐ練習できない。

(2) [www.bekkoame.ne.jp/~yabu/](http://www.bekkoame.ne.jp/~yabu/)

このサイトにイラストが多くあり(例えば、家系図(図4))、絵をクリックすると、発音をしてくる。

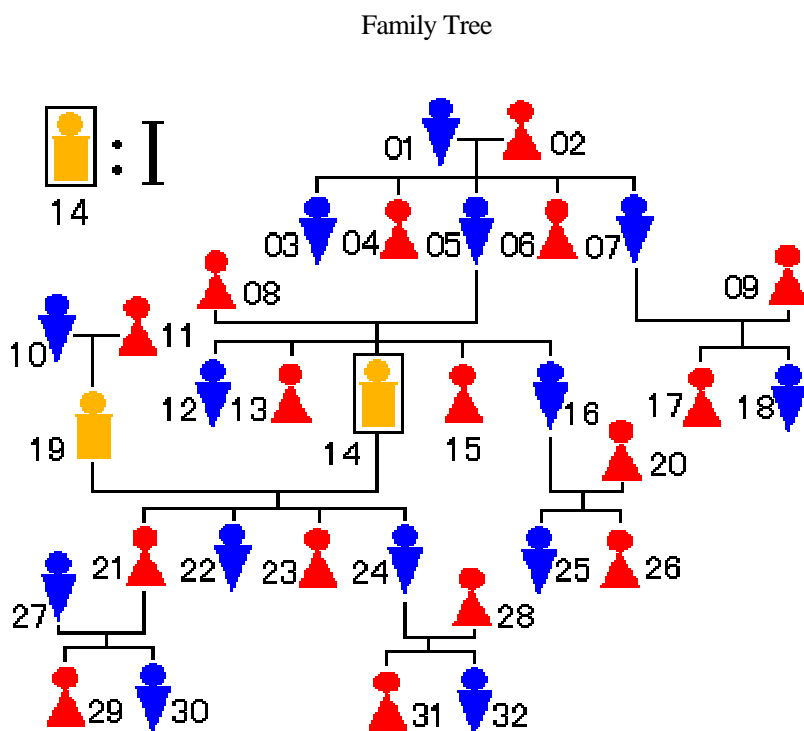


図 4

初心者にとって、それで難しいことをやさしく説明してあげ、単語を勉強しながら、単語の発音も学習できる。

( 3 ) <http://sp.cis.iwate-u.ac.jp/sp/lesson>

このサイトの聞き取りの練習の部分が特に抜群だ。以下は詳しく説明する。

( a ) 平仮名

One Hiragana is consist of one [consonant](#) and one vowel in Romaji.

Romaji	Hiragana
ka	か

図 5

全部の平仮名をはっきり発音するし、ローマ字でも書いてある。初心者にとって、平仮名の書き方とも発音とも分かりやすい。

( b ) 単語

学生は聞く時、発音上の強勢 ( 例えば :GETA の正しい発音 は GE ( にアクセントをつける ) TA が GE TA ( にアクセントをつける ) ) を分かりやすい。



図 6

( c ) 日本語の子音の発音

senki	せんき	record of war
zenki	ぜんき	first semester

図 7

清音と濁音では言葉の意味が全く変わるから、外国人にとってとても難しいし、気をつけなければならない。何回も聞けるから、学生はそんなように（せん と ぜん の発音の違い）練習して、聞き取りが上手になれる。

(d) 母音

ozisaN	[ozisaN]	<b>おじさん</b>	uncle
oziisaN	[ozi:saN]	<b>おじいさん</b>	grand father

kuki	[kuki]	き	stem
kuuki	[ku:ki]	<b>くつき</b>	air

図 8

長い、短い母音にも外国人にとって結構苦手だから、これはいい練習になる。

(e) 詰まった音声

itou	[ito:]	<b>いとう</b>	Itou (family name)
ittou	[iQto:]	<b>いっとう</b>	first prize

図 9

話し言葉と単語とシラブルとアクセントはプロのアナウンサーが発音するので、音がかなりきれいだし、はっきりしている。

2.2 中級、上級者

(1) <http://www.geocities.co.jp/HeartLand/8291/lis101.htm>

このサイトは他のサイトと結構違います。前のサイトが殆ど初心者を中心として教える（授業がいつも挨拶からだ）けど、このサイトには上級の学生のために作ってある。聴



解の部分は二つがある。第一部は日本の歌で日本語を勉強すること。色々な曲（演歌とか Japanese Pop Songs とか童謡）を聞きながら、歌詞の意味も分かって、日本語も流暢に身に付けることができる。第二部は日本のニュースを聞いたり、見たりすること。このサイトは様々なメディア（NHK、FM - JAPAN）にコメネクトされるから、インターネットでニュースが見られて聞こえる。もし分からないことがあったら、サイトで繰り返して聞いて物凄く便利だ。

例は：

a. [FM-Japan\(J-WAVE\)](http://www.j-wave.co.jp/)

<http://www.j-wave.co.jp/>

色々な日本の生活についての内容がある。

b. [RADIO NIPPON](http://www.radionippon.com/)

<http://www.radionippon.com/>

日本語のニュースや流行する曲や生活情報がたくさんある。

c. [Hiroshima FM](http://www.hiroshima-fm.co.jp/index.html)

<http://www.hiroshima-fm.co.jp/index.html>

広島での行事とか、ニュースとか放送している。

たくさんのサイトは有料ある。一つのサイトを例として述べる。

( 2 ) [www.yesJapan.com](http://www.yesJapan.com)

このサイトは4000オーディオのファイルと日本語の聴解のクイズを含んでいるが、聞き取りの練習がたっぷりある。残念なことで、オーディオのファイルを利用したら、お金がかかる。

サイトの聴解の練習部分は無料でどこでも受けるので、今日本にいない日本語を勉強する学生の中に流行っている。しかし、サイトが限る容量、インターネットの速さなどのいろいろな原因があり、日本語CALL教材のCDと比べると、サイトはそれほど便利じゃないと思う。

### 3. 聴解練習用日本語CALL教材の試行

#### 3.1 はじめに

どの言葉を習っても、一番大切なのは聴解である。ある言葉が聞き取れなく、理解できずに意味が分らないと、基本の日常生活の問題が起こるだけでなく、緊急の際にも

どうするか分からないこともある。日本語には漢字とか尊敬語とか謙譲語とかがあるから、外国人にとって結構難しい言葉である。特に聞き取りは口語（教科書から勉強することとも、書き言葉ともと殆ど違う）や方言標準語と違う）があり、かなり複雑で外国人が簡単に勉強できるわけではないし、容易に身に付けることもできない。聴解練習用日本語CALL教材『聴解：日本の生活 「アパートに住む」』という CD-ROM はこの目的のために作られた。この教材を使って試行するための特別クラスが作られ、どういうふうに外国人の聞き取りが上達するか、どのくらい分かるかの調査が行なわれ、私も参加した。その経験を通して、この教材の便利さと不便さをまとめる。

### 3.2 便利さ

便利さとして私が挙げることができるのは以下の 8 点である。

- ( 1 ) 説明と指示は四つの言語（中国語、日本語、英語、韓国語）で作られている。
- ( 2 ) ビデオははっきりとし、「ゆっくり」ボタンにより、発話速度が遅い音声も聞けるので、異なる学習レベルの利用者にも使える。
- ( 3 ) 漢字には振り仮名も付いているから、読み方と意味が同じ時に勉強できる。
- ( 4 ) 最初に聞き取りの練習の後で日常会話と口語について、よく使われる言葉の意味、助詞、使い方など（例えば：～もんね；よね）が紹介されているので、学生はその後で自分でも使うことにより、その言葉を身に着けることになるかもしれない。
- ( 5 ) 質問に答えるためにヒントの部分が役に立ち、学生は正しい答えができるか可能性が高いと思う。
- ( 6 ) 最後の課題では、ビデオ内容と関連する話題を聞き取る練習になっていて、学生にとって役に立ち、聞き取りとかコミュニケーションによいと思う。
- ( 7 ) 会話のテキストも載っているから、学生が会話の内容も深く理解できる。
- ( 8 ) 進度表があるから、学生たちは今どこまで勉強しているかが分かりやすい。その上、学生たちの練習の得点も記録されるから、どのくらい分かったかとか、どのくらい進歩したか、どのくらい聞き取り練習がうまくいったのか、などを自分で判断できる。学生たちは自分の弱い部分を知ったら、この部分をもう一度練習することができる。

### 3.3 不便さ

一方、不便さとして挙げることができるのは以下の 5 点である。

- ( 1 ) 日本語を勉強する初級学習者にはかなり難しい。
- ( 2 ) もしステップ 1 で、「大切な表現」の翻訳があると、もっと理解できる。しかし、

- この練習の目的は聞き取りだから、翻訳は多分あまり重要ではないかもしれない。
- (3) 穴埋めような解答入力を求める問題では、何回間違っても、正しい答えは出て来ないから、学生は挫折感を味わうかもしれない。ある程度間違えた後で、学生に正しい答えのヒントを提示してあげたほうがいいと思う。
  - (4) 説明と指示は四つの言語でされるが、全部に首尾一貫し、英語なら英語で最後まで説明したほうがいいと思う。このCD プログラムは初めに英語の説明を変えても、次のページの説明では日本語に戻ってしまった。
  - (5) 最後の聞き取り練習「電話の会話」は留学生にも日常生活に関係あるから、四つの言語の翻訳があれば、学生は日本のことをもっと理解する。

### 3.4 結論

この教材は全体的に素晴らしい日本語の聴解教材だと思う。特に留学生のために設計された教材だから、留学生の母語や、ビデオの速さや、困りやすい漢字の振り仮名や、使いにくい日常生活の口語や、役に立つ聞き取り練習がある。留学生はこの聴解教材を応用したら、日本語の聞き取りが必ず上達すると思う。しかし、上級の日本語を勉強している友達は、この教材の意見として、「上級の人々にとって簡単だ」と言っていた。だから、これからの課題として、日本語レベルが違う学生にどんな聴解教材が適切とか、どうやって上達するとかを考えなければならない。今まで「聴解：日本の生活 アパートに住む」だけの日本語聴解教材を利用したことしかないから、他の聴解教材を試してみたい。

## 4. 自作の日本語CALL教材

自分で日本語学習教材を実験的に作り、3名に試用してもらった。

### 4.1 作成

Visual Basic を使い、CALL のコースウェアを作成した。日本語能力試験の形式にあわせて10問を作り、日本人母語話者にこの問題を録音してもらった。

以下は自分で作った問題の一例である。音声提示は、出題文と選択肢であり、画面に選択肢の番号を表示し、試行者は正解番号を入力する、という方法で学習をすすめてもらった。

#### 音声で提示される問題文の一例

1. 1コマのクラスが10時に始まります。1コマは50分です。1コマの終わりから、2コマの初めまでの休み時間は15分です。今2コマのクラスが始まってからもう30分になりました。今何時でしょうか。

- A. 11 : 30
- B. 11 : 25
- C. 11 : 35
- D. 11 : 20

#### 4.2 試行

日本語を勉強している学生にはこの聴解練習を受けてもらい、学生達の感想とか批判とかをアンケートから書いてもらって集めた。アンケートは聞き取りの練習を完成した後、三人の外国人（中国人、ニュージーランド人、インドネシア人）から集めた。

- (1) 年齢： 全員20代の人（20歳から27歳まで）
- (2) 日本語を勉強する期間とレベル： 全員三年以上、日本語能力試験2級以上
- (3) 聞き取りの声の品質： 殆どとてもはっきり聞こえた
- (4) 聞き取り問題の設計とパソコンでの画面レイアウト： 大体よい
- (5) 教材の速さ： 全員ちょうどいい
- (6) 難しさ： 二人が結構簡単、一人は結構難しい
- (7) 教材の便利さといいい点：
  - (a) 生活でよくあう状況がいっぱい入っている
  - (b) もし最初聞き取りの内容は分からなかったら、何回でも聞ける
  - (c) 内容は普通の聞き取り教材より面白く、聞くモチベーションがある
  - (d) 昔は聞き取り練習した時、いつもテーププレーヤーや教科書や文具を同時に使わなければならなかったから、今コンピュータで聞き取り練習が便利にできて、すごく楽で気持ちいい
  - (e) 数字で表す第二言語の習熟度上げることができる
  - (f) 数字は外国語教科書にあまり書かれてない部分で、生活の中に学習者がどのくらい外国語を使って外国の環境に慣れているかを一つの指標として評価できる
- (8) 改善したほうがいい：
  - (a) 数字だけでなく、他の生活に近い言語の指標も是非作ったほうがいい
  - (b) 全員の二人は聞き取りの質問にはもし男性と女性の会話を入ったら、もっと面白くなれると思います
- (9) 聞き取り練習についての感想：
  - (c) プログラムが凄くいいとおもいますが、ちゃんとコンパイラーで作ったらいいと思います

- (d) 大相撲と義父などの二つの質問があったけど、調査の対象によって、違いが出ると思います。つまり、あまり普通的な問題ではないと考えている
- (e) 計算が多すぎだ
- (f) 内容は面白かった

全体的にこの聞き取り教材が面白い内容、明瞭な画面レイアウト、はっきり聞こえる音質、コンピュータでの易しく使い方でアンケートの対象に満足される。しかし、聞き取りの練習について一つの変った意見を発見した。被験者のうちの一人はこの練習が生活に役に立つと思いますが、他の人の意見が違う。可能な理由は人たちの生活スタイルによって、異なる生活に役に立つ教材が違うことだ。他の意見は両方の男性と女性の声を聞き取り練習に入るならもっと面白くなれることだ。これはいい意見だと思うから、もしもう一度聞き取り練習を作る機会があれば、必ず応用する。全員は三年以上に日本語を勉強しても、被験者のうちの一人はこの教材が結構難しいと感じる。聞き取りの練習を受けてから、よく何回も聞かなければならないと言われた。内容の難しさではなく、質問に本質の複雑（例えば、計算の問題には数字をはっきり聞かないとはいけないために何回も聞かなければならない。中国人以外の学生にとって相撲の問題と答えには漢字の読み方を理解しなければならぬ。）が一番挑戦していると言われた。自分もこの論点をはっきり考え、この練習が聴解力に集中されているから、多分答えの部分に漢字は振り仮名につくなら被験者に理解しやすいと思う。

## 5. おわり

パソコンについて殆ど何にも分からなかった私は、一月から今まで十ヶ月が経ち、ずっとコンピュータを利用した日本語学習教材の研究をしつづけ、日本語CALL 教材を作り終わる時まで、様々な勉強になった。どんな教材は初心者に向う傾向があるかとか、何の教材は中級と上級に向う傾向あるかとかは色々なWEB サイトから理解した。以前はWEB サイトで日本語を勉強できることにあまり自信がなかった。しかし、厳密に調べたら、特に外国人に簡単に間違えやすい発音の部分（清音、濁音、長い、短い母音、詰まった音声など）は他の教材（例えば、雑誌）よりインターネットで詳しく説明され、音声もはっきり発音される。この研究に一番難しく挑戦するのは自作の日本語CALL 教材の部分である。二ヶ月間に博士前期の学生と一緒にVisual Basic の操作を勉強したり、自作の日本語CALL 教材の問題を考えたり、録音するために声をはっきり日本人を探したり、アンケートを作ったり、被験者も集めたり、受けたり、意見をまとめたりして、かなり大変だった。今回想して、最初の三ヶ月間に実験した「聴解：日本の生活 「アパートに住む」というCD」は非常に作るのが大変であったろうと思う。この研究にも雑誌とWEB サイトと両者の作成の難しさを分かった。卓越したコンピュータを利用した日本語学習教材の作るのは

簡単ではなく、完璧にもできない。しかも、これからの課題はコンピュータを利用した日本語学習教材を改善することにより、日本語の学習者に大変なメリットとなる。この過程は多数の調査と実験を含んでいるので、研究の中に最も大切に難しい。だが、学習者が日本語に上達するために、一生懸命研究するに値する。